

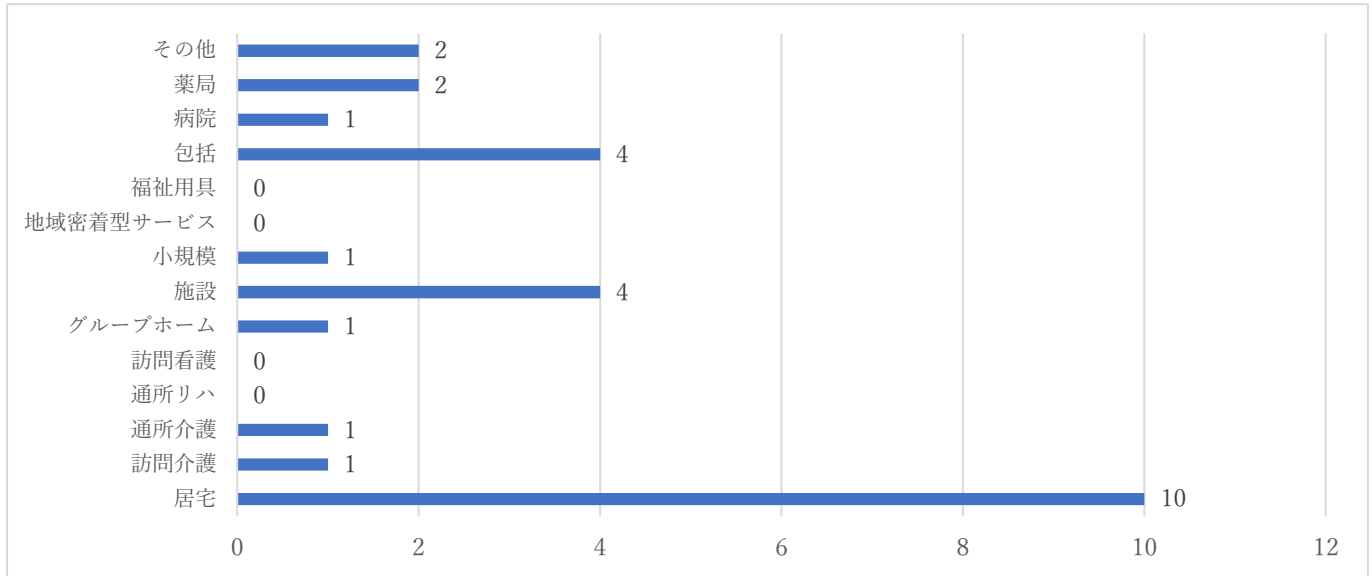
# 令和5年度東諸県在宅医療介護合同研修会にかかるアンケート調査の集計結果について

## 【綾町】

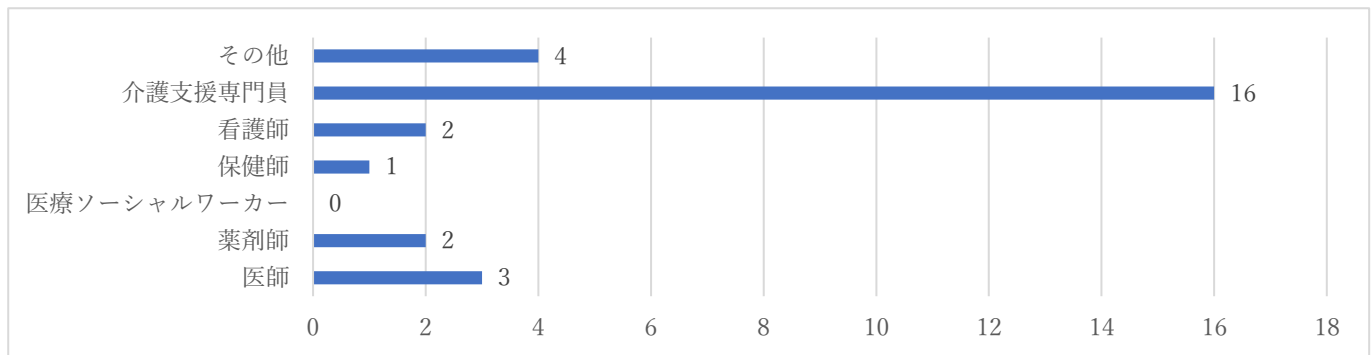
29名へ配布し、27名回収

### 【基本調査票】

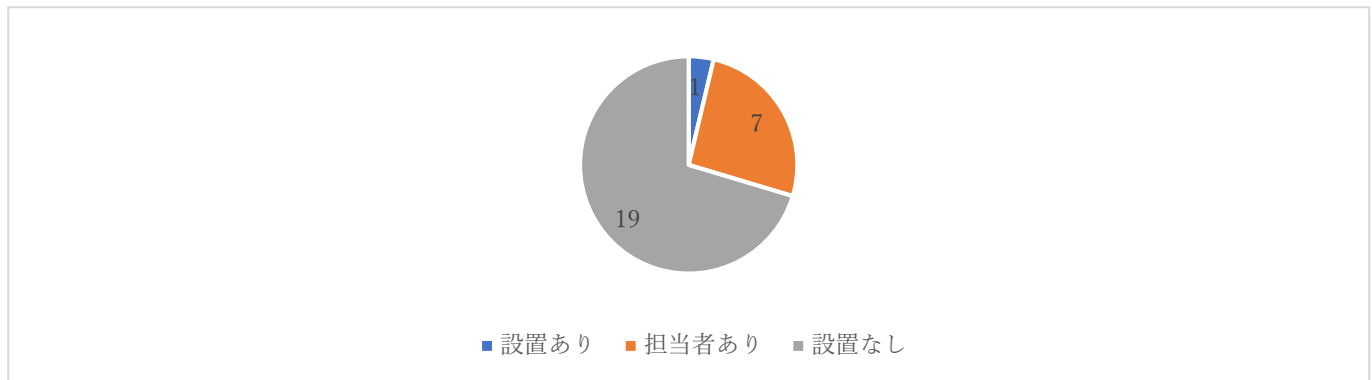
1 貴事業所の種別についてお伺いします。あてはまるものに○をつけてください。



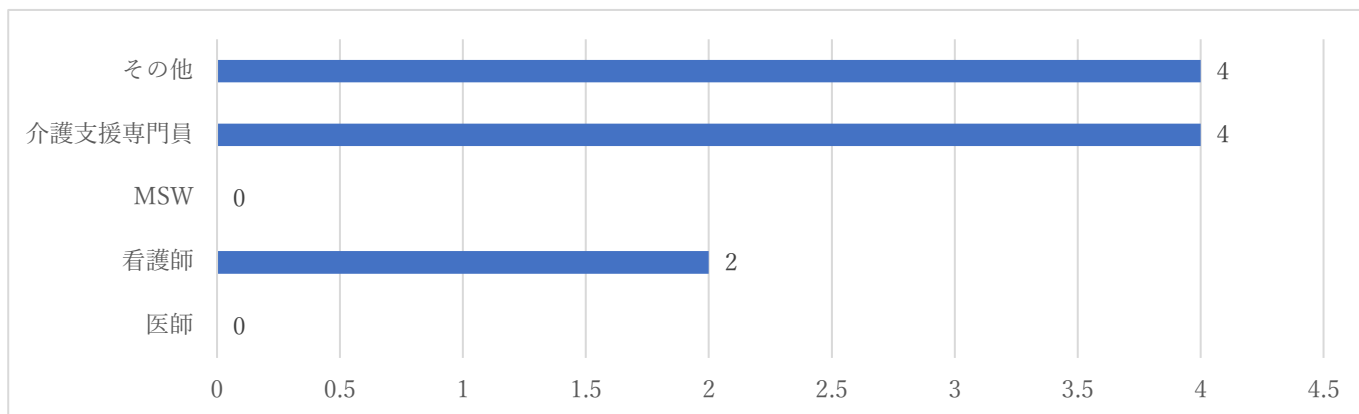
2 回答者の職種名についてお伺いします。あてはまるものに○をつけてください。



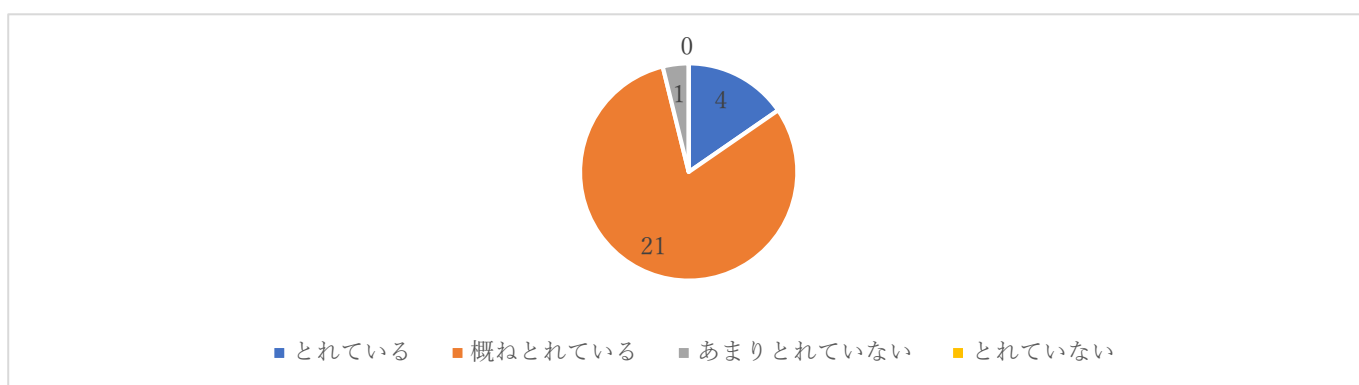
3-（1）貴事業所には地域連携室等（他事業所との連携窓口となる部署）の設置がありますか。



3- (2) 3- (1) で「①設置している」、「②設置していないが担当者がある」と答えた方、他事業所との連携窓口を担当するのはどなたですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。



4- (1) 全体的に在宅医療と介護の連携はとれていると思いますか。

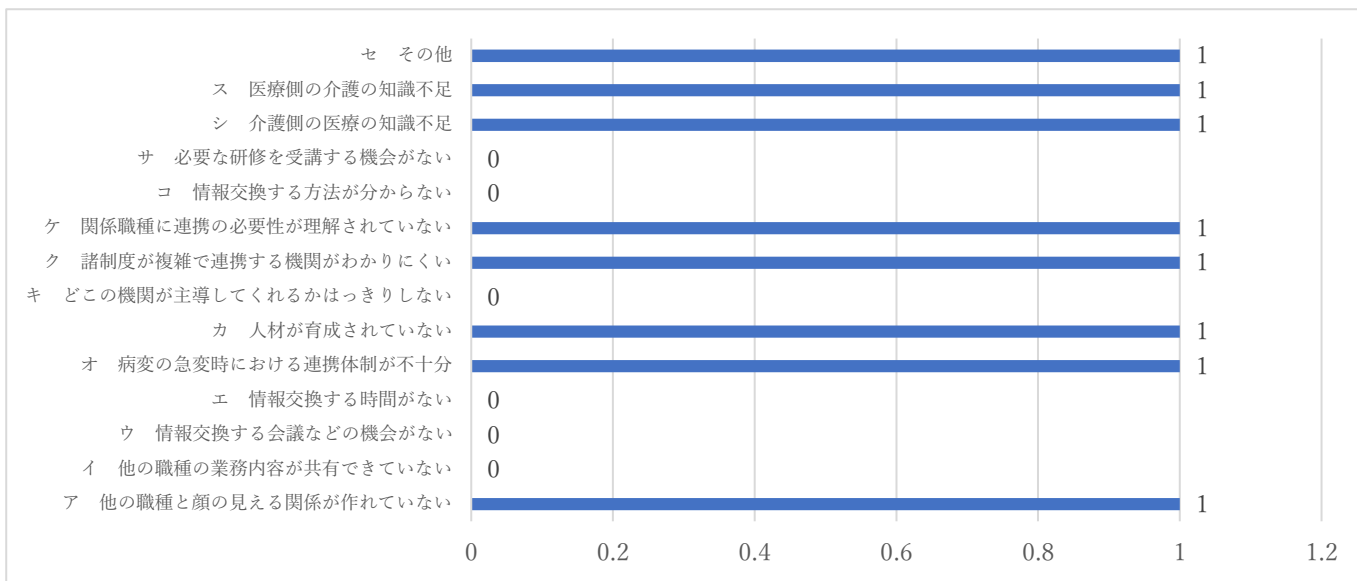


4- (2) 4- (1) で「①とれている」、「②概ねとれている」と答えた方、選択した理由や連携の状況を具体的に記入してください。(自由記載)

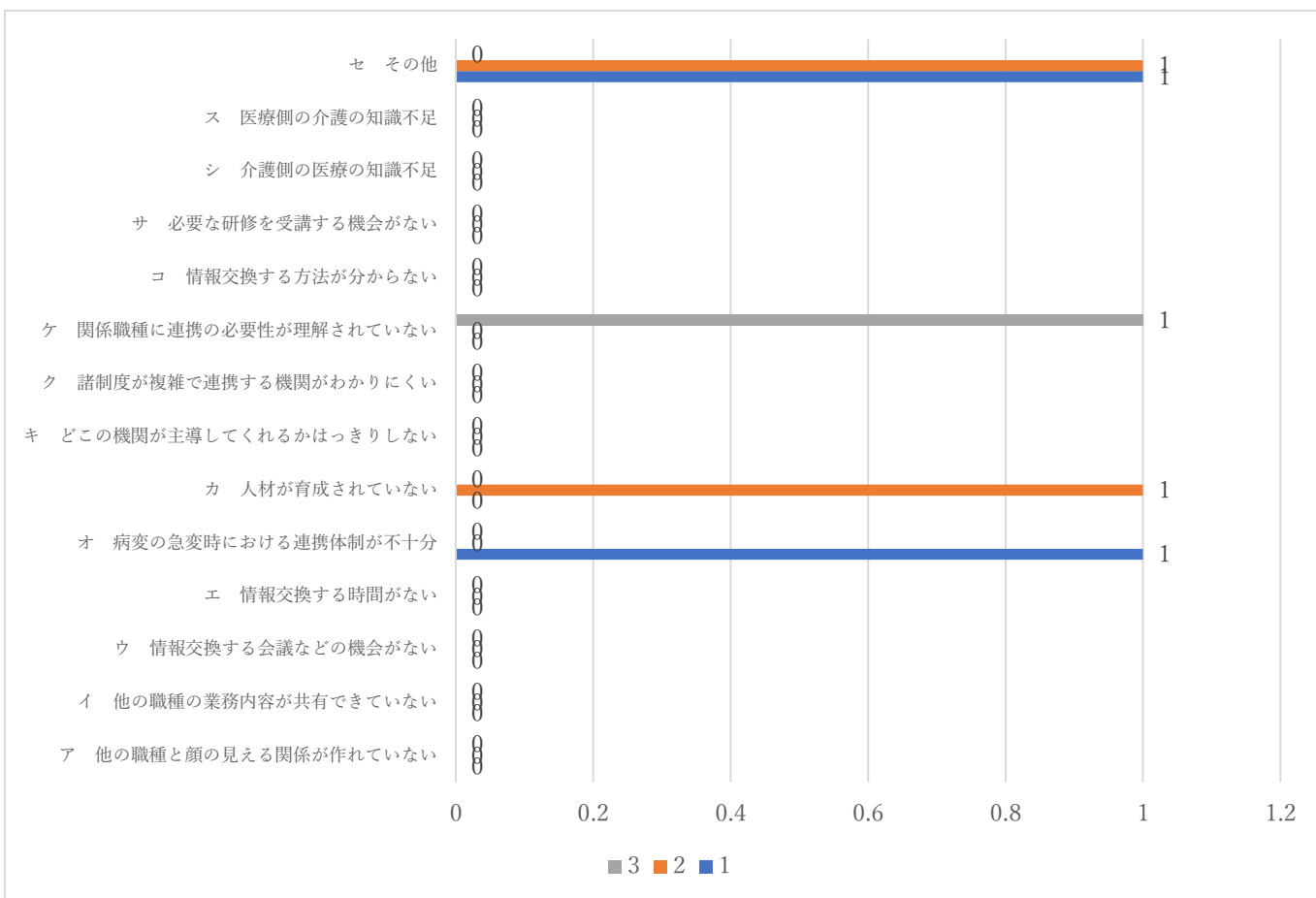
- 医療と介護の連携 FAX で意見交換をしている
- TEL、FAX
- 訪看との電話連絡や、Dr.への医療と介護の連携、FAX など
- 医療と介護連携 FAX、相談室や連携室経由
- 電話や FAX での情報共有
- 電話、訪問
- 担当者会議において話し合い、お互いの業務内容(訪問看護と通所サービス)の把握等(電話連絡もとっている)
- 訪看との連携をとっている(自宅内での状態や通所での状態の変化を報告している)
- 朝・夕ミーティングをしている
- ケアマネ～事業所間の連絡・共有で困惑した事はないが、医療機関連携は土日祭日入院の情報ができない。連携方法は tel、fax が多い
- 多職種と顔の見える関係がつくれており、概ね包括的なケアが行えている(入所施設)
- かかりつけ医に問い合わせをしたり、受診への同行や病院からの情報提供をいただいているため。訪看さんを通しての連携も必要に応じて概ねできていると考えたため。
- 直接 Dr.に電話したり確認する事があれば連携室を通し確認してもらっている
- tel 等で情報共有
- 入退院情報連携のため、電話後 fax にて情報交換している

- 入所施設の為、在宅医療との関係状況なし
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換も概ねとれている
- 入退院時等に医療機関の連携室とケアマネが情報交換している
- tel や担当者会議等において定期的に情報共有を行っているから
- ケアマネとはいつも話している
- 必要に応じて訪看さん・包括支援センター・医師・入所施設と連絡がとれる
- 特に問題を感じません

4 - (3) 4 - (1) で「③あまりとれていない」、「④とれていない」と答えた方、理由は何だと思えますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。



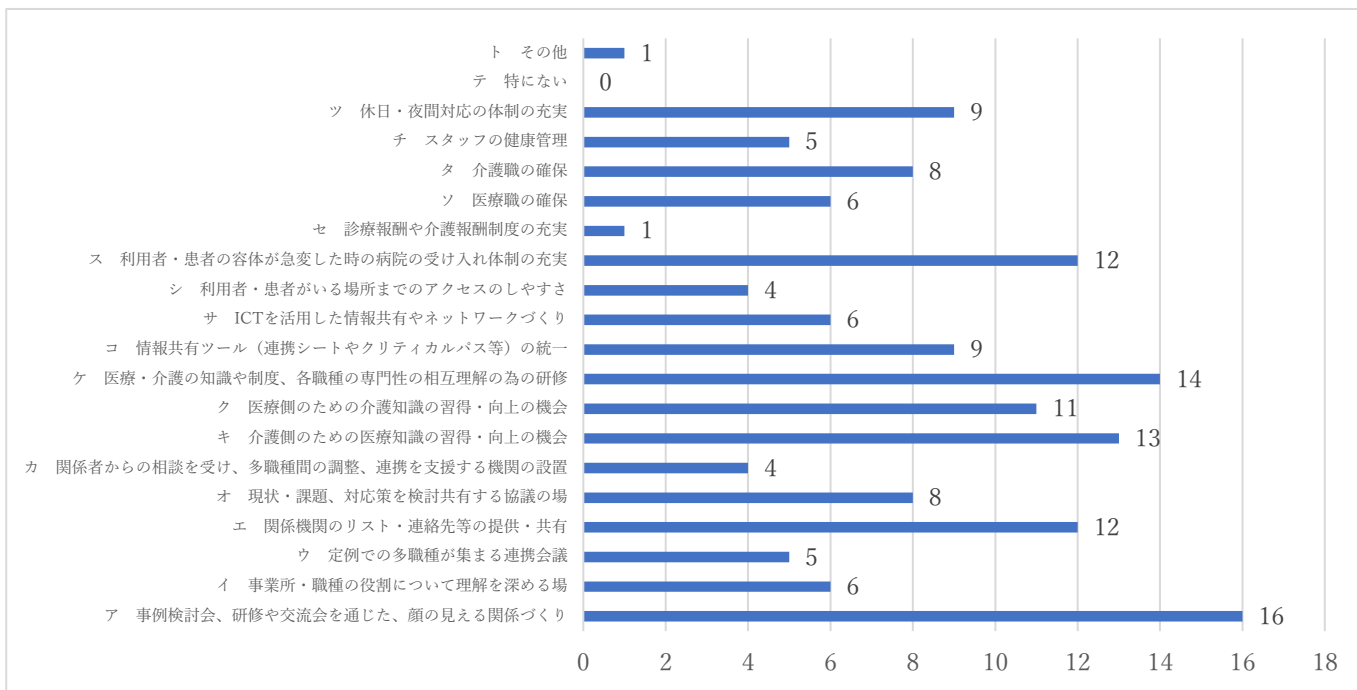
4 - (4) また、その中でも優先度が高い課題を 3 つまで順位をつけて回答し、具体的な状況を記入してください。



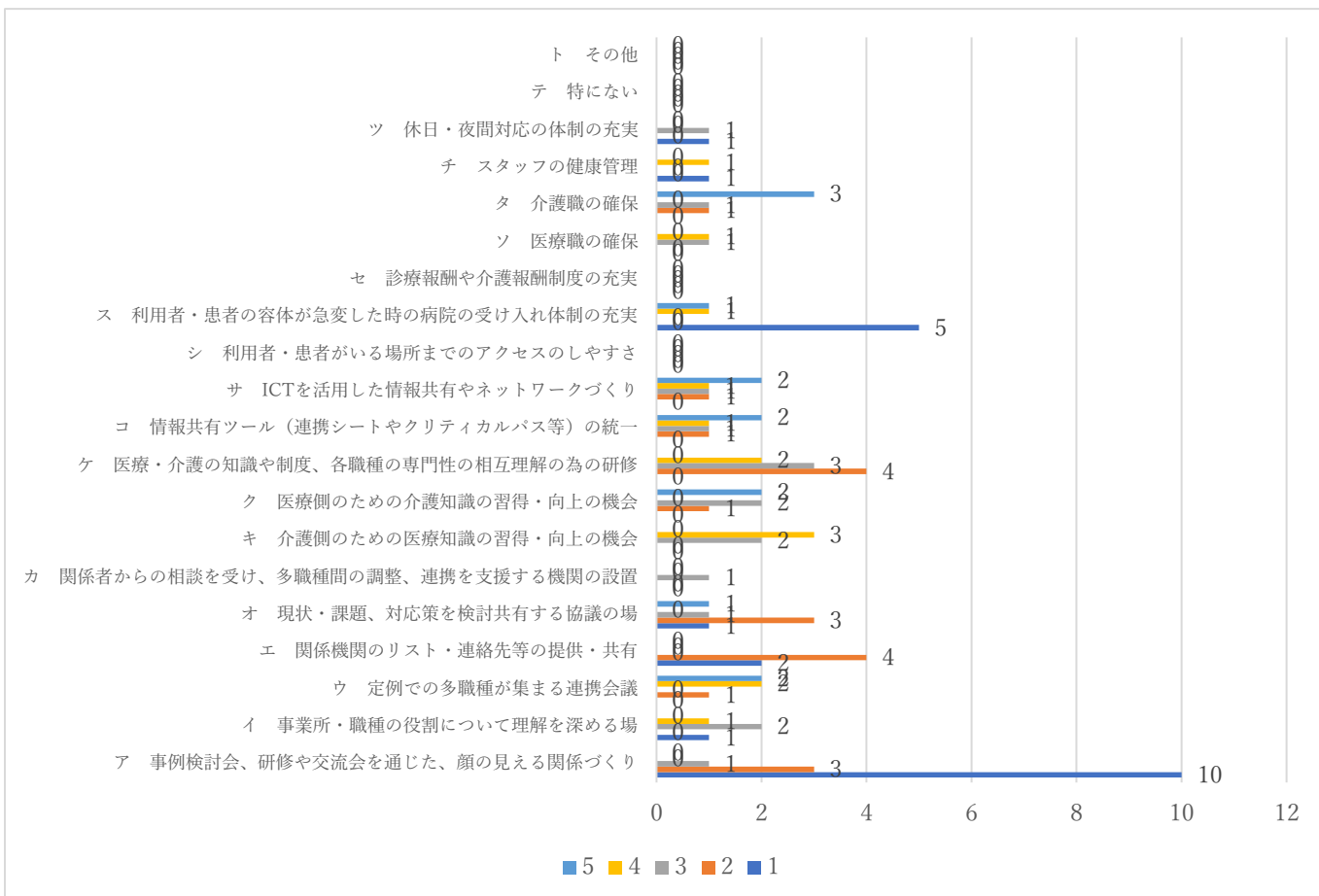
その他

- TEL・・・タイムリーな情報の共有、FAX・・・アセスメント、基本情報、介護保険情報の共有
- 急変時の入院受け入れ医療機関が少ない、②支援者によって支援方法に差が生じる、③制度的な部分もあるが柔軟な対応が困難でありインフォーマルサービスとしての資源連携が難しい

5-(1) 在宅医療と介護の連携の推進のために何が必要だと考えますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

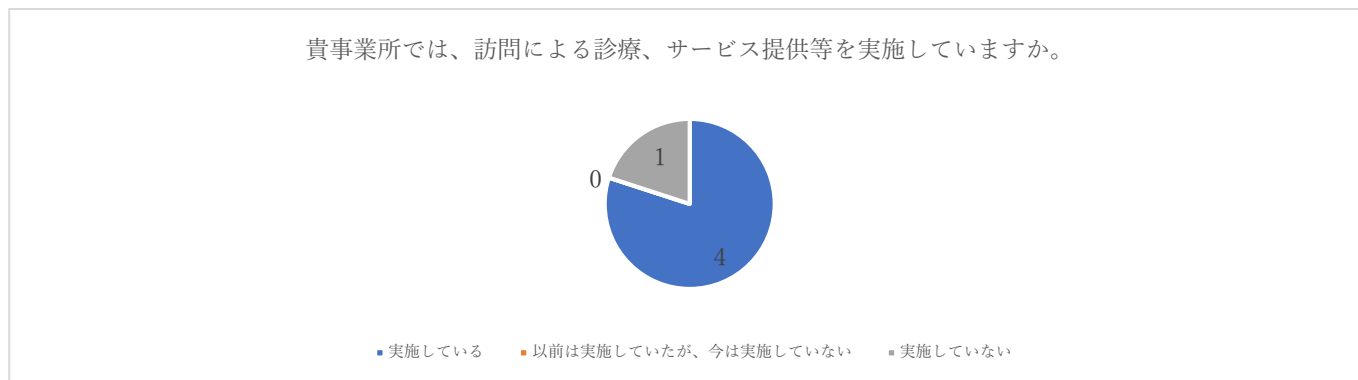


5-(2) また、その中でも優先度が高いものを5つまで順位をつけて回答し、具体的な状況を記入してください。

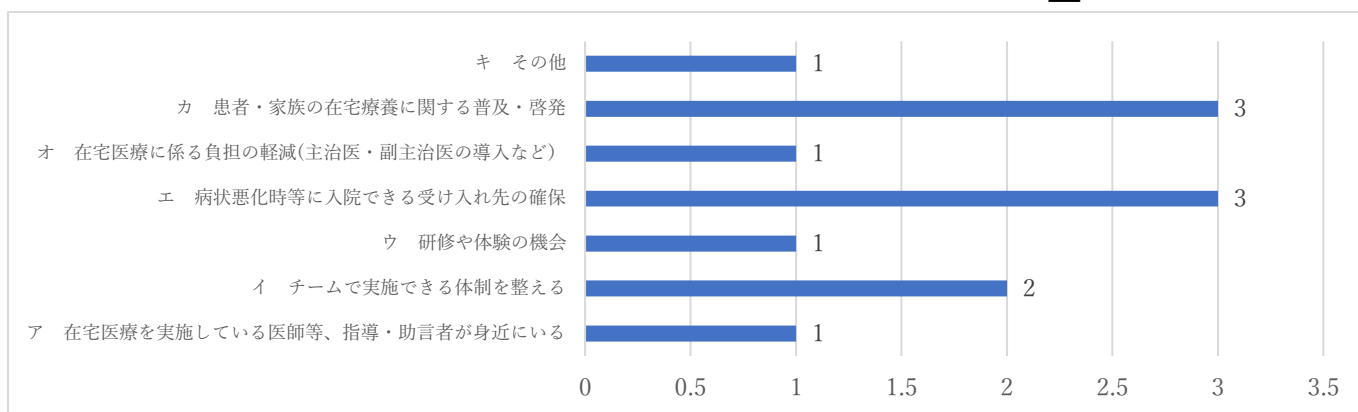


※病院・薬局にお伺いします。

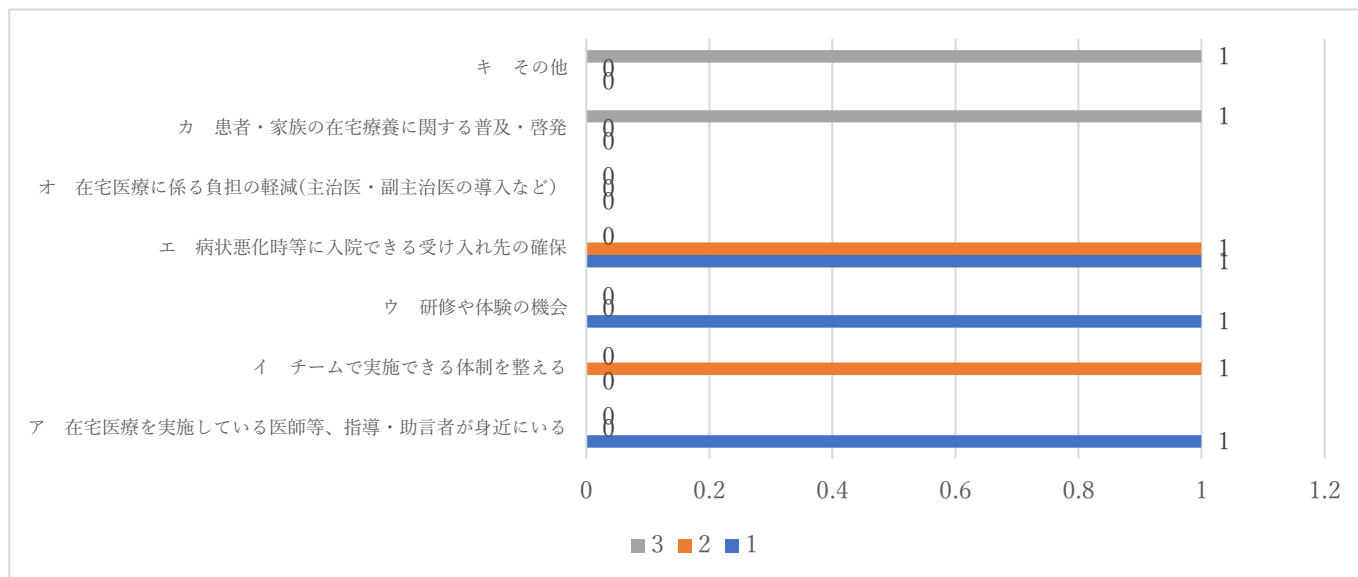
6 貴事業所では、訪問による診療、サービス提供等を実施していますか。



7- (1) 在宅医療を開始するために必要なことは何ですか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。



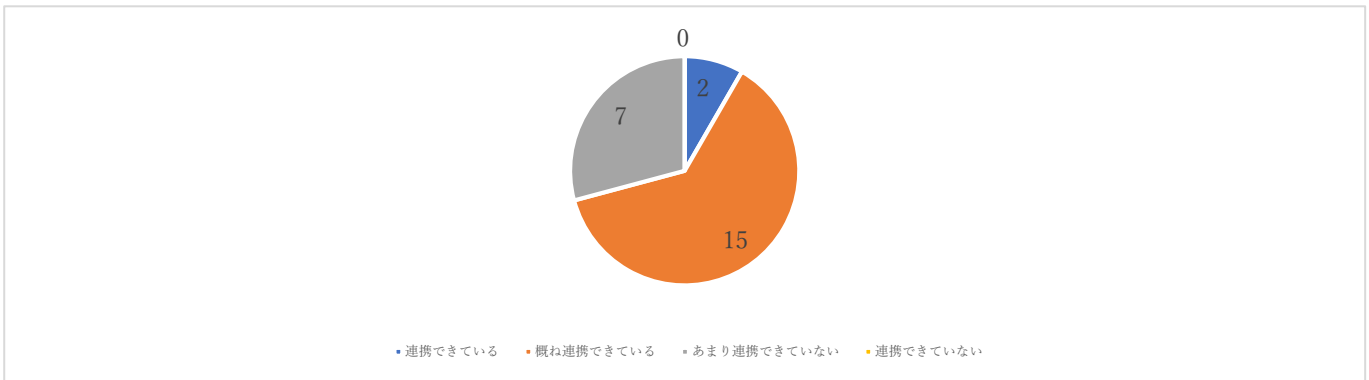
7- (2) また、その中でも優先度が高い記号を 3 つまで順位をつけて回答し、具体的な状況を記入してください。



## 【日常の療養支援に関する調査票】

### ⑦病院の医師との連携

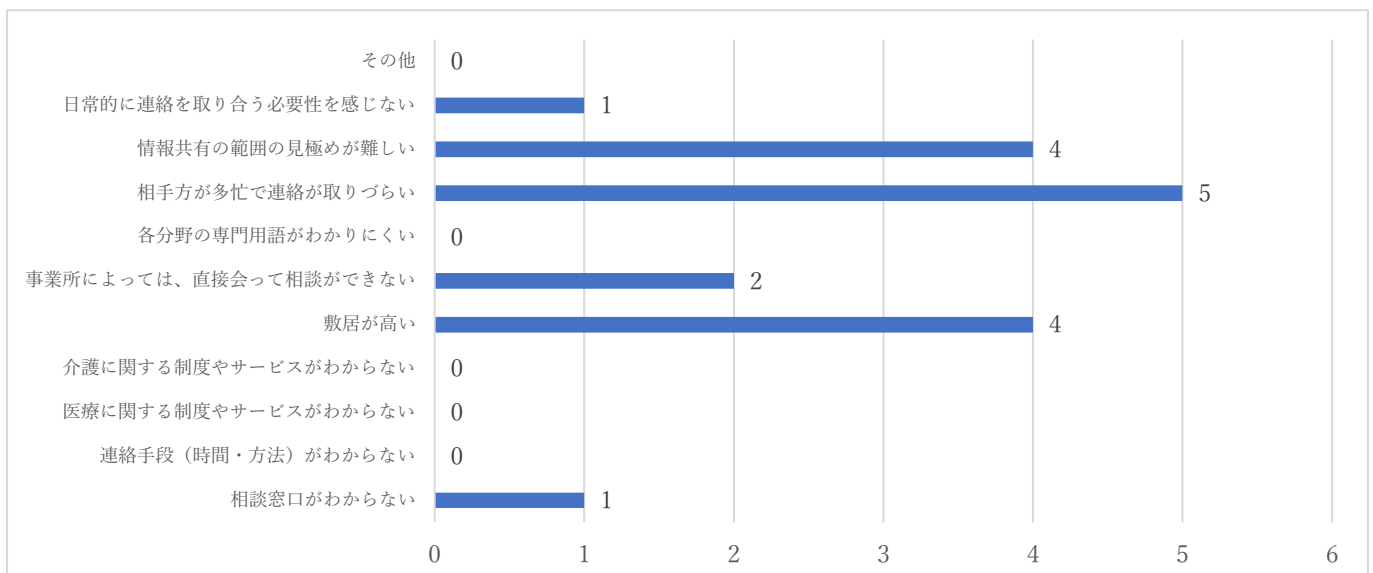
8- (1) どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。



8- (2) 8- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- 医療と介護の連携 FAX や MSW と連携している
- 連携室を介して情報を共有していく
- 医療と介護の連携 FAX の活用
- 伝えることはできても先生が納得しているかはまた別の問題だと思うので、上記回答とする
- 電話、訪問、FAX
- 協力医があるので相談しやすい
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 医師によって差はあるが、聞いたことなどは後日返事を頂ける
- 町内の医療機関には訪問することもあり、顔見知りで相談しやすい
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 定期的受診の結果の共有以外にも特変時にもすぐ連絡できる体制である。ただし日常的に頻繁な情報共有は行っていない
- ケアマネと連絡がとりやすい
- 10年以上訪問しています
- 特に問題を感じていません

8- (3) 8- (1) で「③あまり連携できていない」、「④連携できていない」と答えた方、その理由は何ですか。

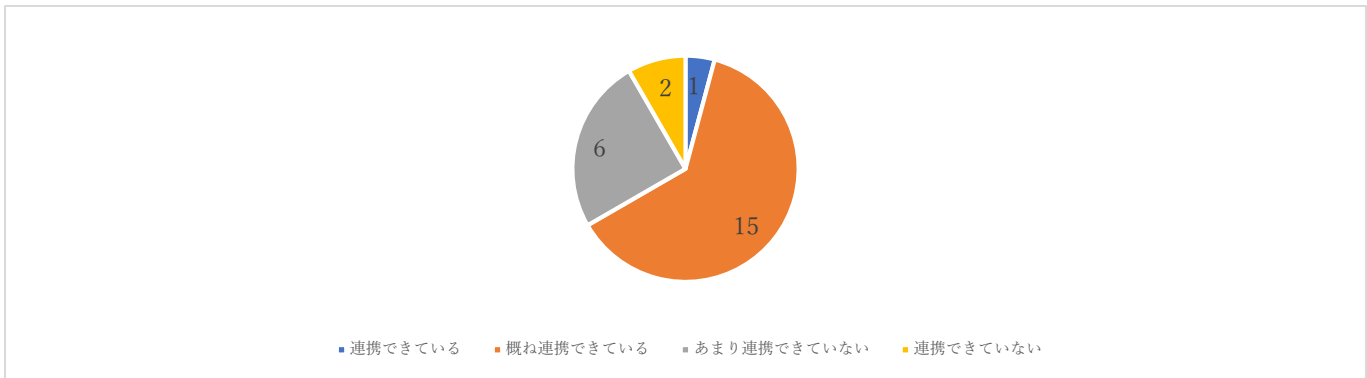


8- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- Dr.が多忙である、連絡票を使用して質問等している
- 連携室の方と連絡がとれているので必要性を感じない
- 連携シートを活用するが、迷惑がる医療機関がある

#### ①病院の看護師との連携

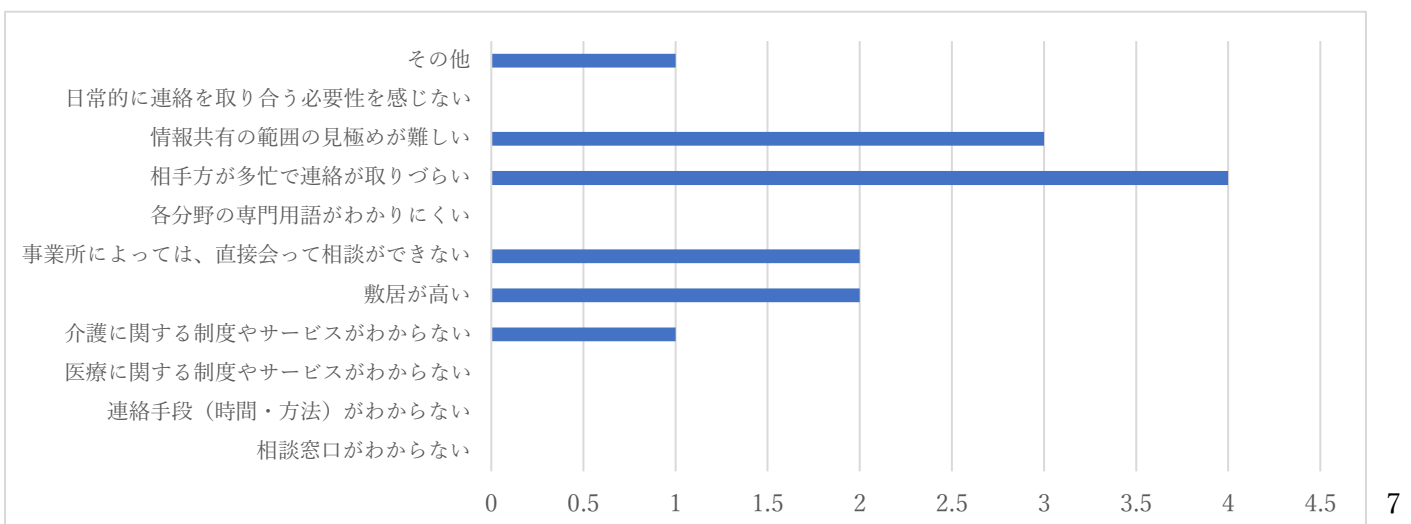
8- (1) どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。



8- (2) 8- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- Ns が忙しい時は、MSW を通して概ね連携できている
- 個人病院では担当の Ns.が決まっているので。大きな病院も直接的ではないにしろ連携室が間に入ってくれる→何も決まっていな場合が一番連携がとりにくい。TEL か連携室に伝えて確認してもらう。
- 電話、訪問、FAX
- 入院された時定期的に連絡している
- 大体の看護師より状態の聞き取りがしやすいと感じている。tel での連絡が多い
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 受診前に状況を報告したり情報共有している
- tel 等
- 町内の病院や近隣の病院は顔なじみの関係ができていますので電話にて連絡ができる
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 同上
- 国富町、綾町のコロナ在宅療養患者さんの休日対応
- 特に問題を感じません

8- (3) 8- (1) で「③あまり連携できていない」、「④連携できていない」と答えた方、その理由は何ですか。

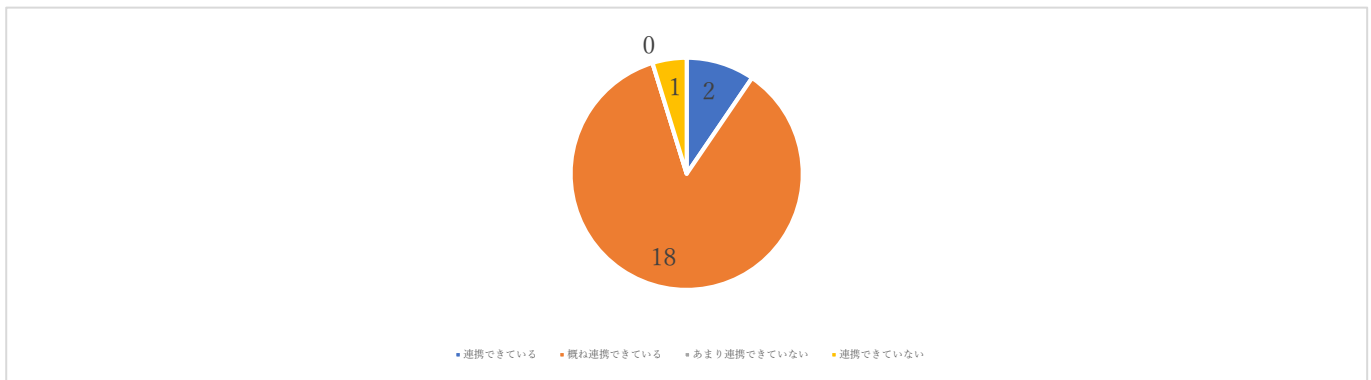


8- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- 急に退院日を伝えてくる
- 病院の場合は看護師よりもソーシャルワーカーの方とよく連携はとっていると思う
- 連携室の相談員を窓口として連携をとっている事が多い(Dr.Ns.ともに)
- 連携することに慣れていないし介護保険制度の理解は不十分
- どちらかというとなら相談員との連携の方がしやすいため

#### ㊦病院の医療ソーシャルワーカーとの連携

8- (1) どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

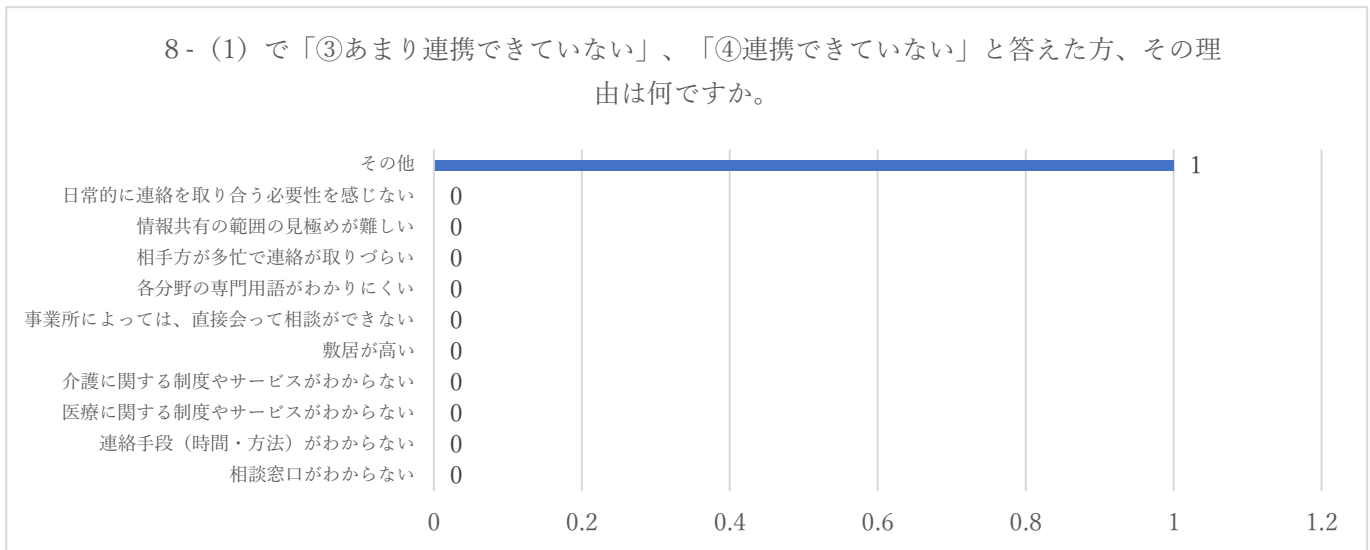


8- (2) 8- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- 病院担当が決まっており連絡しやすい
- TEL
- 入退院時の連携のために電話連絡をしあっている
- 最近病院 SW から連絡があるなど、連携がとりやすい体制が整ってきている。TEL で連携することが多い。
- 電話や FAX での情報共有
- 電話、訪問、FAX
- 入院時、退院時は頻繁に連絡をとっている
- 退院前に連絡あり、状態把握している
- 入退院時は連絡をもらうことが多い
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 連携室のある病院であれば相談しやすく、医師などへの相談がしやすくなる
- 医療側の連携の中心として考えているためこちらも連絡しやすい
- 入院したら連携室に TEL、退院決まる時教えてくださいと
- tel 等
- 入退院 情報共有のため、電話にて連絡後 fax 利用
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 必要時においては、連携できる体制にある
- 連絡があれば面談を断らない
- 同上



8- (3) 8- (1) で「③あまり連携できていない」、「④連携できていない」と答えた方、その理由は何ですか。



その他

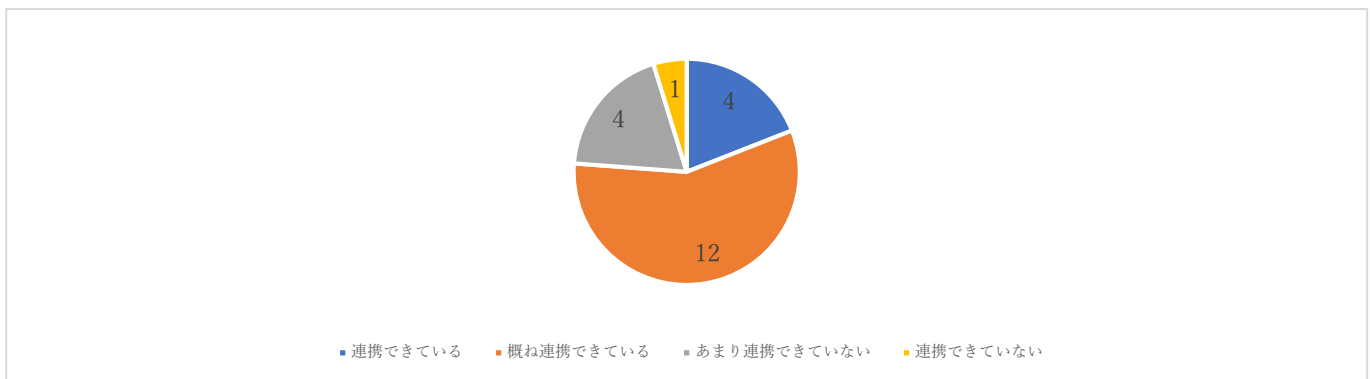
相談員が役割を成しているの

8- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

なし

#### ㊥診療所との連携

8- (1) どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

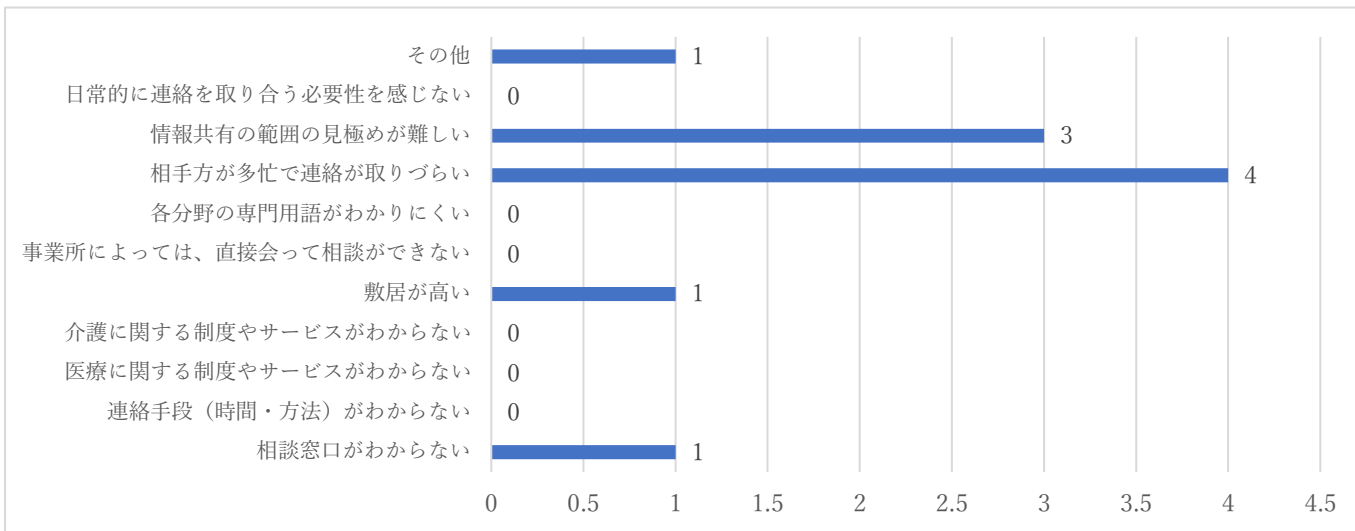


8- (2) 8- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- 外来Nsを通して主治医に報告や相談できている
- 医療と介護の連携 FAX の活用
- 地域性もあると思うが、互いに面識がある場合もあるため(でも診療所の Dr.が介護保険自体を嫌いだと連携が難しい場合もある)。TEL か FAX 連絡票。
- 電話、訪問、FAX
- 同じ町内なので看護師に連絡し、Dr.に tel する時間に(あいている時間尋ね)tel している
- 医師が往診される、電話で連絡とれている
- 様式を使い fax を行ったり、tel にて情報共有することが多い
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 町内であれば顔の見える関係であり連携しやすい
- 訪問し報告している

- 都合を確認し訪問
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換も行えている
- 近くの診療所に在宅診療を依頼している
- 定期的受診の結果共有以外にも、異変があればすぐに連絡と対応をしてもらえる体制である
- 同上

8- (3) 8- (1) で「③あまり連携できていない」、「④連携できていない」と答えた方、その理由は何ですか。

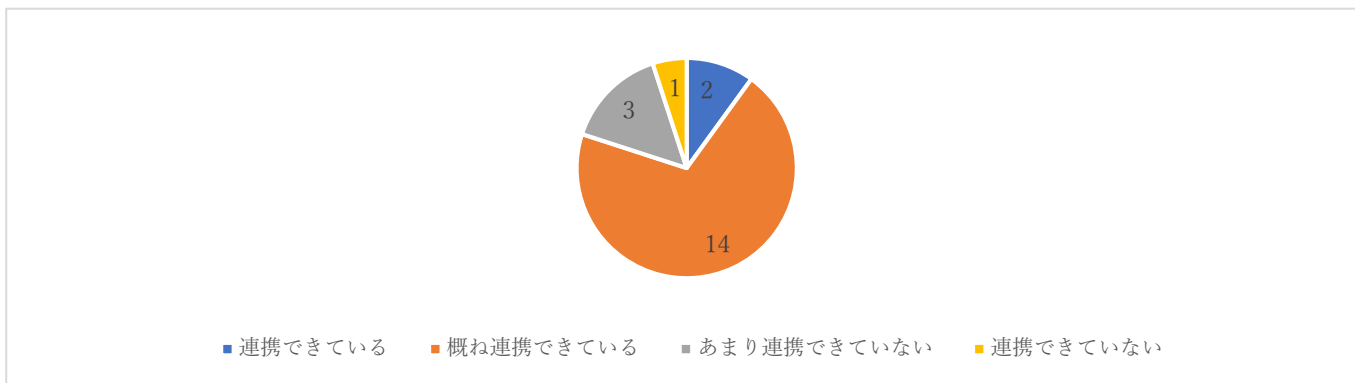


8- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- 診療所によって連携に差はあるけれども、顔の見えない状況になると特に難しい
- 診療所 相談窓口を設けていない所があるので、誰に伝えれば良いか判断に困る

#### ④薬局との連携

8- (1) どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

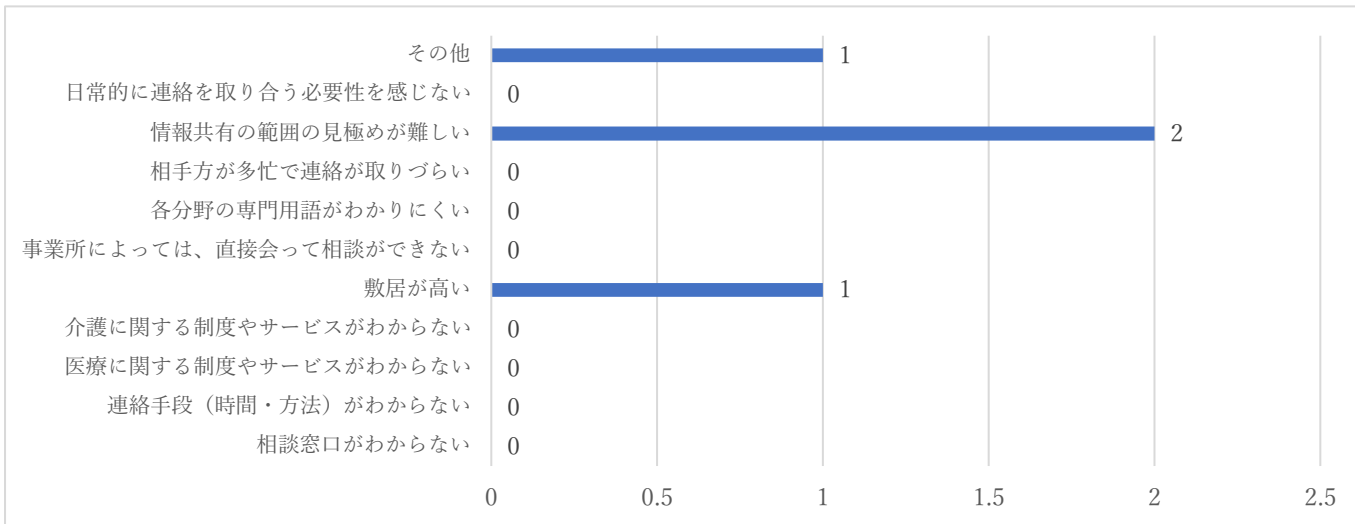


8- (2) 8- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- 薬剤師さんと連絡でき、相談できている
- 入退院時の連携のために電話連絡をしあっている
- 居宅療養をとっているところは連携しやすいと思う(一度相談した時に迷惑そうにされた薬局もあったので)。TEL か担会時などに照会で確認している。
- 電話、訪問、FAX
- 薬情の件や服薬管理が困難な方の件でよく連絡をとりあう(全員ではない)
- 電話で相談できている
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている

- 町内程度であれば可能だが、院内処方とかになると難しい側面もある
- 認知機能の心配な方は個別包装を頼んだりしている
- tel や訪問し確認
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換も行えている
- 薬に関することにおいては連携できる体制である(電話・対面)
- 同上

8- (3) 8- (1) で「③あまり連携できていない」、「④連携できていない」と答えた方、その理由は何ですか。

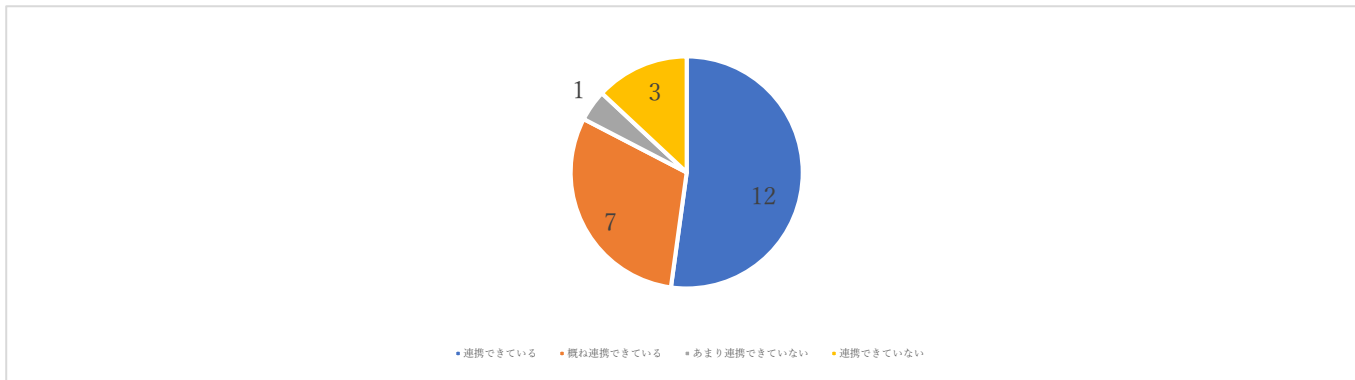


8- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- 薬局によっては個人情報を守秘義務とされる所がある
- 同居家族が無関心だったり独居の方はケアマネが関わっていかねばならないが、基本家族対応が多く、日常的に薬局と連絡を取り合うことはない

㊦訪問看護ステーション(訪問リハビリを含む)との連携

8- (1) どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

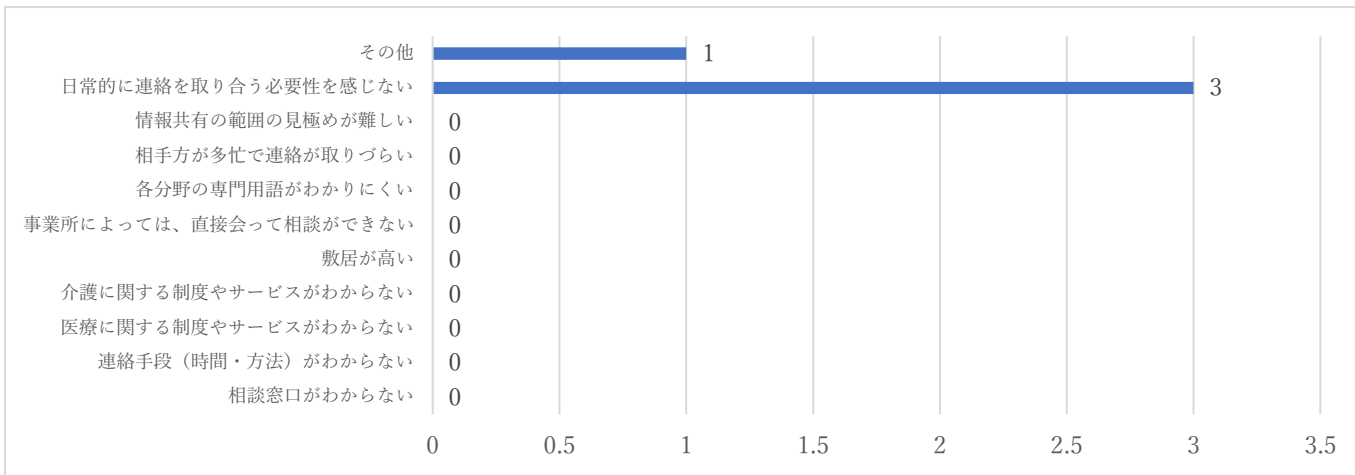


8- (2) 8- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- 管理者より状態を聞くことができ、スムーズ
- TEL や個別報告書、担当者会議への参加
- 何かあった時には必ずお互い報告しあっている
- 毎月の報告書の確認と、必要時は連絡をいただくことで情報の共有を図るようにしている
- 介護保険での連絡・調整、情報共有している
- 電話、訪問、FAX

- 状態把握のためお互い tel しあう
- 毎月モニタリング表等を送付してもらうことで把握しやすい
- 利用する機会がなかったため、連携について返答できない
- 顔の見える関係のできている事業所と連携できている
- tel で気軽に相談できます
- tel で確認
- 訪問看護より定期的に情報の報告がある
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 異変は報告し合い、対処も相談できる状態である
- いつでも話し合いができる
- 在宅療養患者さんへの休日対応
- 同上

8- (3) 8- (1) で「③あまり連携できていない」、「④連携できていない」と答えた方、その理由は何ですか。

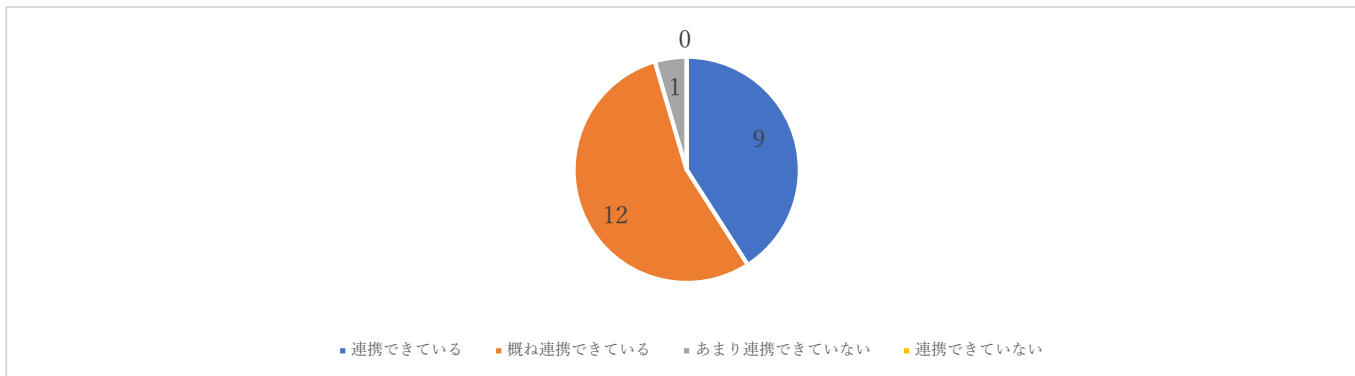


8- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- 特定施設のため
- 依頼する要件がない

㊦地域包括支援センターとの連携

8- (1) どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

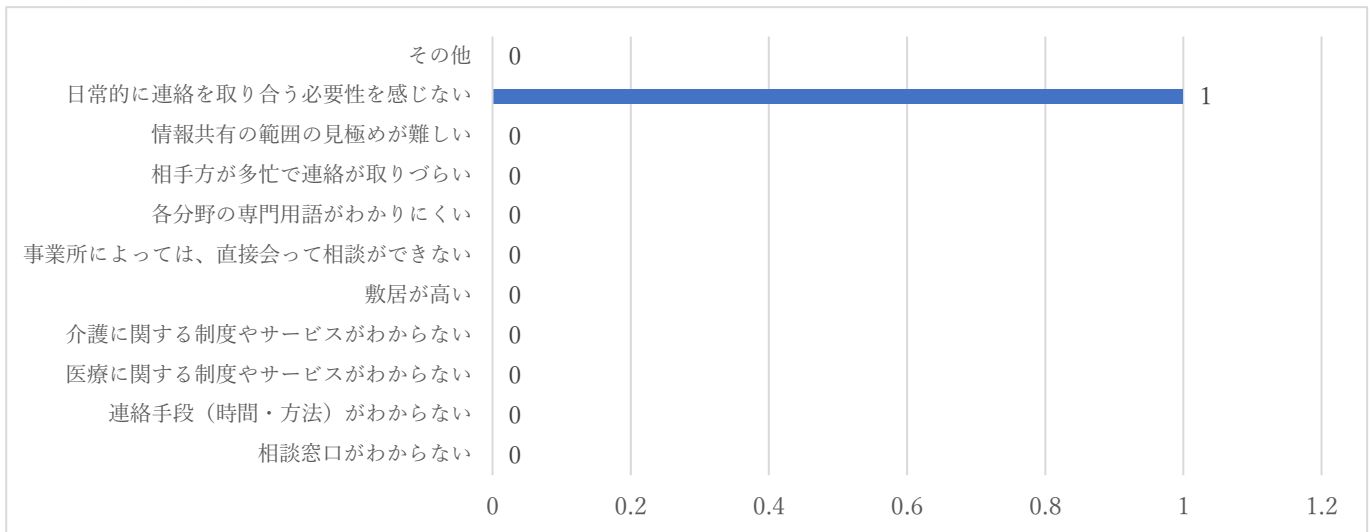


8- (2) 8- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- 利用者さんや家族の困り事について相談し情報共有が大体できている
- 何か困ったときや確認したいことなどあったら問い合わせして連携している

- 必要時にこちらから連絡・相談等を行い情報の共有を図るようにしている
- 支援困難時の相談等
- 電話、訪問、FAX
- 困難事例など特に必要(tel や訪問同行)
- 必要時は相談員が連絡やりとりしている
- 小さな町特有の連携感がある
- 相談員を通して情報入手できている
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- tel や訪問
- 包括から紹介される事が多いので御利用者の相談や情報共有を行っている。また支援をするにあたって難しい時には訪問し相談にのってもらっている
- 入所相談等細部まで情報共有・進捗連携できる
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 運営推進会議などで意見交換している
- 入所系施設を通じて情報共有はできている
- 気軽に話している
- 包括からの要請で患者宅に訪問している
- 同上

8- (3) 8- (1) で「③あまり連携できていない」、「④連携できていない」と答えた方、その理由は何ですか。

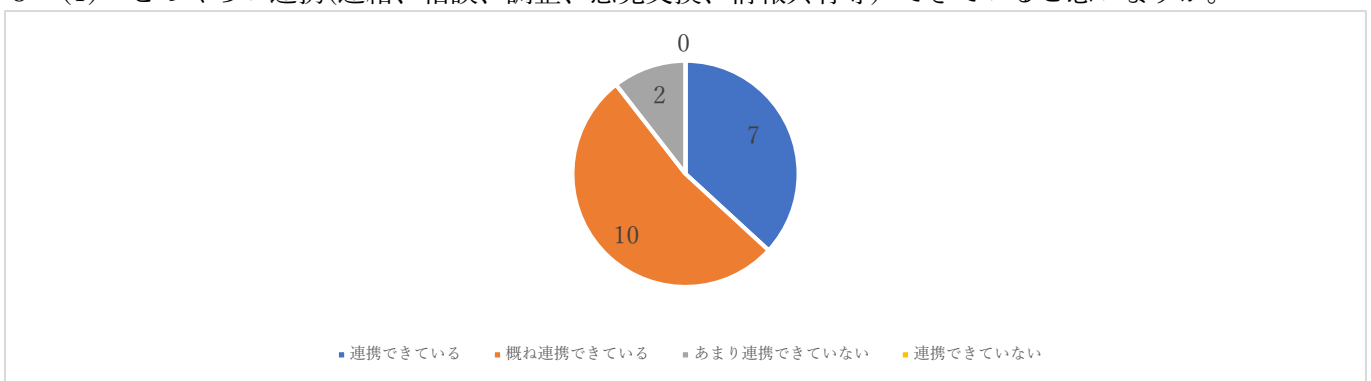


8- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- スキル不足

## ②居宅介護支援事業所との連携

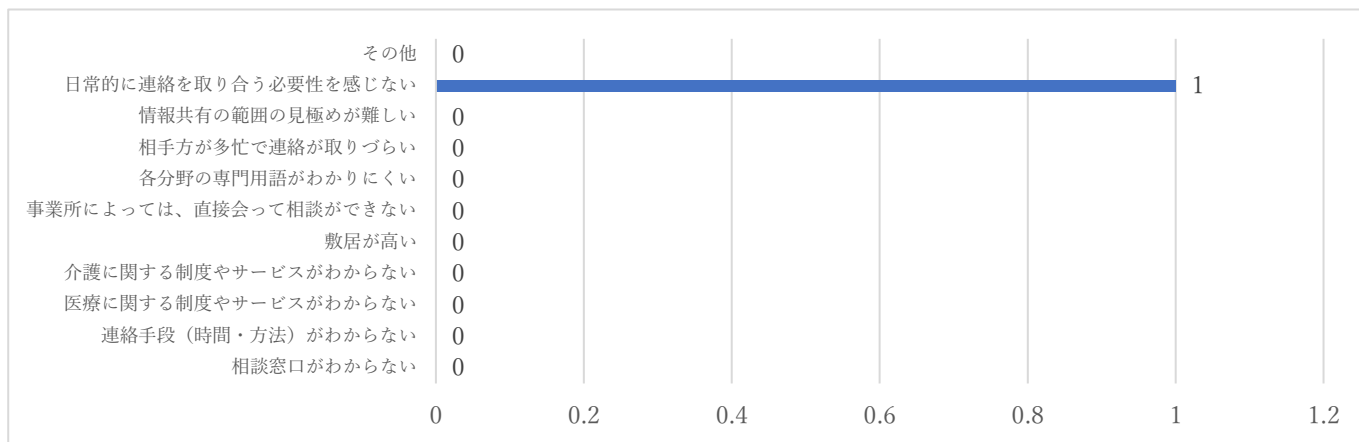
8- (1) どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。



8- (2) 8- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- TEL やケアマネ連絡会での情報共有
- ショートステイ利用者いるので相談員が連絡とっている
- 困難ケース等の相談ができる事業所と連携できている
- 必要に応じて連絡を入れて、情報の提供がいただいている
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 顔の見える環境ができ、双方で相談し合える関係になってきた
- 顔の見える関係なのでできている
- 新規の方の相談を受け、得た情報を共有している
- 研修会等を一緒に行う
- 連絡会や研修、勉強会等で話をする機会があり相談等行っている
- 連絡・相談 円滑にできる
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 定期の報告の他、特変時も相談し調整を依頼できる
- 気軽に話ができています
- よくお会いして話をしている
- 同上

8- (3) 8- (1) で「③あまり連携できていない」、「④連携できていない」と答えた方、その理由は何ですか。

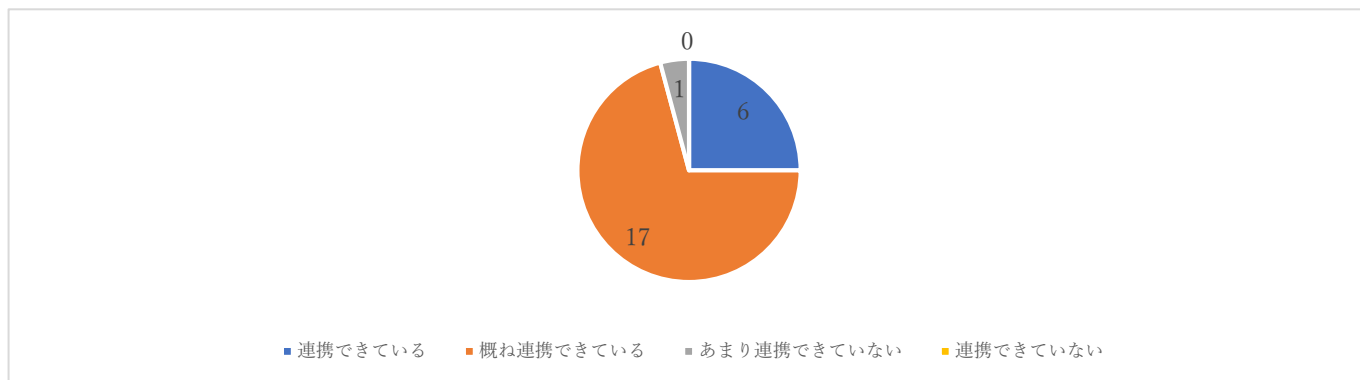


8- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

なし

### ⑦入所系施設との連携

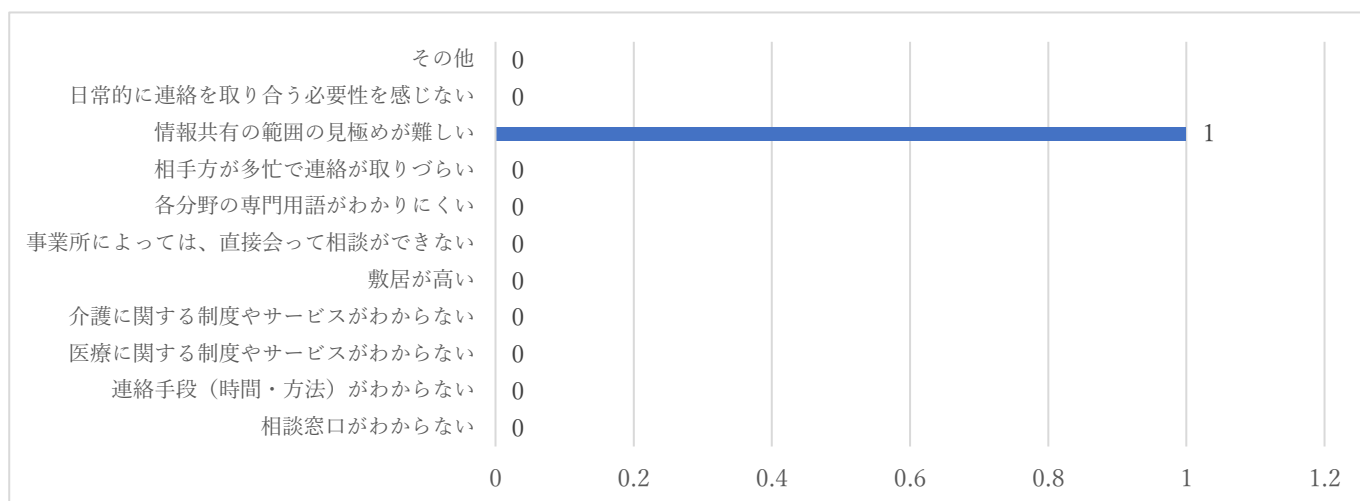
8- (1) どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。



8- (2) 8- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- 生活相談員が忙しそうで、速やかなショートステイ予約ができないこともある
- 連携室との TEL や面談による情報共有
- 入所の相談や、入所中の様子など密に連絡をとりあっている
- 施設にもよるが、必要時に連絡・相談していただくように訪問時毎日お願いしている。体調の変化や新しい薬、家族相談など共に共有できるようにしている
- 毎月の状態確認や異変・変更時の連絡をとっている
- 電話、訪問、FAX
- 施設、ショートなどでの連携は tel や面談にて話し合う機会を作っている(同席するようにしている)
- ST、入所中の必要な状況は共有できている
- 事前調査しやすい
- 顔の見える関係づくりができており、情報交換が行えている
- 相談員との顔の見える関係づくりができています
- 入所施設の相談員は介護のことに詳しく相談しやすい
- 入所前在宅復帰の際は情報共有するのみ
- 施設長、相談員等に電話にて相談・確認しているため
- 情報共有できている
- 顔の見える関係がつくれており、情報交換が行えている
- 日々の状態をこまめに情報共有できているため
- よく相談がある
- よくお会いして話をしている
- ほぼ毎日訪問している
- 同上

8- (3) 8- (1) で「③あまり連携できていない」、「④連携できていない」と答えた方、その理由は何ですか。

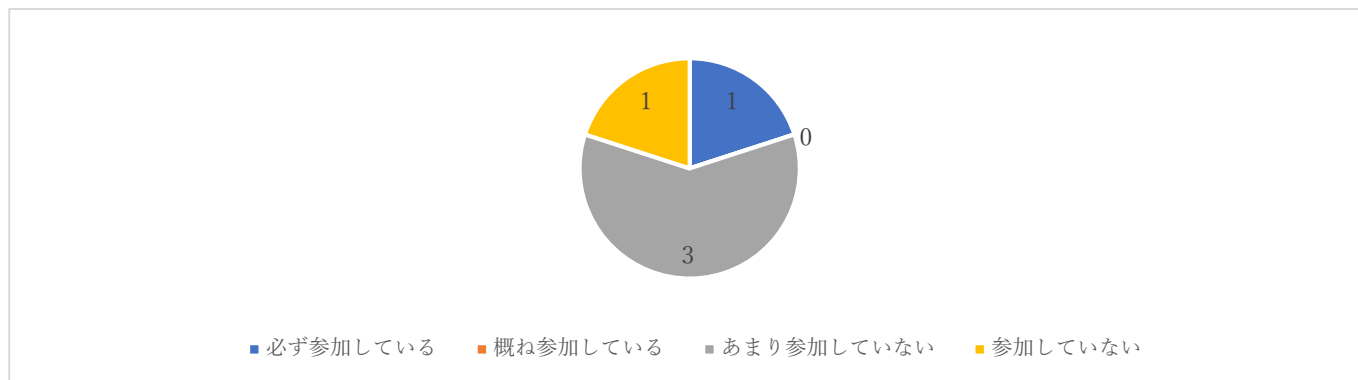


8- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

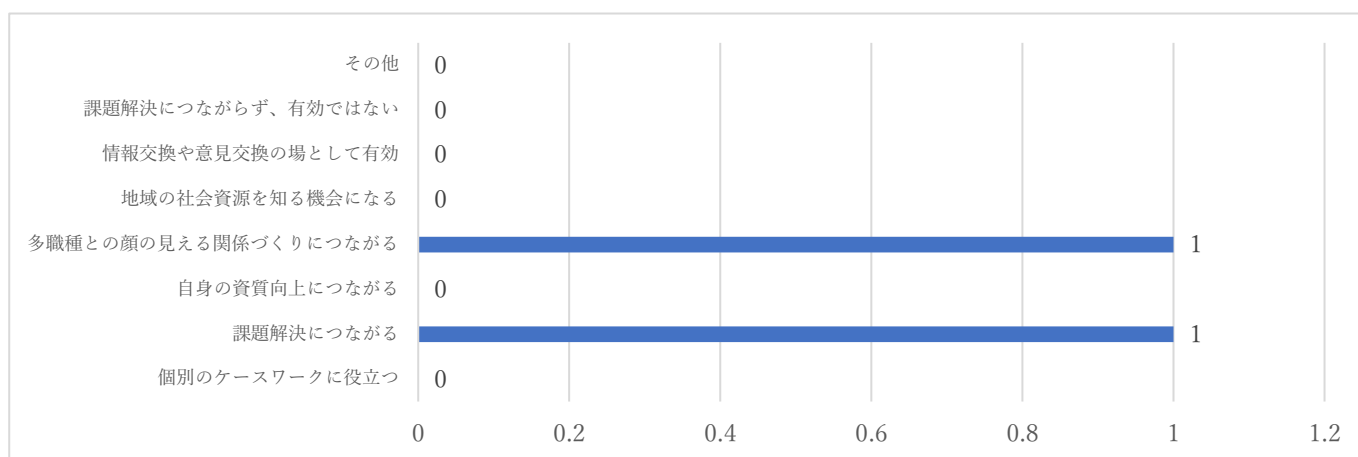
なし

※介護支援専門員以外にお伺いします。

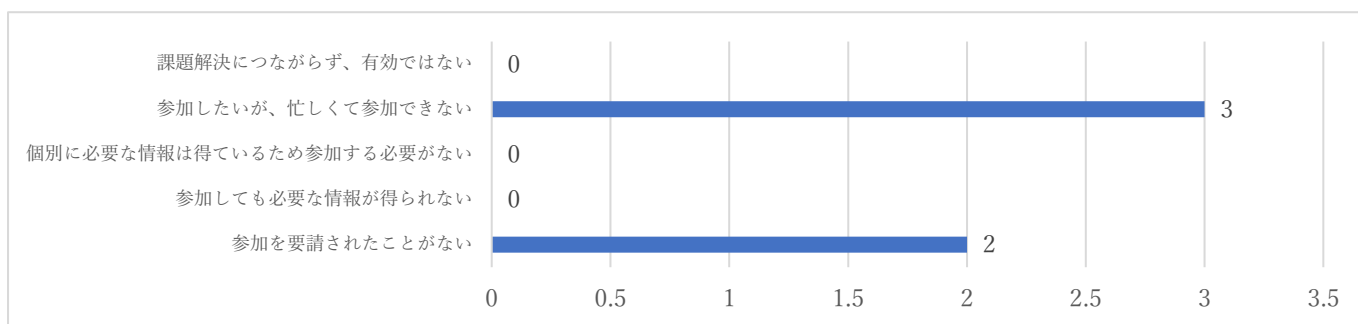
9- (1) 貴事業所は、サービス担当者会議に参加（文書による意見照会や意見交換を含む）していますか。



9- (2) 9- (1) で「①必ず参加している」、「②概ね参加している」と答えた方、参加してみてどうでしたか。

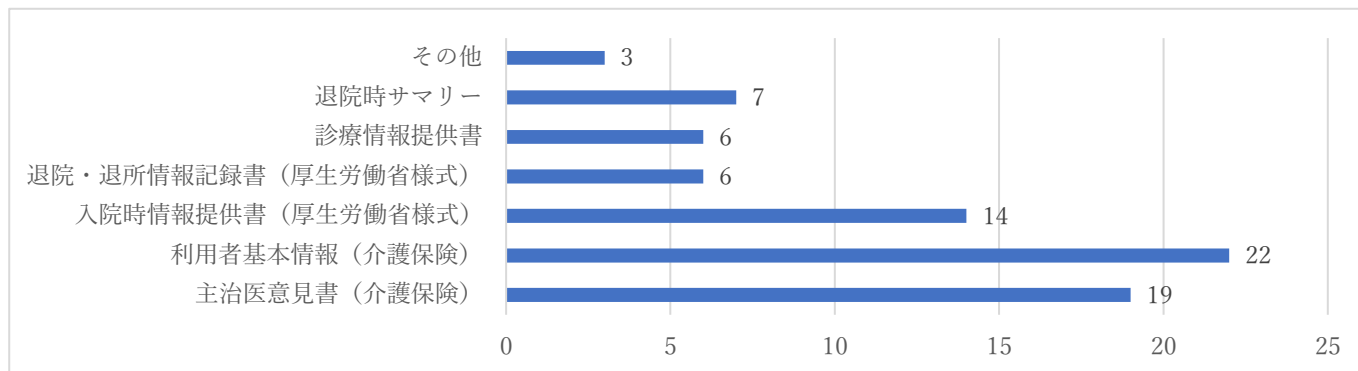


9- (3) 9- (1) で「③あまり参加していない」、「④参加していない」と答えた方、参加していない理由について、あてはまるもの全てに☑をつけてください。



※回答者全員にお伺いします。

10- (1) 貴事業所には、多職種連携に係る情報提供に用いている書式・様式がありますか。



その他

- 自法人用独自のもの



- 医療と介護の連携シート

- 連携票

10- (2) 貴事業所独自で使用している書式・様式で、他事業所と共通利用しているものがあれば具体的に記入してください。

- エクセルで作成

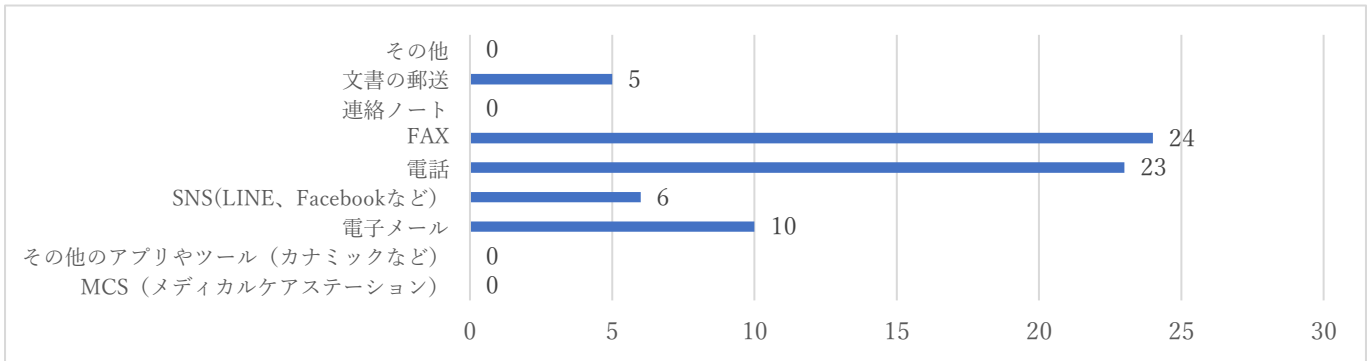
- 上記は同事業所グループで共有している

- 医師との連絡票

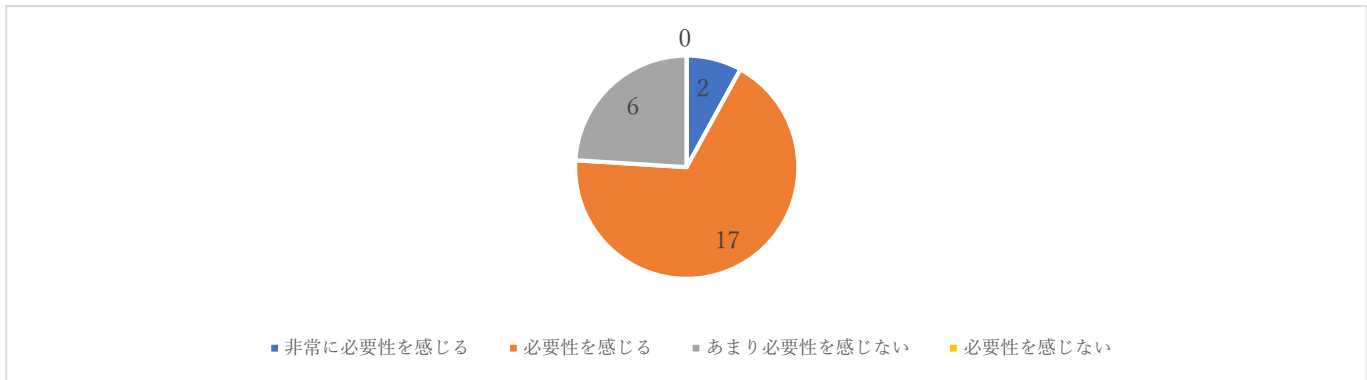
- 介護・医療の連携連絡票

- 特になし

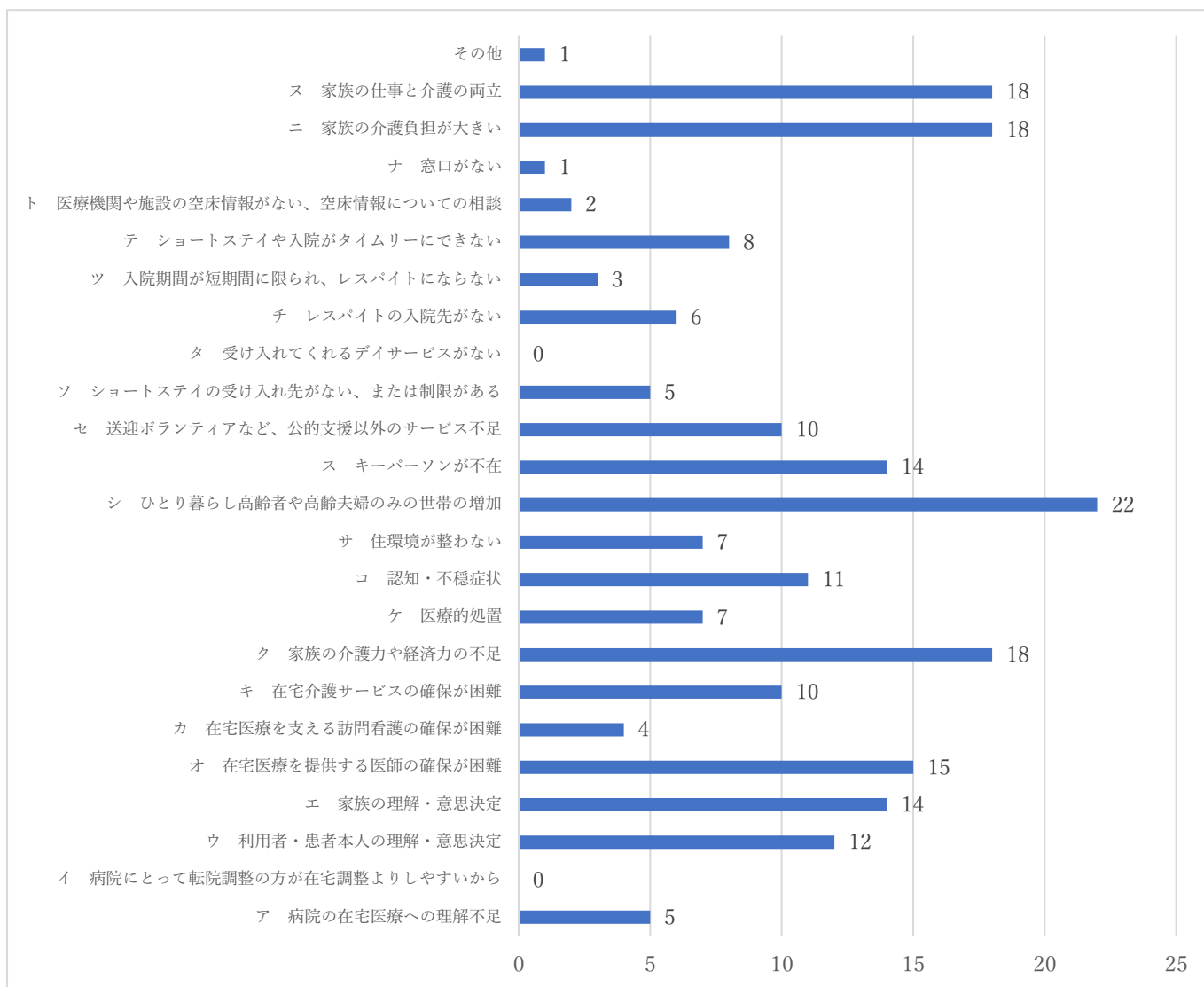
11 貴事業所は、多職種連携に使用しているシステム・ツールがありますか。



12 多職種連携に係る情報を共有するシステムや書式を作成し、運用する必要性を感じますか。



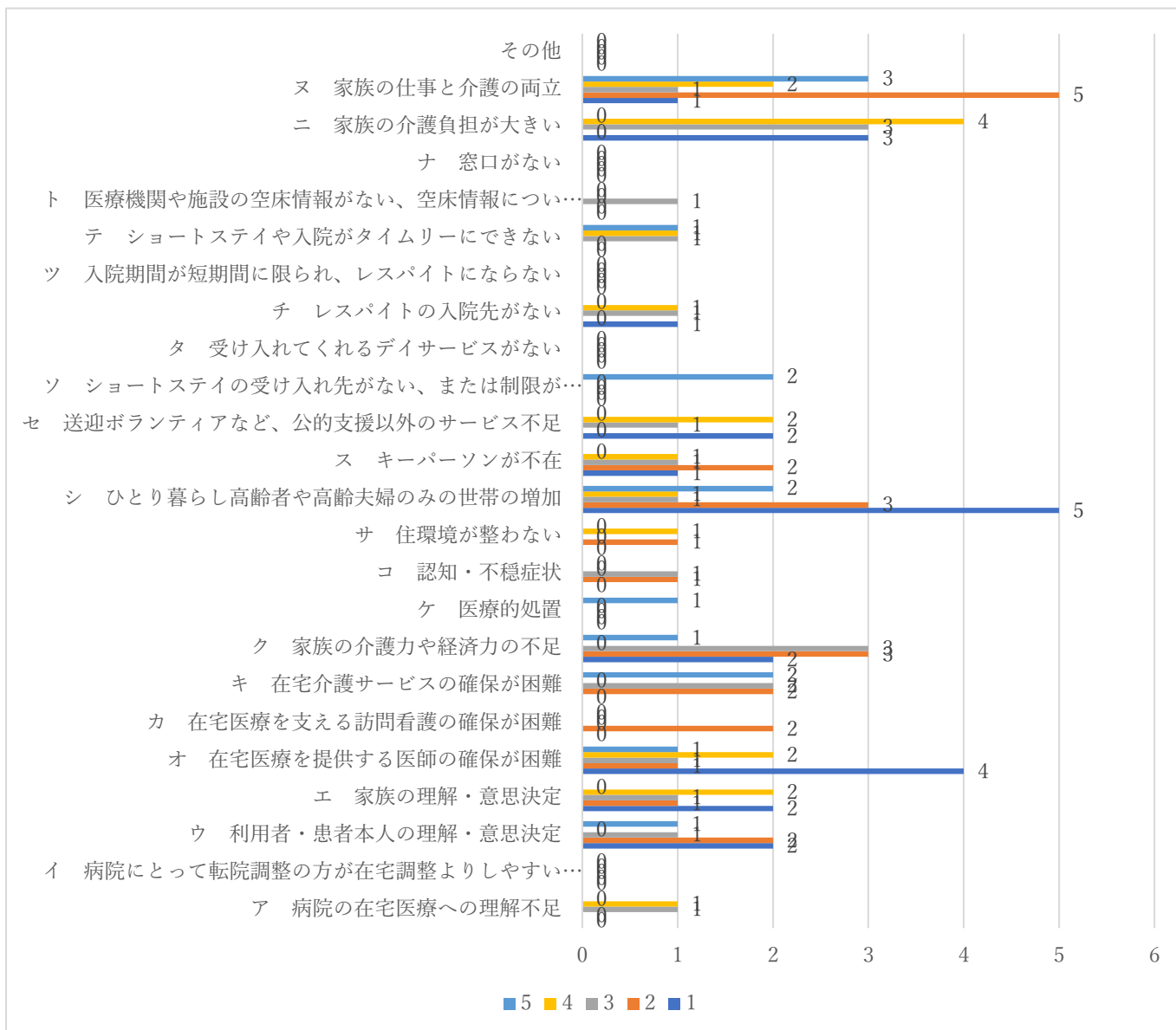
13- (1) 利用者・患者の在宅療養の障壁になっているものは何だと思えますか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。



### その他

- 上記と同じかもしれませんが、同居する家族が少ない場合それを支えるまわりの環境も整わないと継続が難しいように感じます

13- (2) また、その中でも優先度が高い課題の記号を 5 つまで順位をつけて回答し、具体的な状況を記入してください。



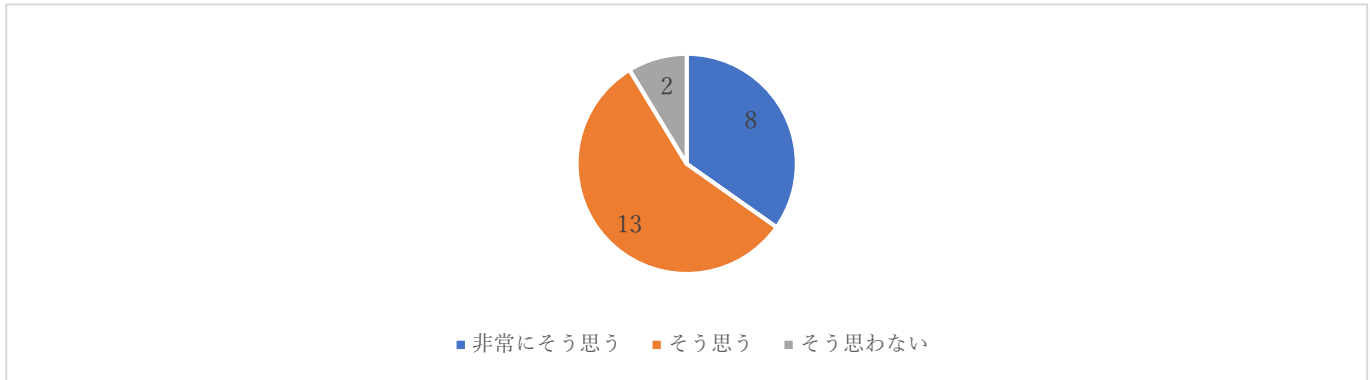
- 介護保険サービス超過となり家族の経済的負担が大きい。見守りボランティアがいない、②大体の家族が仕事をしており介護できない、③④レスパイト入院を考えても空床情報わからず入院できる病院がない、⑤家族が仕事をしている人が多く高齢でもあるため介護力不足あり
- 年金額が少ない、②運転免許証の返納、③県外に子供がいてすぐに帰ってこれない状態
- 上記ウ・エ・ク・サ・シ・ヌ・その他は同じ状態と想定。①～④いざ今家に帰ろうとする時の本人・家族の気持ちや状況と自宅で考えられる介護の状況に差がある、⑤訪問してくれる医師がなかなか見つからないし、医師が限られることで医師の負担も大きいと思う
- 夫婦共に認知症などケアマネが毎日のように訪問しないといけない状況が続いている、②家族が遠方の方が増えている、③農家の方は特に朝が早く在宅で介護が難しい、④老々介護になり見る側の体調悪化も起こってくる、⑤はじめは一泊で特に歩ける認知症の方は次回から断られる事あり
- 知識、介護力なく悪化する、②家族が対応できず疲労してしまう
- 行政サービスのバス・タクシー・ワンコインバスはあるがちょい乗り時の対応はない、②老老介護。独居者の療養は重度化すると困難、③経済力がなく最低年金者のサービス量は限りがある
- 介護するご家族がまだお仕事・子育てをしていると、かなり負担が大きいと思います、②家に帰りたくても

どうやっても帰らせてあげられない方もいる、③不穏があると薬で落とすのも身体面で弱ることもあり、激しい方の対応が難しい、④病院の理解があまりなく、突然帰したり退院させたりする、⑤要支援レベルの方のヘルパーさんの受け入れが少ない

- 訪問診療医師が少なく対応困難、②町内に訪問看護ステーションがなく常に町外より支援が必要、③町内に訪問介護事業所がなく支援に制限がある、④インフォーマルサービスなくフォーマルサービスでも動かせない部分もあり対応困難、⑤独居や老老介護が多く支援者が近くにいない、支援者の協力を得られにくい
- 医療機関(町内)が少なく訪問診療を行う医師が少ない、②③サービス事業所が受け入れが少なく家族の負担が増している、④見守りや傾聴などちょっとした支援が必要、⑤コロナにより制限がある
- 老々介護である、②介護に対する理解不足等
- 緊急時や夜間帯、訪問診療を受けてもらえない事が多い
- 特にターミナル期において意思決定をできない・理解してもらえない場合がある、②認知症や情緒不安定などにより理解が困難である、③往診に対応してもらえない医師がいない場合、在宅療養は叶わないことがある、④本人が意思決定が困難な場合や家族が不仲などで方向性が決まらない、⑤ひとり暮らしや高齢夫婦だけだと負担が大きい
- 宮崎市の医師が診察し、宮崎市の Dr.の親しい薬局が訪問している、②服薬がきちんとできているか確認できない

## 【入退院支援に関する調査票】

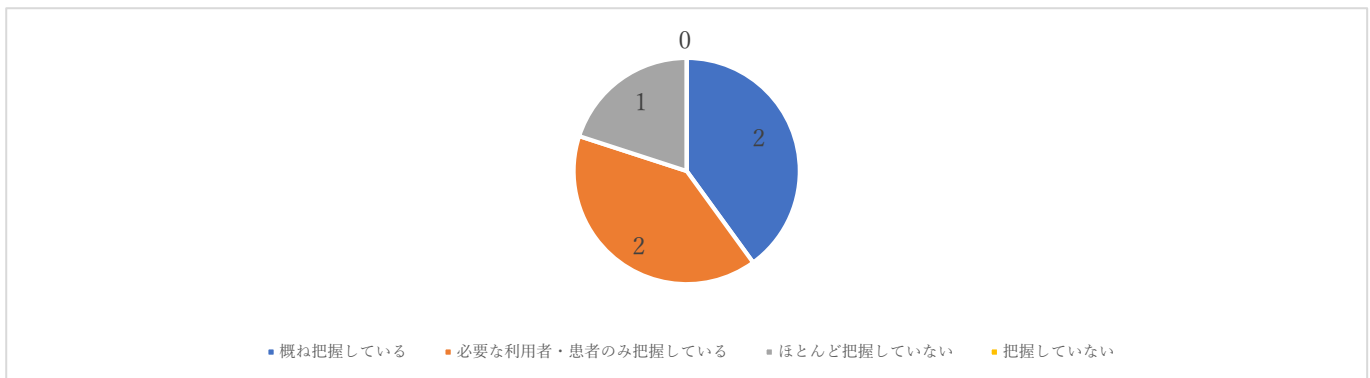
14- (1) 入院早期から、利用者・患者の在宅療養に備えた関係者との情報交換は重要だと思いますか。



14- (2) 14- (1) を選択した理由や具体的な状況を記入してください。(自由記載)

- 早期の段階で情報交換していると、リハビリができ退院後在宅に帰れるケースがあった
- 住宅改修や支援体制
- 「早期」の概念が難しいところですが、ある程度状態が固定されつつあればその段階で先を考えるための情報交換は不可欠だと思います
- 在宅を想定したリハ計画が立てやすくなるが、入院中は心身の状況が変わってしまうこともあるため。状況や時期を見定める必要はあると考える。
- 入院早期では、予後がわかりにくいから
- 準備ができるため
- 状態が落ち着き、退院が近くなってからでいいと思う(2~3日前の連絡は辞めて欲しい)
- 入院期間にもよるが、入院で状態がどれだけ変化するかわからないので在宅復帰に向け早期からの情報交換は必要と感じる
- 入院時に容態が変わることもあると思うが、方向性を決定していくことは大事だと思う
- 患者さんの不安をなくす事は大切
- 必要だから

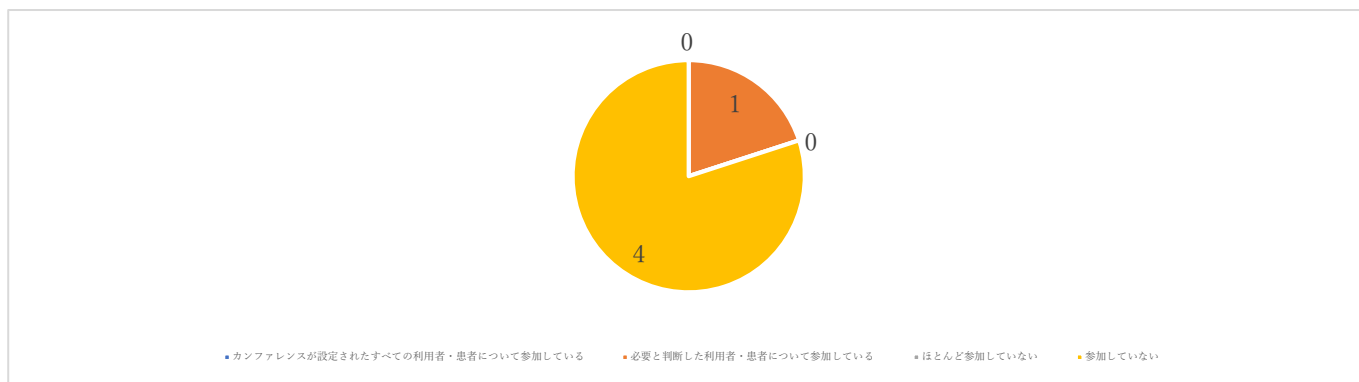
15- (1) 利用者・患者の担当のケアマネジャーを把握していますか。



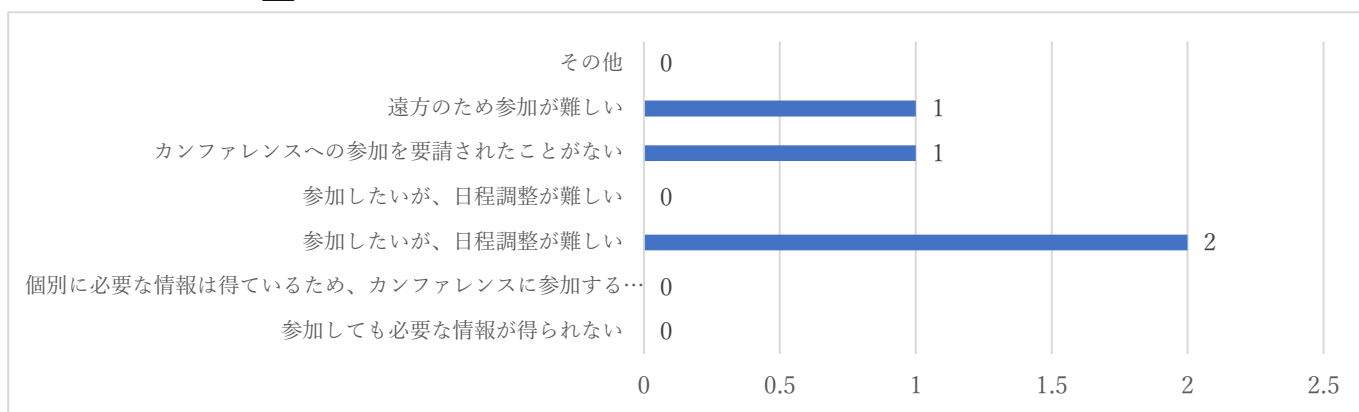
15- (2) 「③ほとんど把握していない」、「④把握していない」と答えた方、理由を具体的にご記入ください。(自由記載)

- 特に理由なし、知る機会がない

16- (1) 貴事業所は、退院し、在宅療養に移行する利用者・患者の退院時共同指導（以後、「退院前カンファレンス」という）（退院支援に関する報酬の加算の有無は問わない）に参加したことがありますか。

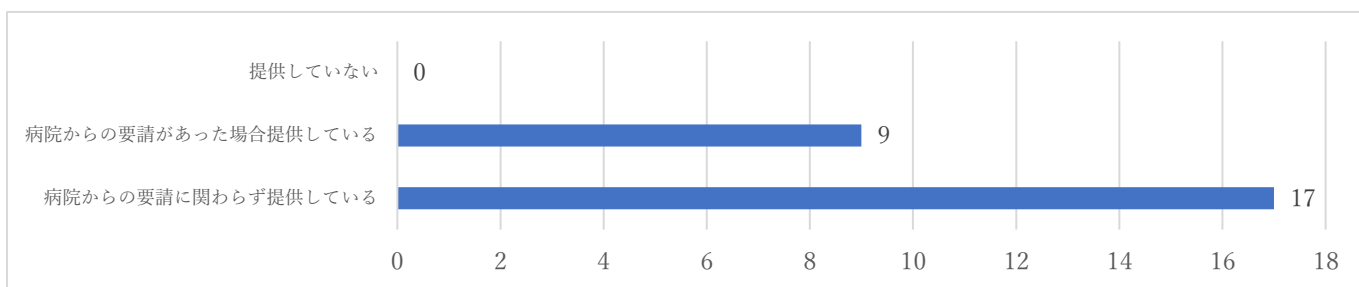


16- (2) 16- (1) で「③ほとんど参加していない」、「④参加していない」と答えた方、その理由は何ですか。あてはまるもの全てにをつけてください。

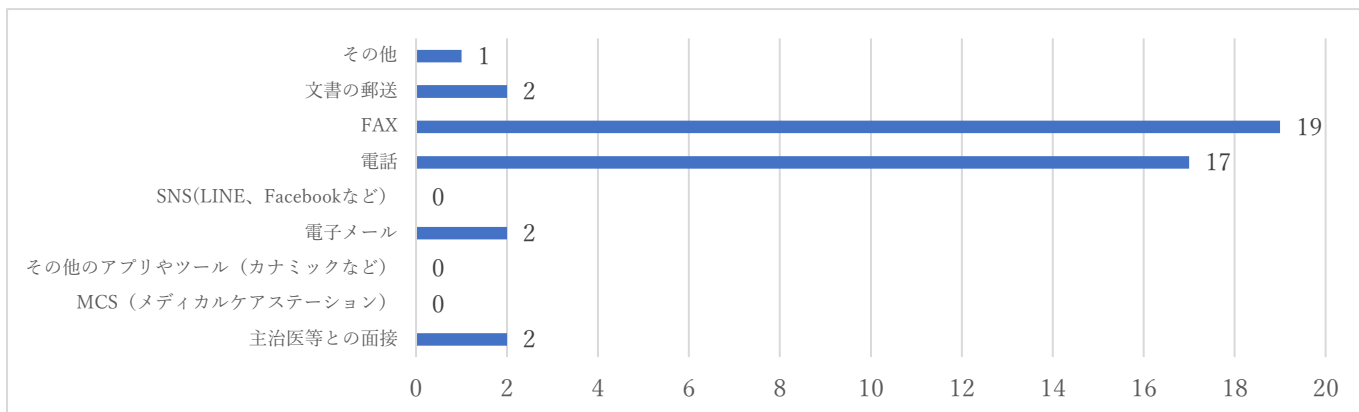


※病院以外にお伺いします。

17- (1) 利用者・患者が入院する（した）場合に、在宅での生活状況等について病院に情報提供を行っていますか。



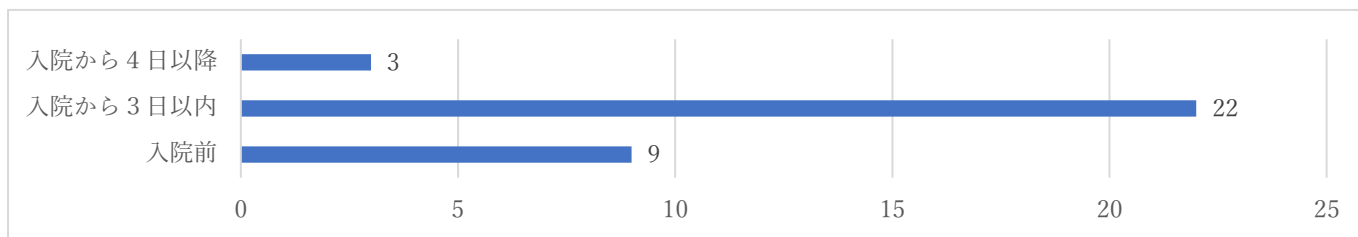
17- (2) 17- (1) で「①病院からの要請に関わらず提供している」、「②病院からの要請があった場合提供している」と答えた方、どのような手段で情報提供していますか。あてはまるもの全てにをつけてください。



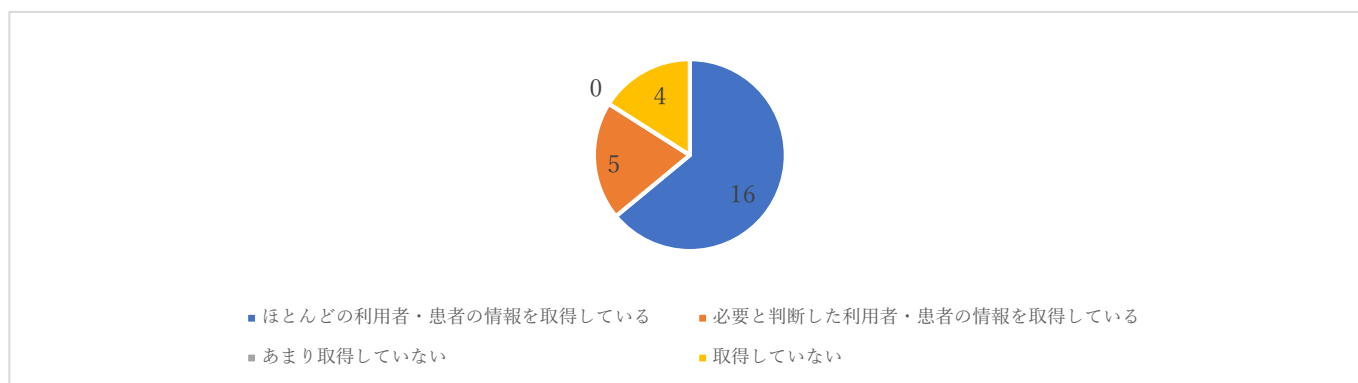
その他

- 病院の連携室に連絡する

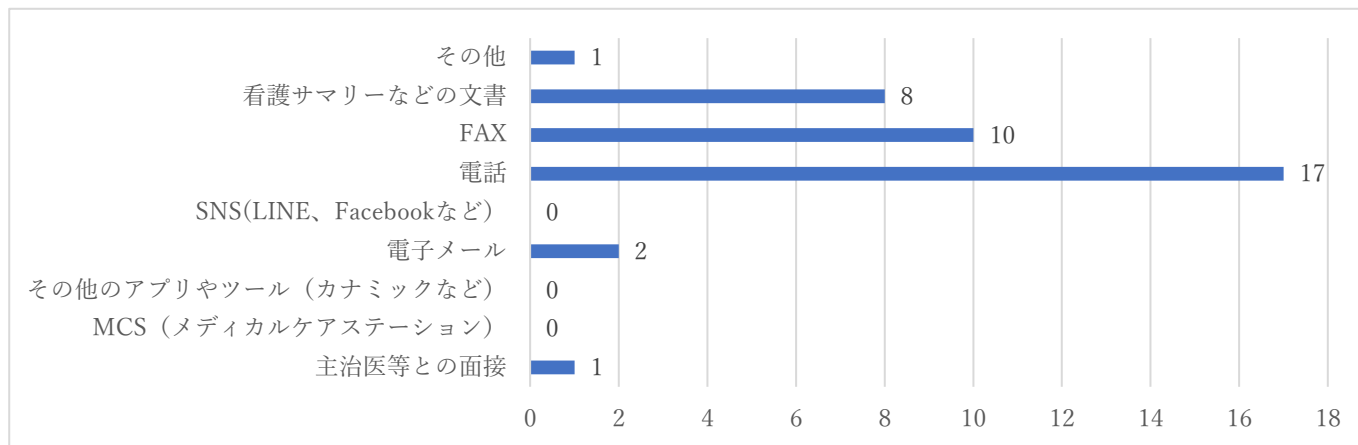
17- (3) 17- (1) で「①病院からの要請に関わらず提供している」、「②病院からの要請があった場合提供している」と答えた方、いつ情報提供していますか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。



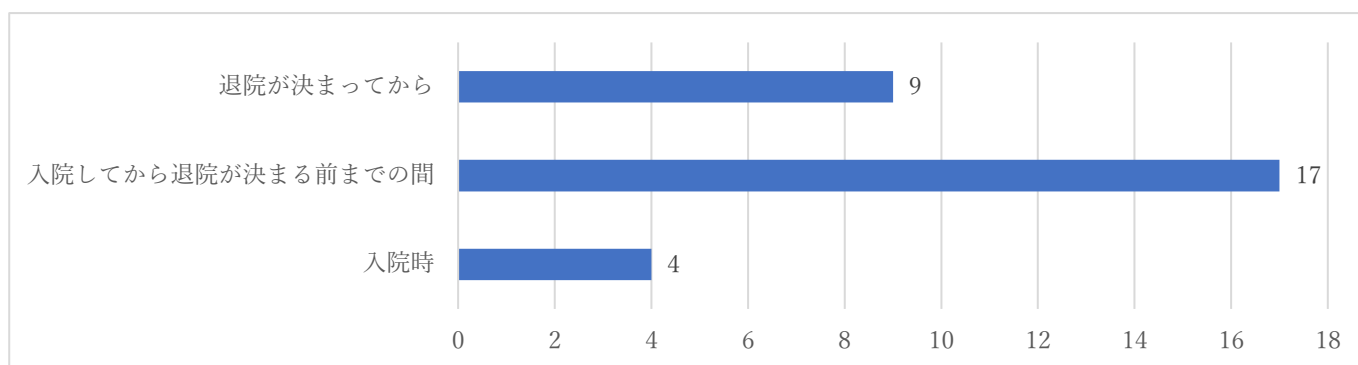
18- (1) 利用者・患者が入院した場合、病院から経過情報を取得していますか。



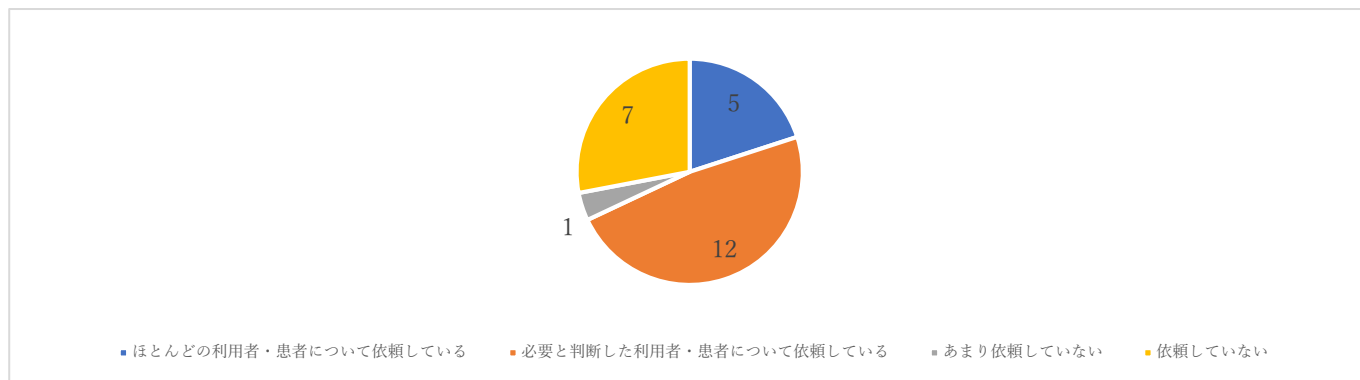
18- (2) 18- (1) で「①ほとんどの利用者・患者の情報を取得している」、「②必要と判断した利用者・患者の情報を取得している」と答えた方、どのような手段で経過情報を取得していますか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。



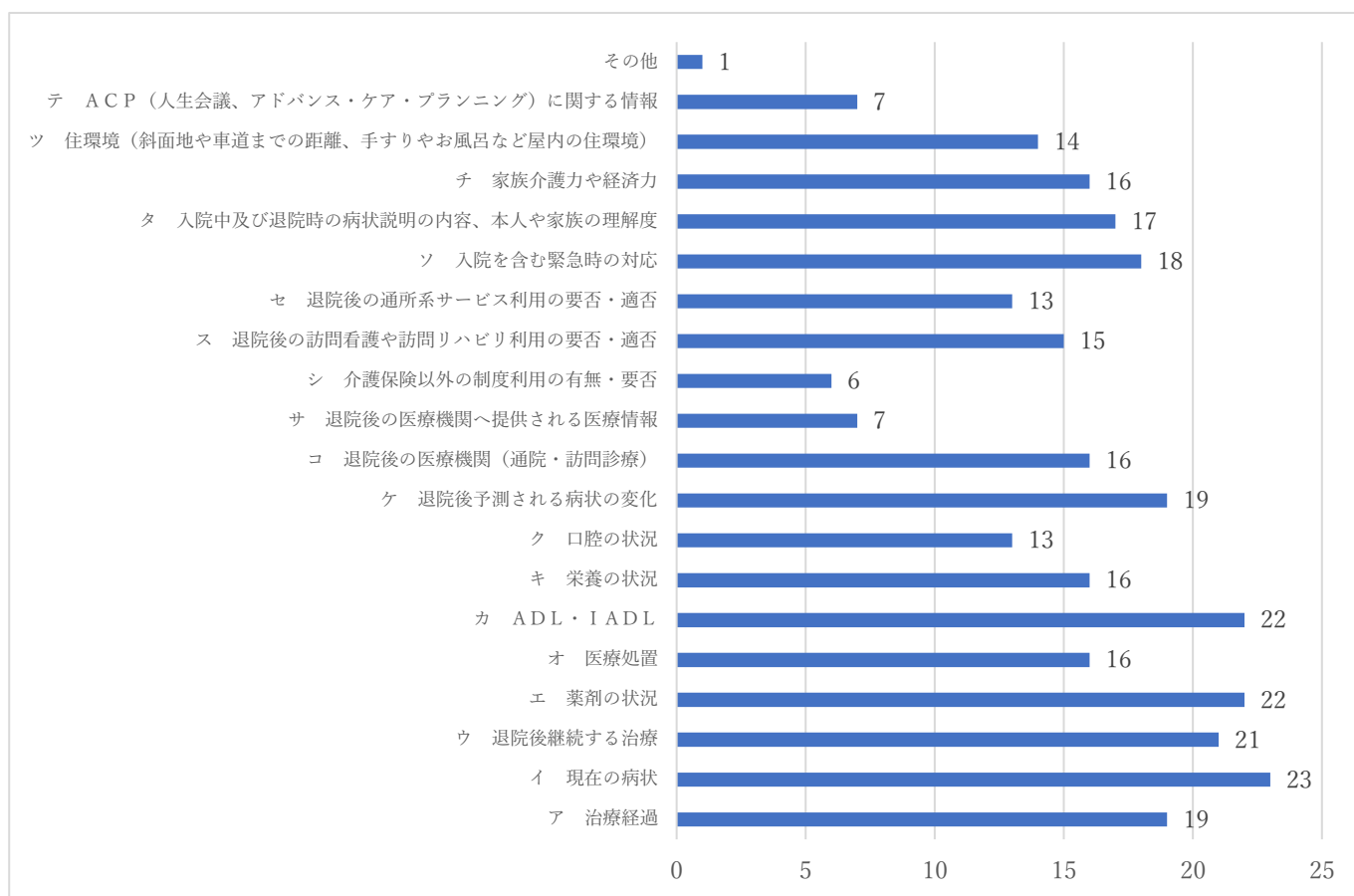
18- (3) 18- (1) で「①ほとんどの利用者・患者の情報を取得している」、「②必要と判断した利用者・患者の情報を取得している」と答えた方、情報はいつ取得していますか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。



19 利用者・患者が入院した場合、病院に退院前カンファレンス・サービス担当者会議の開催を依頼していますか。

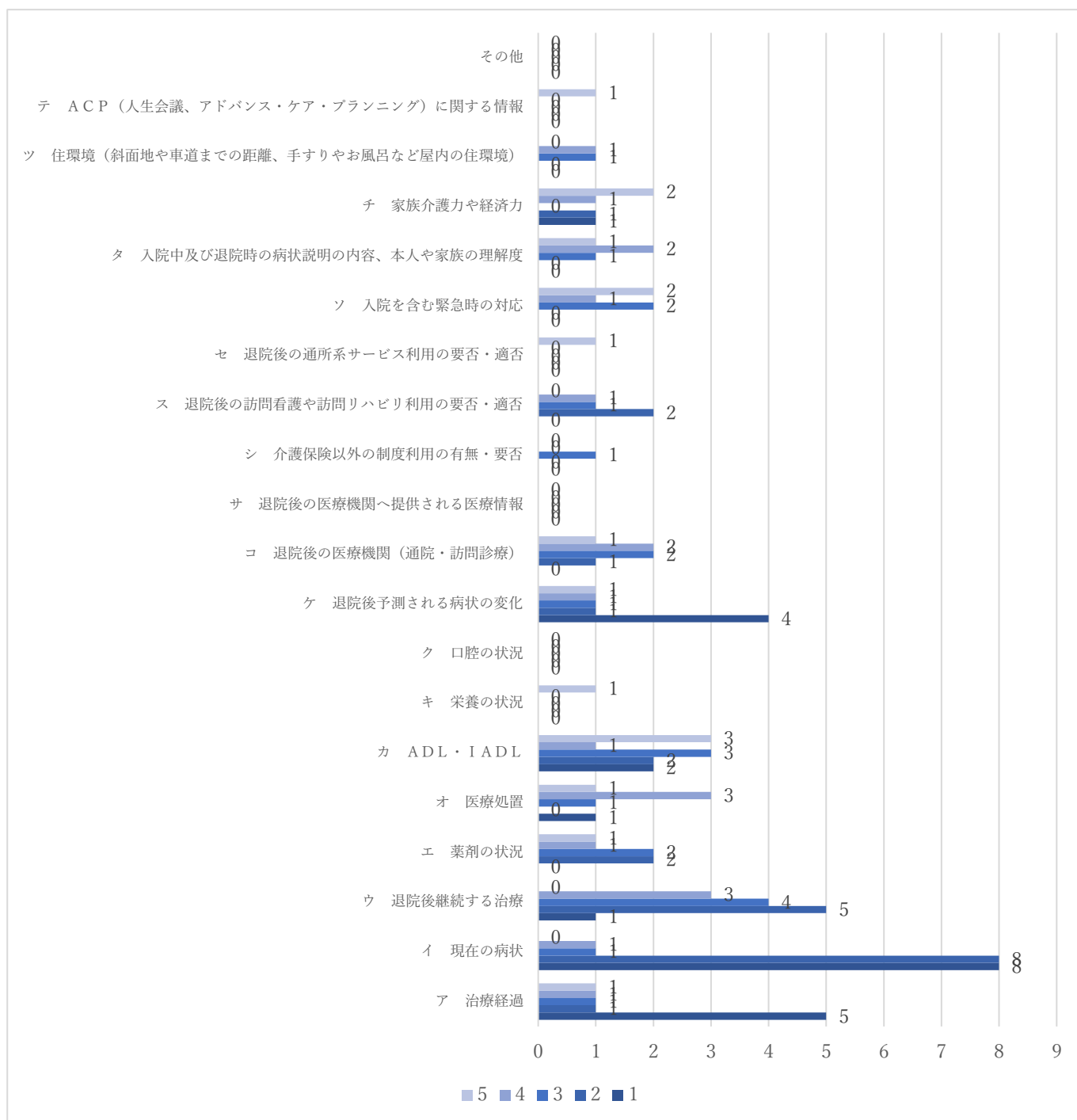


20- (1) 退院時にはどのような情報が必要ですか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。





20- (2) また、その中でも優先度が高い情報の記号を 5 つまで順位をつけて回答してください。



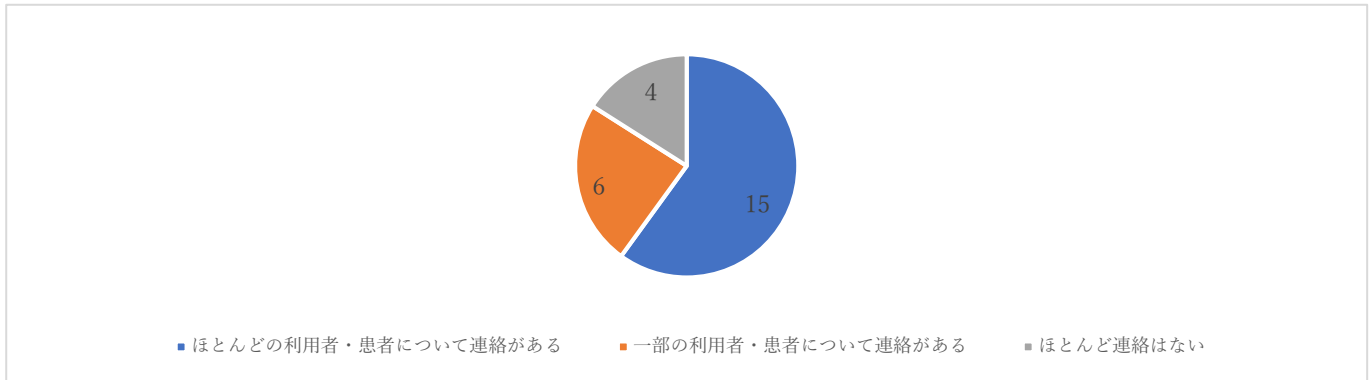
理由 (自由記載)

- 入院中の治療がわかり、在宅での生活に繋がる、②通所サービスを利用した時など症状を把握する必要あり、③退院後、主治医変更や訪問診療が開始になる場合もあるため、④⑤主治医からの指示がわかる
- 病状によって今後を考える必要があるため、②③誰かの支援が必要か判断、④誰かの支援が必要か判断・そのための協力者の有無
- 在宅で支援するにあたって先を見据えるのに必要であるため、②支援に繋げやすい、③どこまでこちらから話して良いかわからないため
- 支援する上で今後予測されることは知っておきたい
- 特に新規の利用者においては情報が必要
- 新規の人は何も情報がないので細かい情報が必要
- ①②③④退院後、対応する中で不可欠である、⑤病院からの説明・情報を本人や家族が理解していないと退

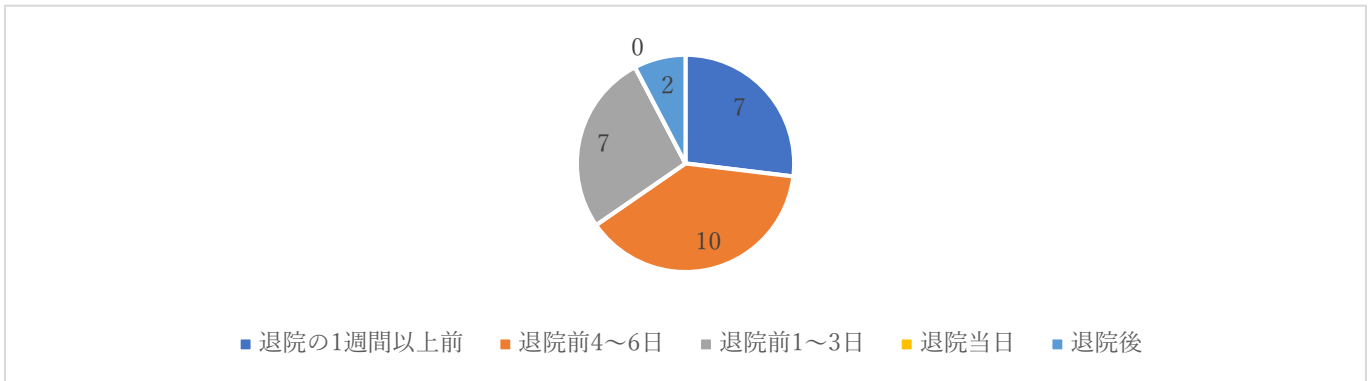
院後の介護サービスに影響が大きい

- ①②③必ず必要

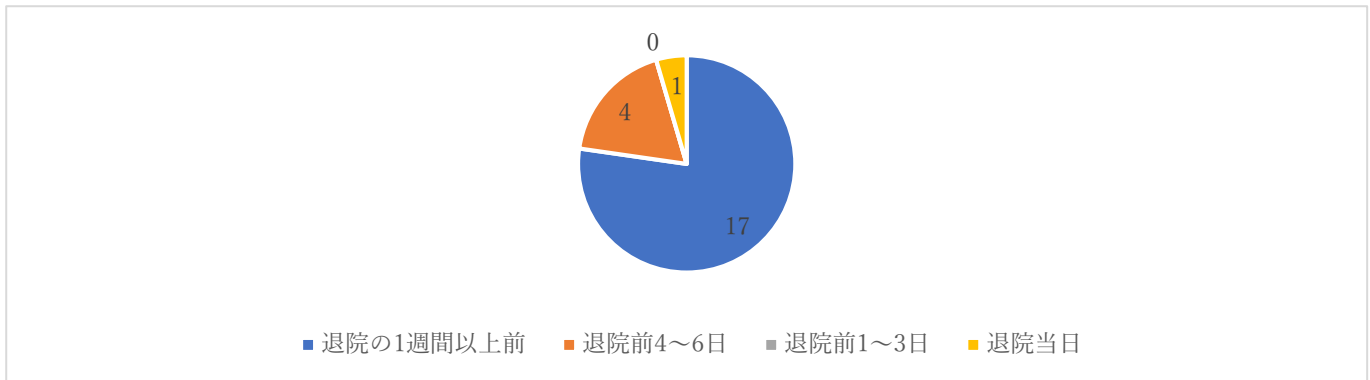
21 利用者・患者が退院する際、病院から連絡がありますか。



22 退院の連絡はどの時点であることが多いですか。



23 退院の連絡はいつあればよいですか。

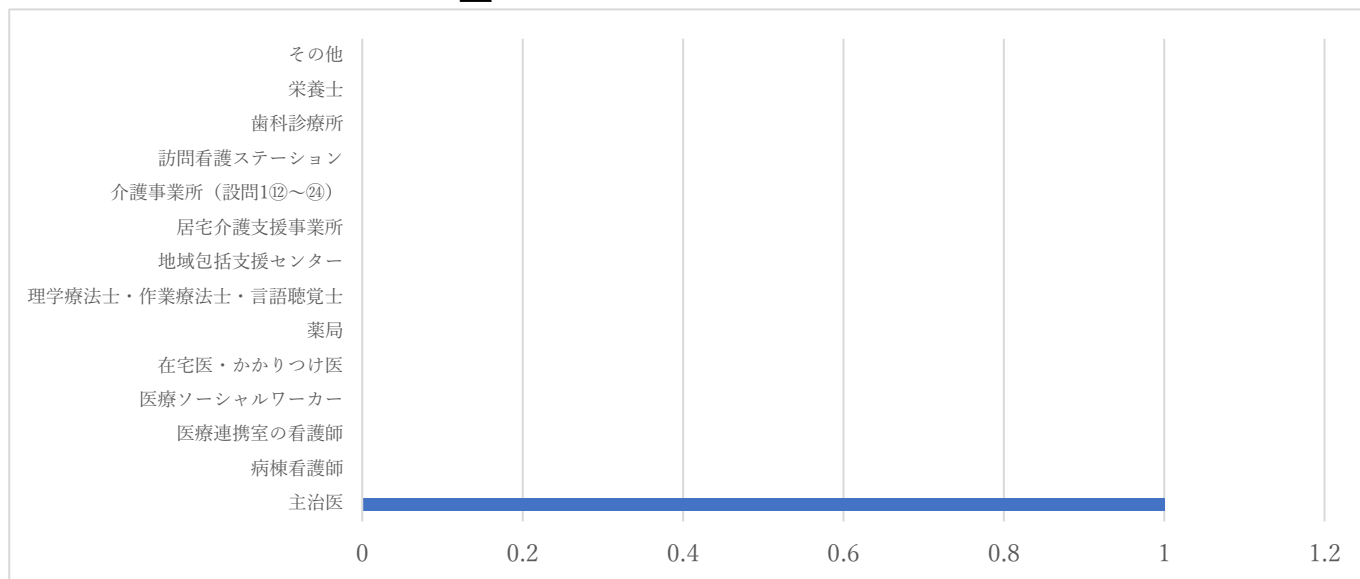


※病院にお伺いします。

24- (1) 患者が退院し、在宅療養に移行する場合、退院前カンファレンス（退院支援に関する診療報酬の加算の有無は問わない）を開催していますか。



24- (2) 24- (1) で「①ほとんどの患者に開催している」、「②必要と判断した場合に開催している」、「③事業所から要請された場合に開催している」と答えた方、退院前カンファレンスへの参加を呼びかける事業所・職種は何ですか。あてはまるもの全てにをつけてください。



<以下回答なし>

25- (1) 退院前カンファレンス開催における課題は何ですか。

25- (2) また、その中でも優先度が高い課題の記号を 3 つまで順位をつけて回答し、具体的な状況を記入してください。

26 必要に応じて患者の退院前や退院後に在宅医療や介護の事業所と一緒に訪問を実施していますか。

27- (1) 患者が入院する（した）際、かかりつけ医と連携していますか。

27- (2) 27- (1) で「①ほとんどの患者に対して連携している」、「②必要と判断した場合連携している」、「③入院に際し情報提供があった場合に連携している」と回答した方、どのような手段で連携していますか。あてはまるもの全てにをつけてください。

27- (3) 27- (1) で「①ほとんどの患者に対して連携している」、「②必要と判断した場合連携している」、「③入院に際し情報提供があった場合に連携している」と回答した方、かかりつけ医とはどの時点で連携していますか。

28- (1) 患者が入院する（した）際、患者の在宅療養に備え、訪問看護師、ケアマネジャーなど関係職種と連携していますか。

28- (2) 28- (1) で「①在宅サービスを利用するほとんどの患者に対して連携している」、「②必要と判断した場合に連携している」、「③入院に際し情報提供があった場合に連携している」と答えた方、どのような手段で連携していますか。あてはまるもの全てにをつけてください。

28- (3) 28- (1) で「①在宅サービスを利用するほとんどの患者に対して連携している」、「②必要と判断した

場合に連携している」、「③入院に際し情報提供があった場合に連携している」と答えた方、訪問看護師、ケアマネジャーなど関係職種とはどの時点で連携していますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

29 患者が退院し、在宅療養に移行する場合、どのような情報を提供していますか。あてはまるもの全てにをつけてください。

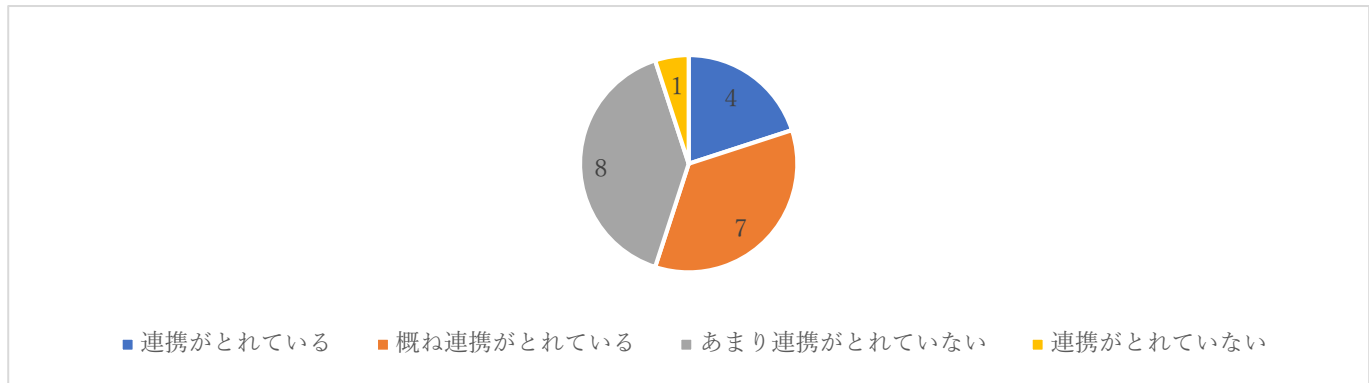
30 入院前の患者情報（介護や日常生活に関する情報）を担当ケアマネジャーから取得していますか。

31 入退院支援において在宅医療と介護の連携はとれていると感じますか。

32 入退院支援を行うにあたっての在宅医療と介護の連携における課題とその解決策や提案事項を具体的に記入してください。

【急変時の対応に関する調査票】

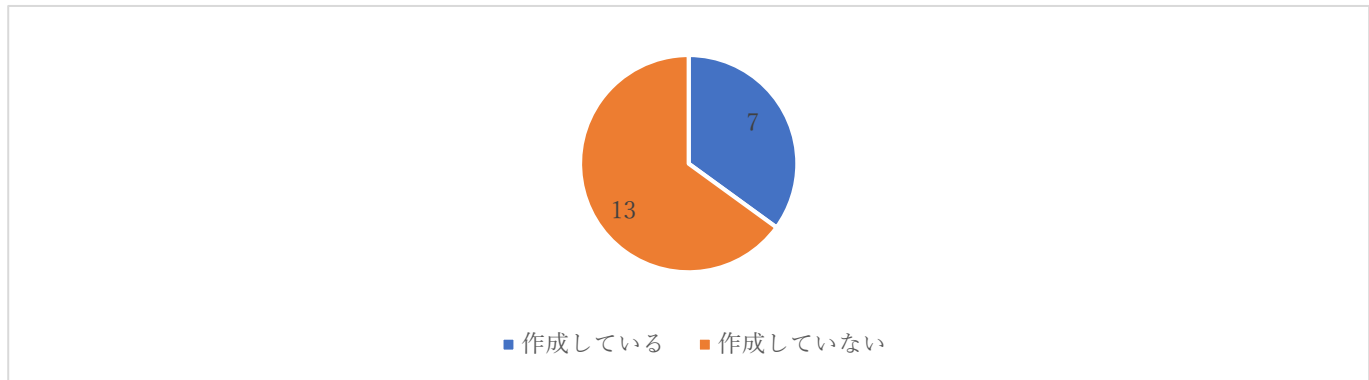
33- (1) 利用者・患者の急変時の対応についてかかりつけ医と連携がとれていますか。



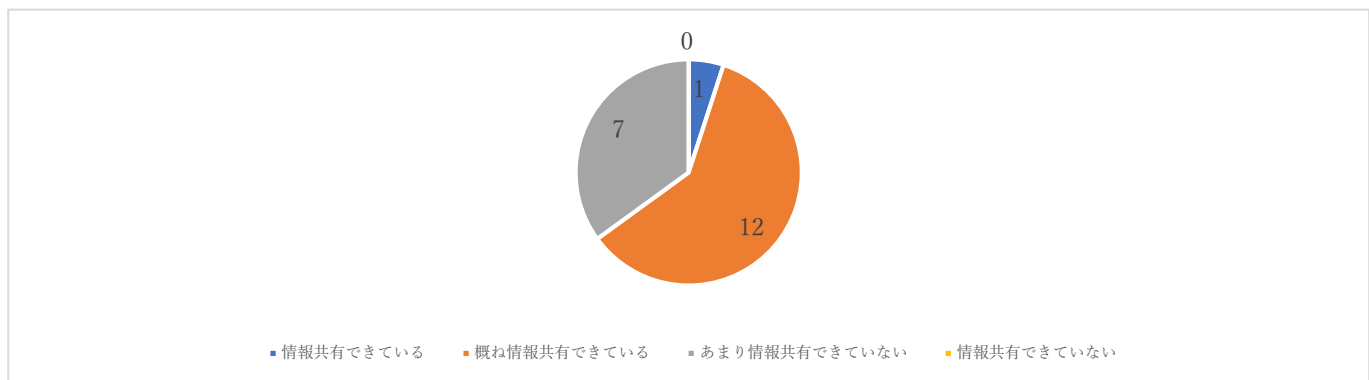
33- (2) また、その理由や具体的な状況を記入してください。(自由記載)

- Dr.が診察中は TEL 連絡が困難
- 急変の可能性の高い方については前もって確認している
- 電話、訪問、FAX
- 嘱託医と密に連絡とれている
- 全ての利用者とは言えないが重度化しやすい疾患の担当者の主治医とは連携可能である
- 顔の見える関係づくりができており、情報交換を行っている
- 介入当初からは連携していないというか話を聞くことができていない確認不足
- いざという時はかかりつけがあるということに安心していた。必要な方の場合は事前に連携をとっている
- 急変時は緊急搬送する事が多いため
- 急変時にはすぐに電話し、対応の指示をもらうことが可能

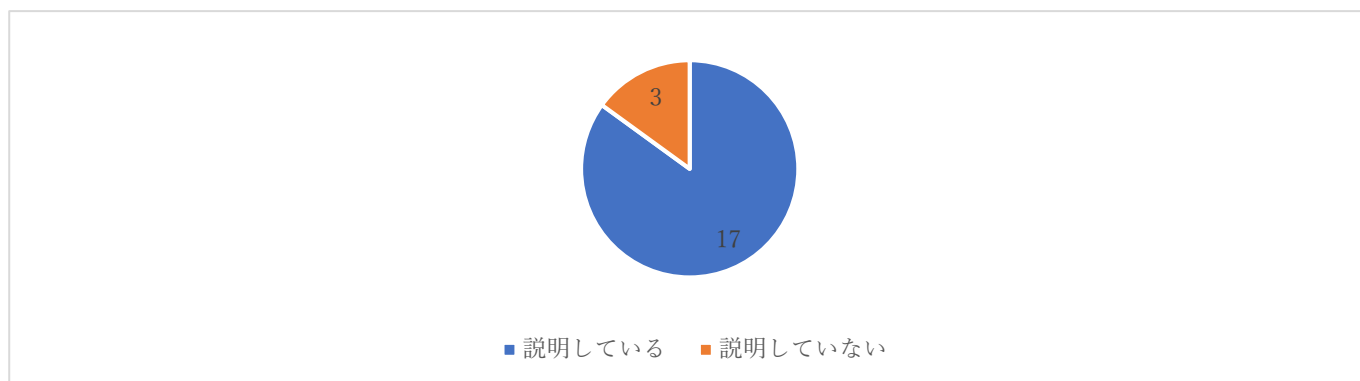
34 利用者・患者の急変時の対応についてマニュアルを作成していますか。



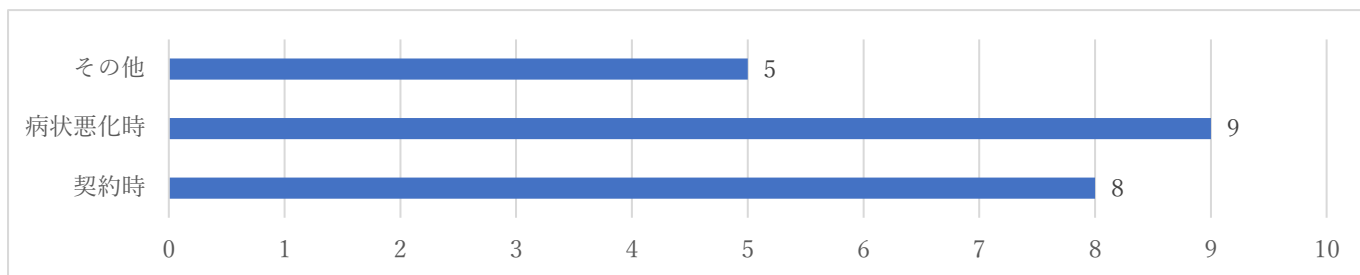
35 利用者・患者の急変時の対応についてサービス担当者会議などで話し合い、多職種間で情報を共有できていますか。



36- (1) 利用者・患者の急変時の対応について、利用者・患者や家族へ説明していますか。



36- (2) 36- (1) で「①説明している」と答えた方、利用者・患者や家族にいつ説明していますか。



その他

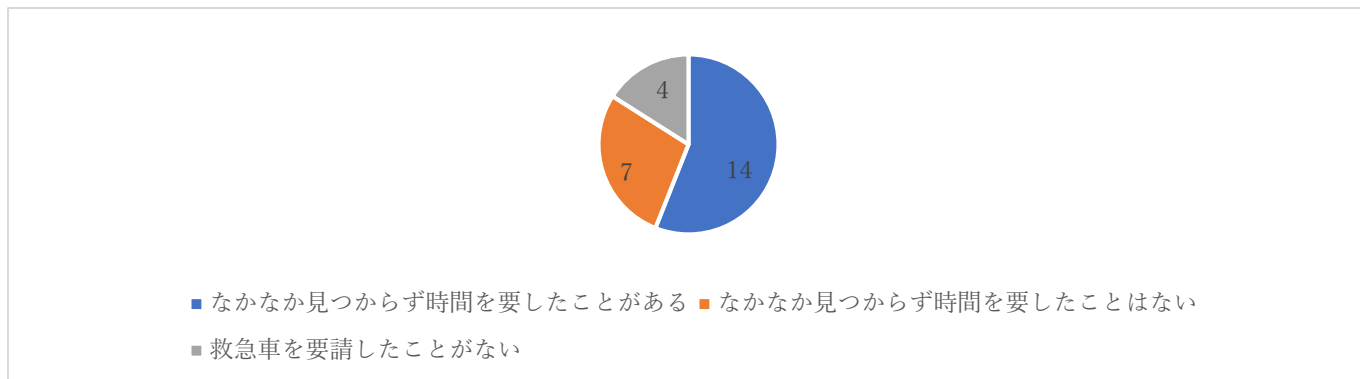
- 担当者会議毎
- 担当者会議など
- 状態によって判断している
- 担当者会議時
- 担当者会議の際や状態に応じ相談しながら説明

36- (3) 36- (1) で「②説明していない」と答えた方、理由は何ですか。(自由記載)

- 独居で必要と考えている方にしか行えていない
- 医療機関と本人でしてもらいたい

※病院以外にお伺いします。

37- (1) 利用者・患者の急変時に救急車を要請した際に、受け入れてくれる病院がなかなか見つからず時間を要したことがありますか。

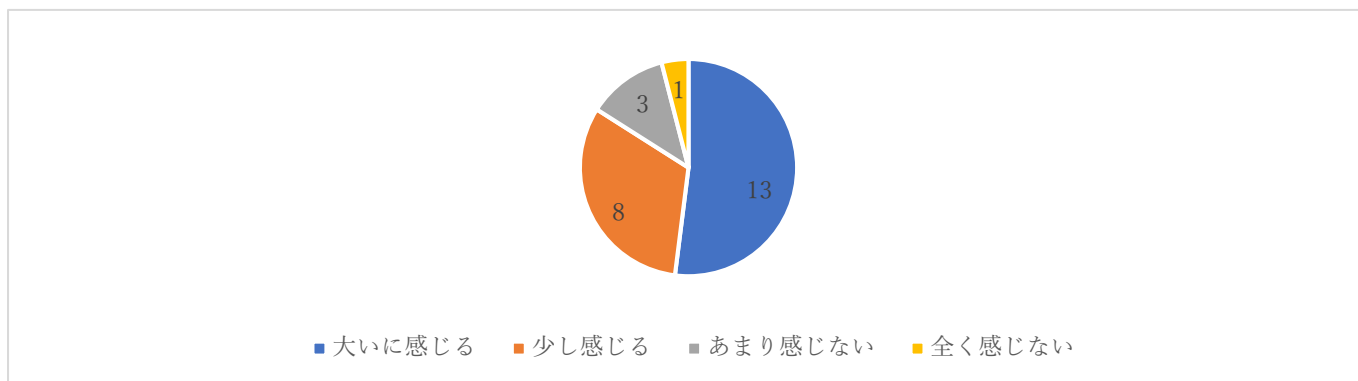


37- (2) 37- (1) で「①なかなか見つからず時間を要したことがある」と答えた方、受け入れ病院が見つかりにくかった状況について具体的にご記入ください。

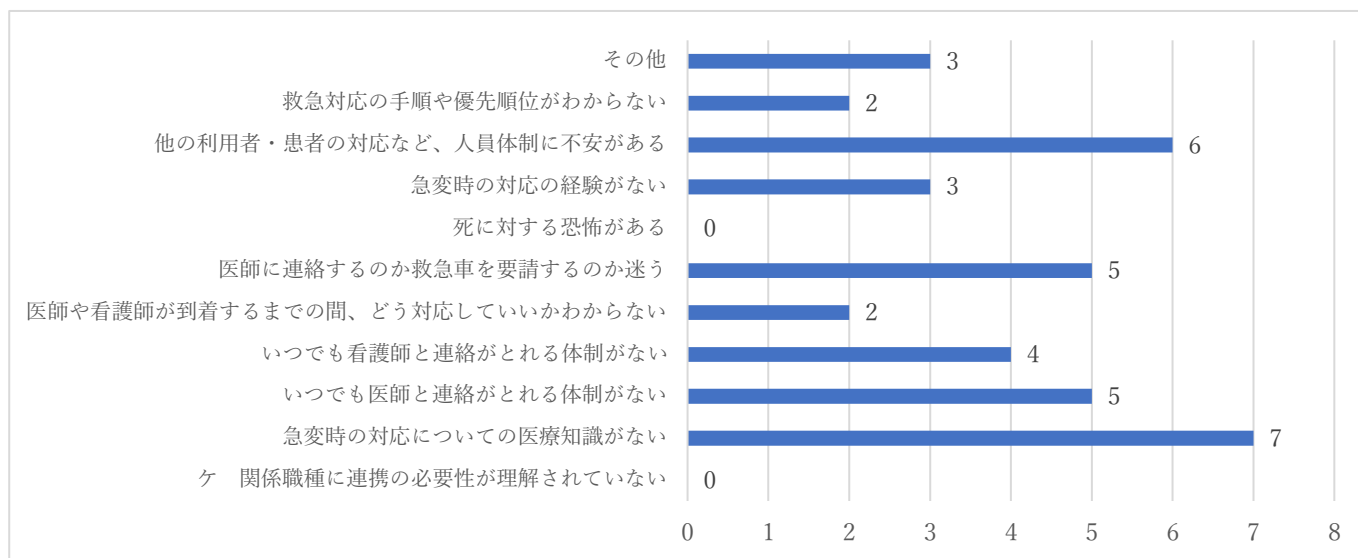
- 発熱あり救急搬送で1ヶ所のみ受け入れられたが入院できず、帰宅して老夫婦2人で生活が大変だった
- 病院が拒否したから

- 病院より、満床で受け入れができなかったと聞いている
- 救急車が来るまでに利用者の意識が少しずつ戻ってきて、救急隊員の反応にも答える様になってきた時に。受け入れ先が見つからず、ずっと玄関先にて待機状況あり。
- 発熱などからコロナの影響が大きい
- コロナ
- 精神の方の受け入れができなかった
- コロナ渦であったため
- コロナ渦で利用者が熱があったため
- コロナ患者で満床ですと数ヶ所の病院から言われた

38- (1) 急変時の対応に不安を感じますか。



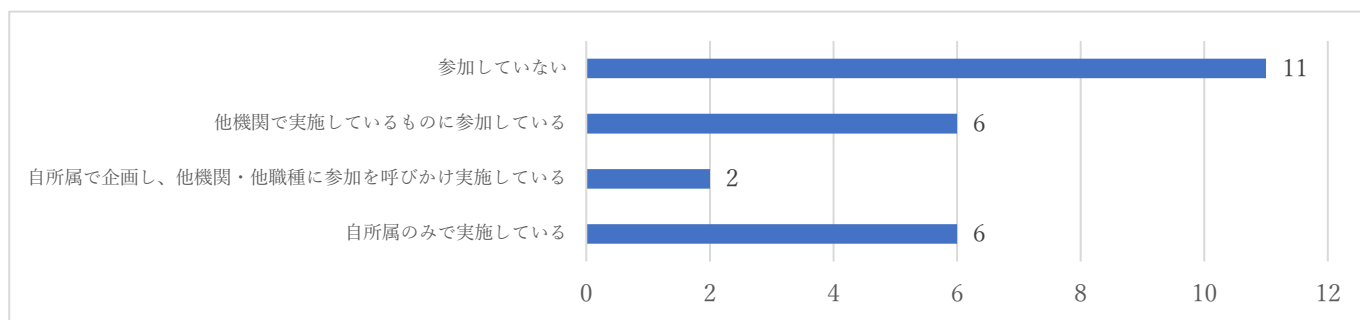
38- (2) 38- (1) で「①大いに感じる」、「②少し感じる」と答えた方、その理由は何ですか。あてはまるもの全てにをつけてください。



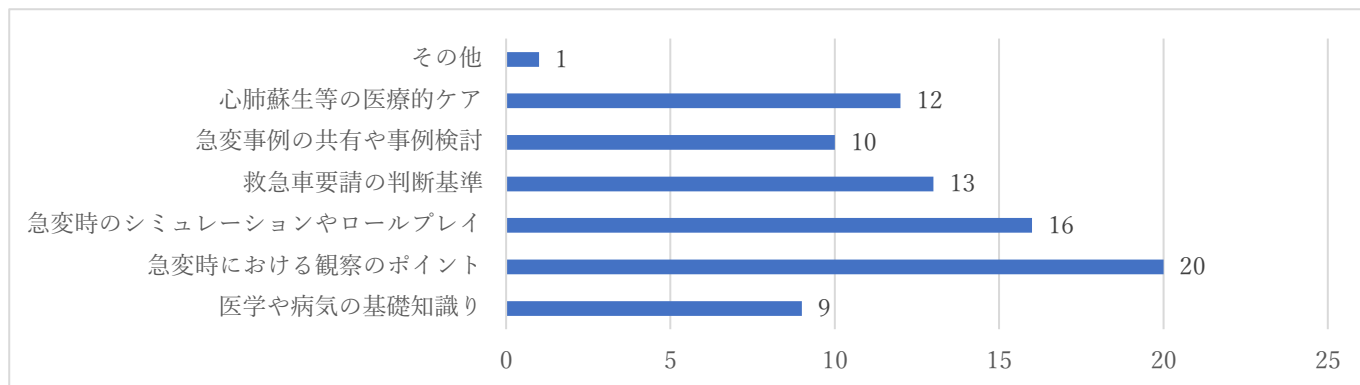
その他

- かかりつけ医が対応できない状況で、緊急性があると思われる時に(特に夜間)救急車を依頼するようにお話しするが、病院が受け入れてくれない。ご家族が自分達で医師会に連れて行くと、担当の医師ではないので翌日他外来への受診を勧められるためどうすればいいかわからないときがある。
- 急変時の対応の経験が少ない
- 受け入れてくれる病院が見つかるかどうか

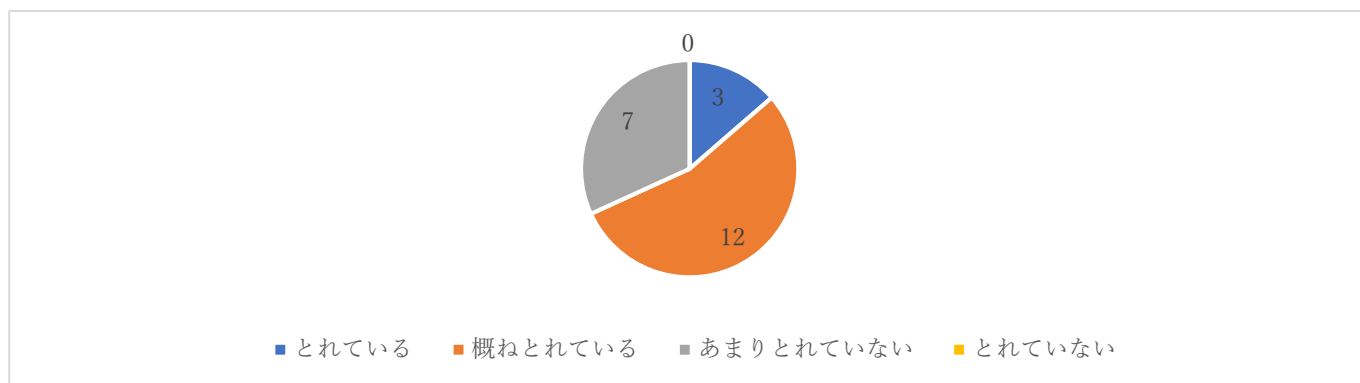
39 急変時の対応に関する研修を実施・参加していますか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。



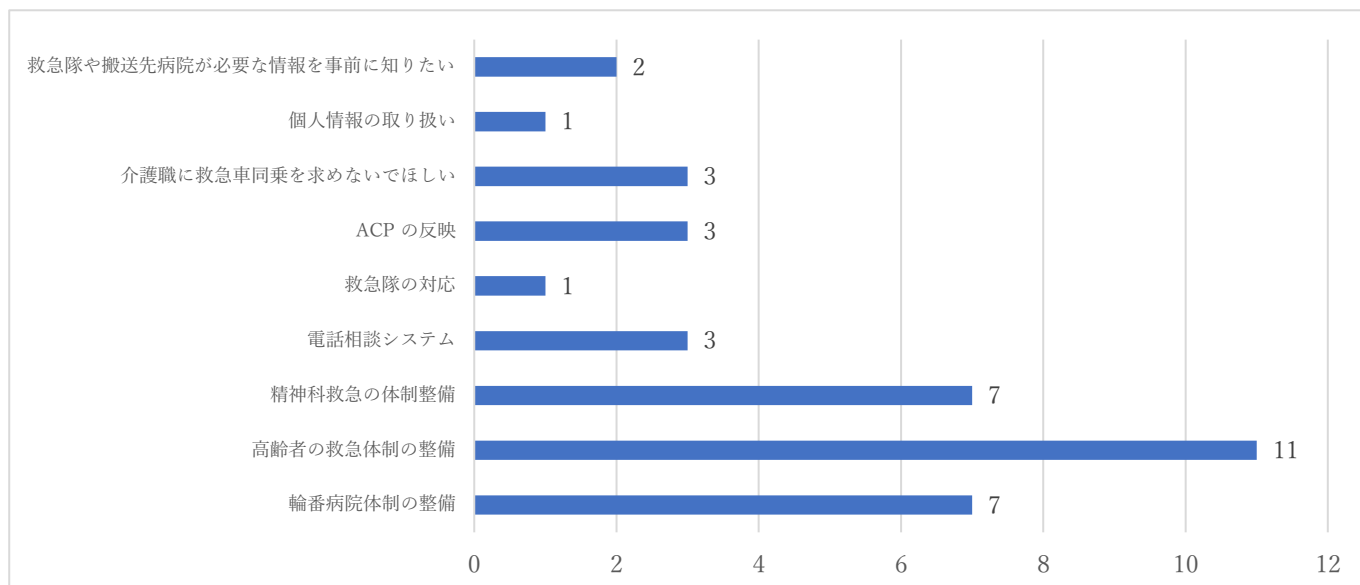
40 急変時の対応に関する職員への教育にはどのような内容が必要だと思いますか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。



41 急変時の対応において在宅医療と介護の連携はとれていると感じますか。

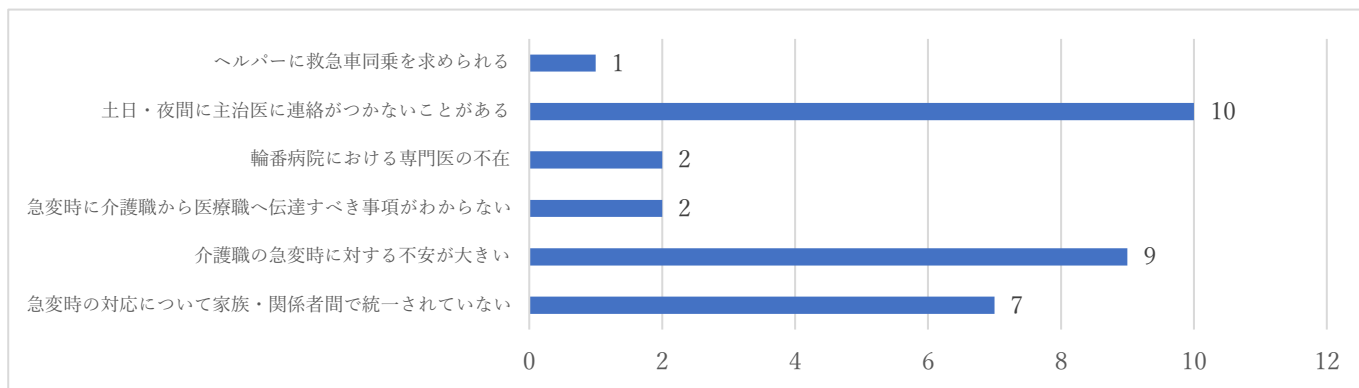


42 現状の救急医療体制で改善してほしいことがあればお書きください。



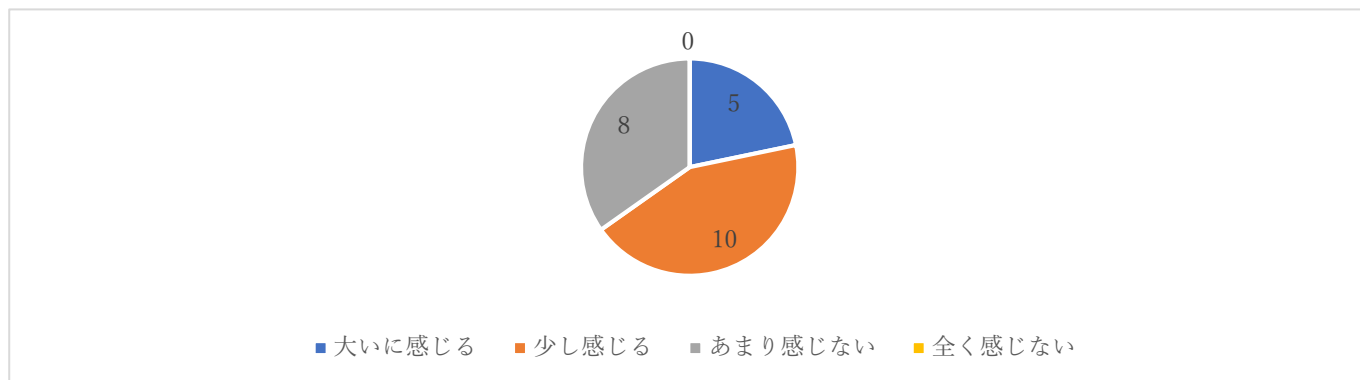


43 急変時の対応を行うにあたっての在宅医療と介護の連携における課題とその解決策や提案事項を具体的に記入してください。

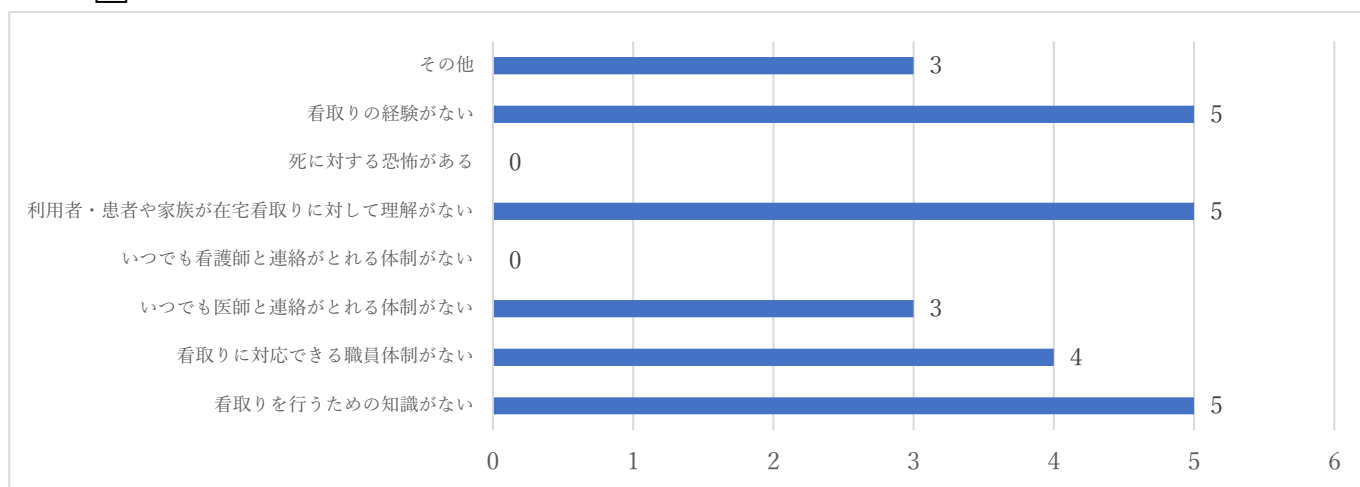


【看取りに関する調査票】

44- (1) 在宅で看取りにかかわることに不安や負担を感じますか。



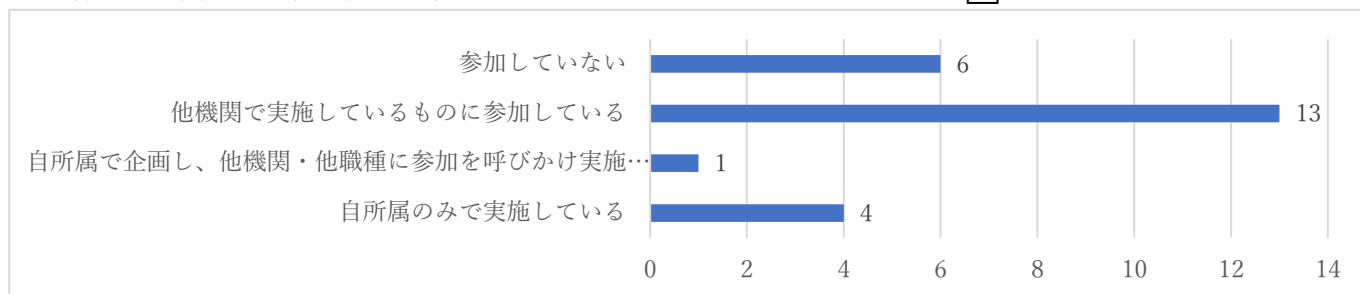
44- (2) 44- (1) で「①大いに感じる」、「②少し感じる」と答えた方、その理由は何ですか。あてはまるもの全てにをつけてください。



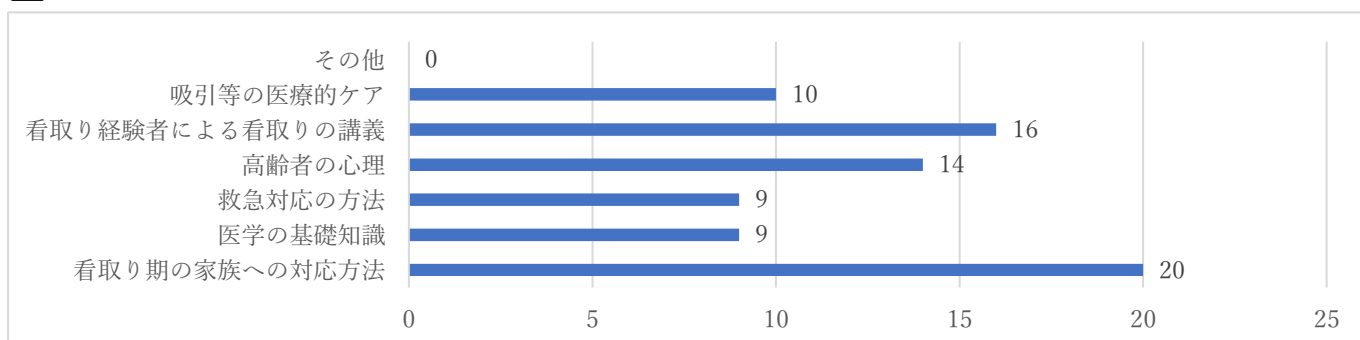
その他

- そのときにイレギュラーなことがあったりするので不安。在宅看取りの予定だったが、救急車を呼ぶなど。
- 医療保険、介護保険のサービス以外の支えがない
- 看取りを行っている家族にケアマネとしてどんなことがどれだけ支援できるか不安に思うことがある

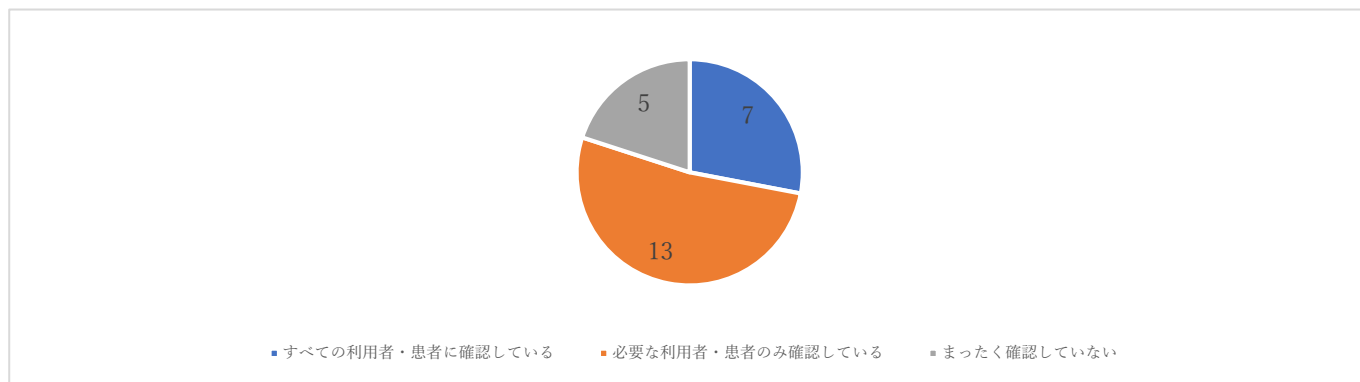
45 看取りに関する研修を実施・参加していますか。あてはまるもの全てにをつけてください。



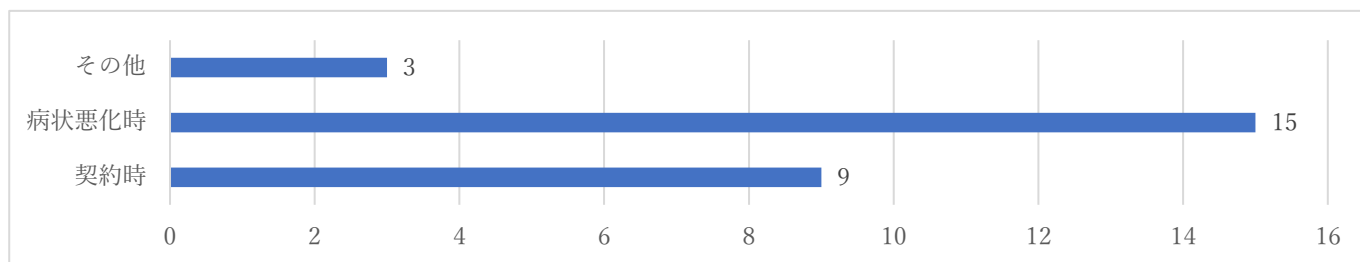
46 在宅での看取りに関する職員への教育にはどのような内容が必要だと思いますか。あてはまるもの全てにをつけてください。



47- (1) 貴事業所では、利用者・患者に看取りに関する希望を確認していますか。



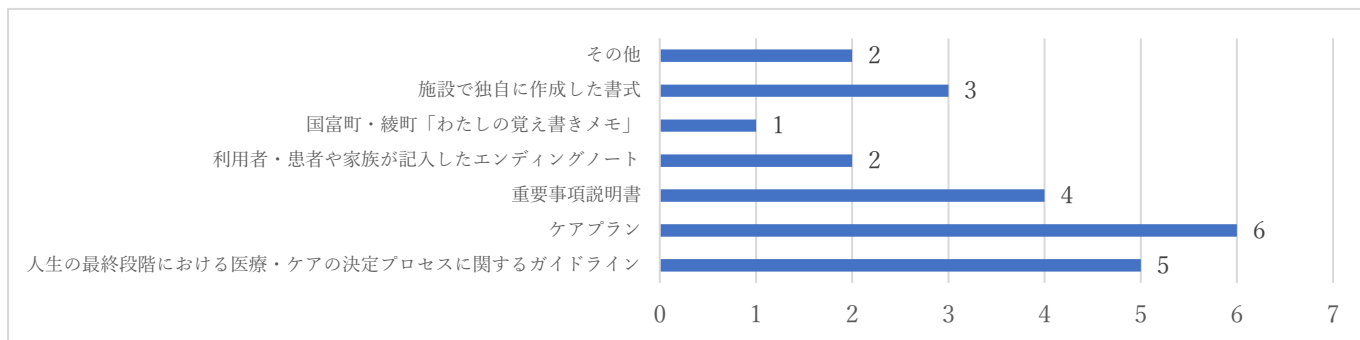
47- (2) 47- (1) で「①すべての利用者・患者に確認している」、「②必要な利用者・患者のみ確認している」と答えた方、いつ確認していますか。あてはまるもの全てにをつけてください。



その他（自由記載）

- 担当者会議毎
- カンファレンス時
- 日常治療の中で徐々に

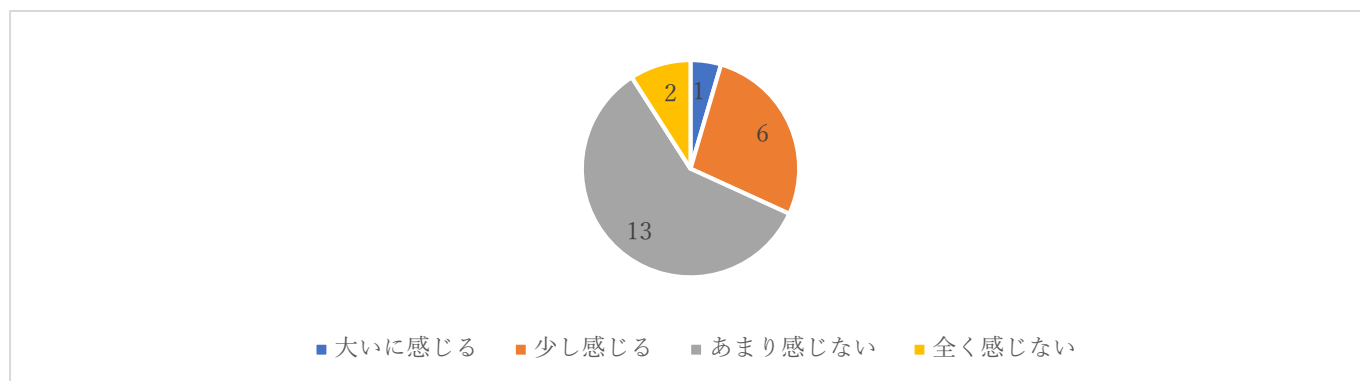
48 47- (1) で「①すべての利用者・患者の家族に確認している」、「②必要な利用者・患者のみ確認している」と答えた方、看取りに関する希望を聞く際に活用しているものは何ですか。あてはまるもの全てにをつけてください。



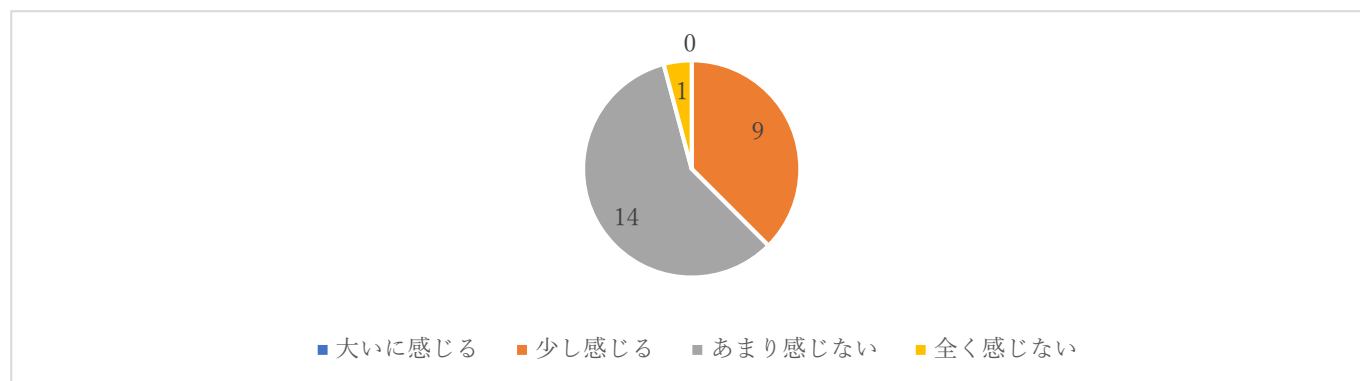
その他（自由記載）

- インターネット等によるパンフレット
- 特になし

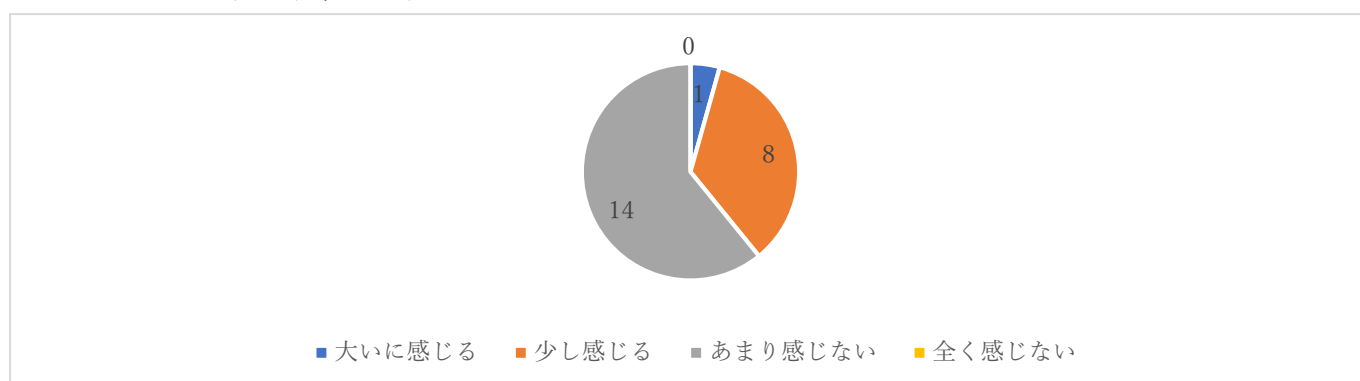
49 町民のACPに対する考え方が広まっていると感じますか。



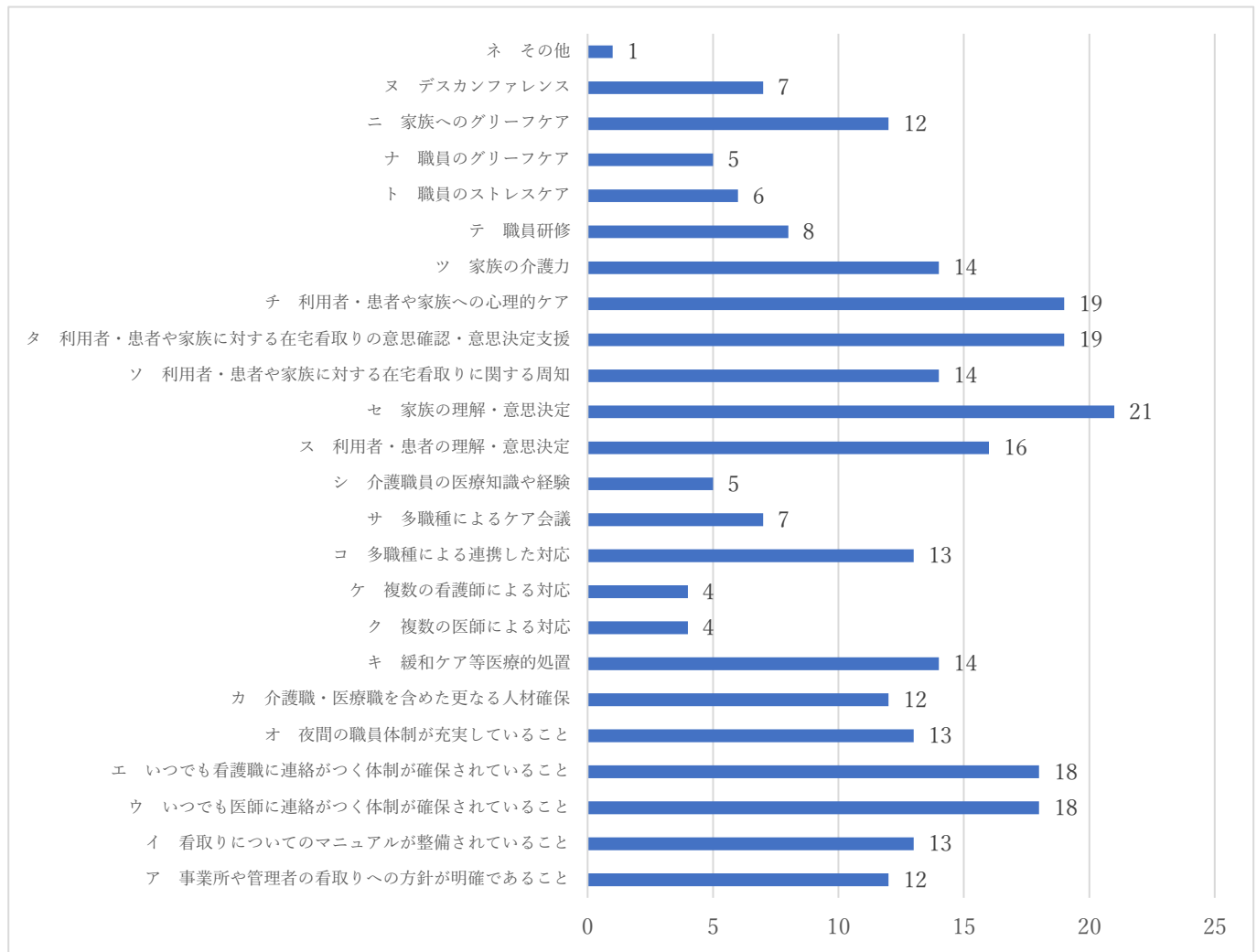
50 医療・介護従事者のACPに対する考え方が広まっていると感じますか。



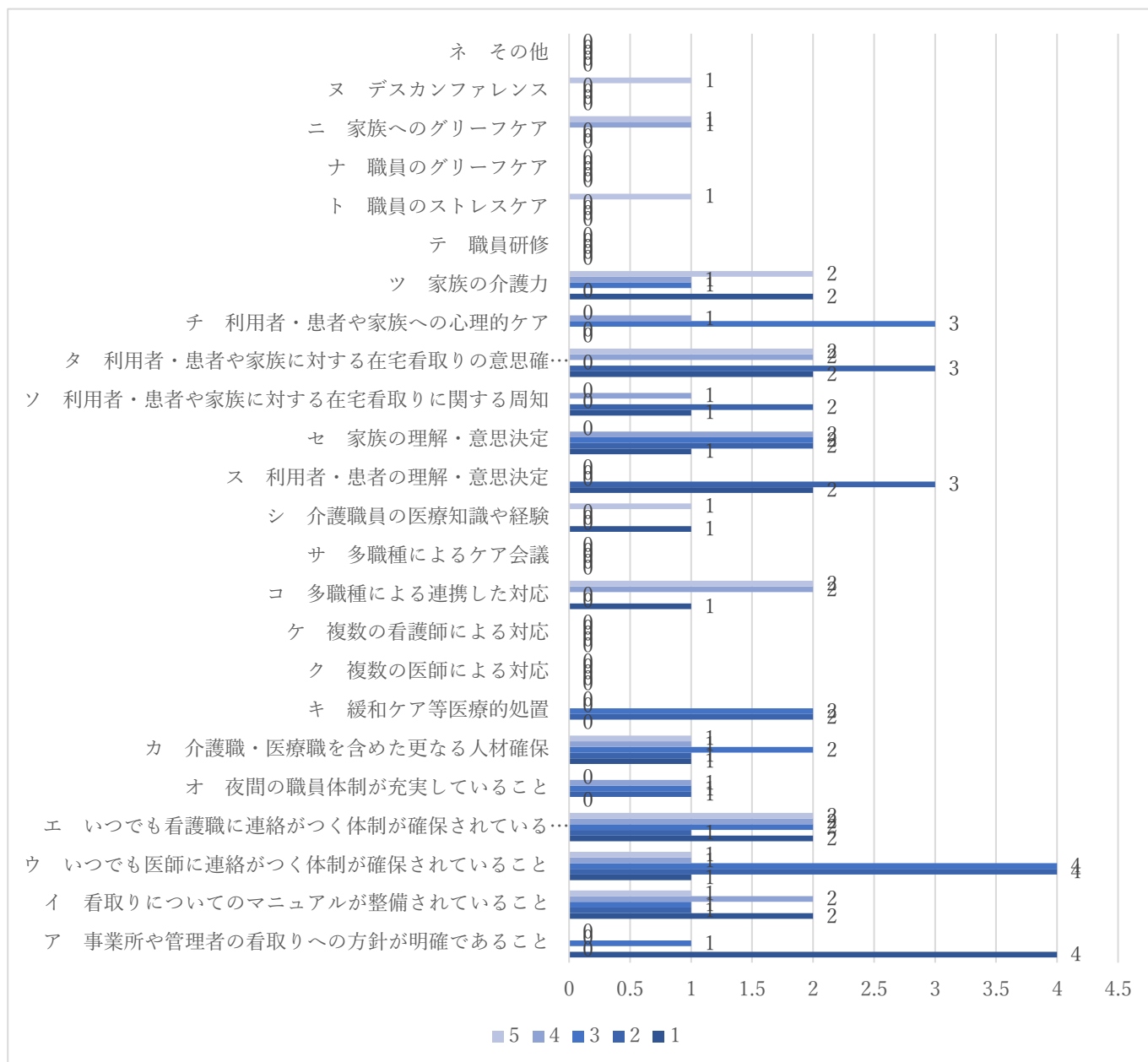
51 ACPに取り組む事業所が増えていると感じますか。



52- (1) 在宅で看取りを実施するうえで重要なことは何だと思えますか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。

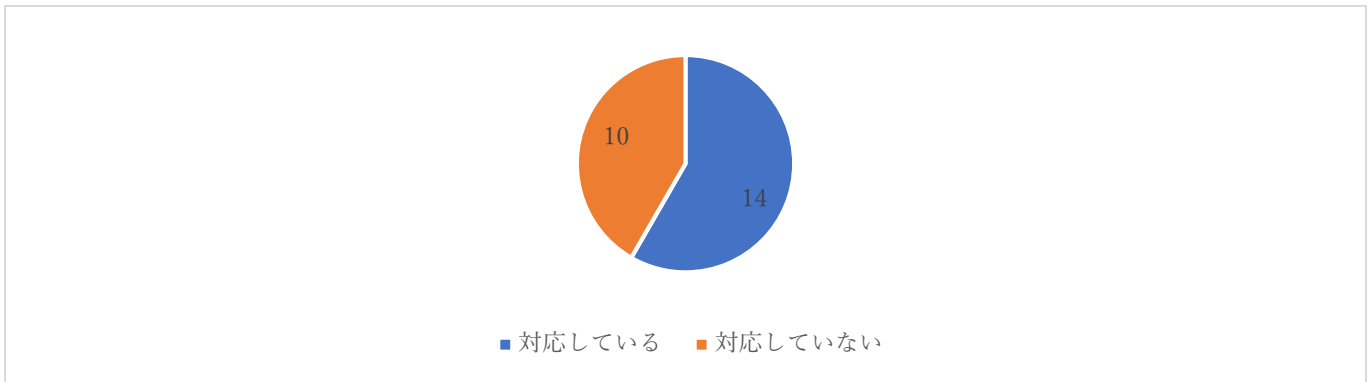


52- (2) また、その中でも優先度が高い課題を 5 つまで順位をつけて回答してください。



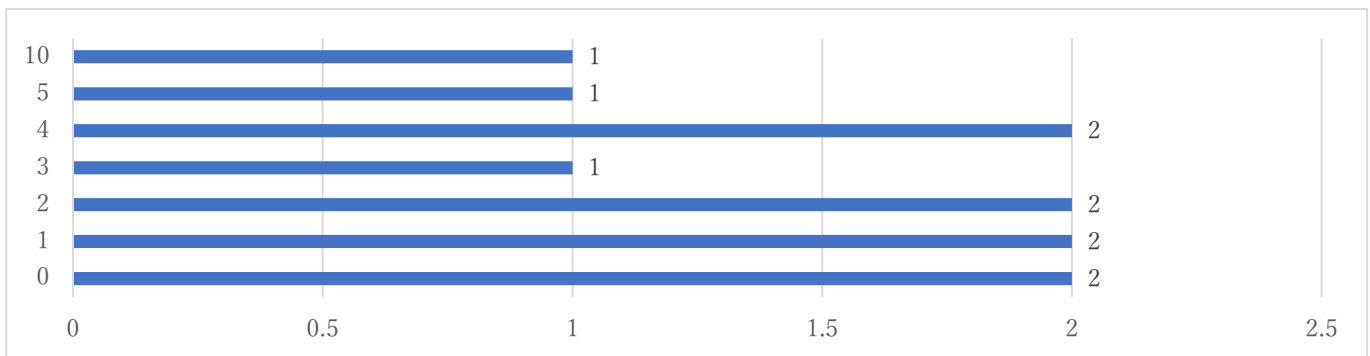
- ①家族の受け入れがないと在宅での看取りはできない、③看護師に連絡がとれない状況だと医師にも連絡が難しい
- ①在宅での看取りにあたってサービス内容の説明は必須、②在宅での看取りはどのような事をするのか知らせる事は重要、④不安・怒り等に対して傾聴は必要
- ①方針が決まっていれば少しは実施しやすいかなと思います、②対応してくれる先生がいらっしゃれば安心です、④聞き出しにくいところなので・・・
- ①利用者家族に対する在宅看取り意思決定支援、②いつでも医師に連絡がつく体制確保、③介護職・医療職を含めた更なる人材確保、④多職種による連携した対応、⑤職員のストレスケア
- ①本人、家族の不安が強いため、②最後をどう迎えたいのか、③④不安の軽減、⑤チームで支えていく
- ①③看取り期は常時対応を上げる所が確保されていると介護スタッフも安心できる、②本人や家族の負担軽減において不可欠、④⑤"看取り"が初めての方が多いため、しっかり理解してもらい意思決定してもらおうと支援をしやすい
- ①②方針が明確でないと看取りはできない、③死亡診断は必ず必要、④延命を望む家族と望まない家族がいたのでは処置ができない

53 貴事業所は、在宅での看取りにチームの一員として対応していますか。

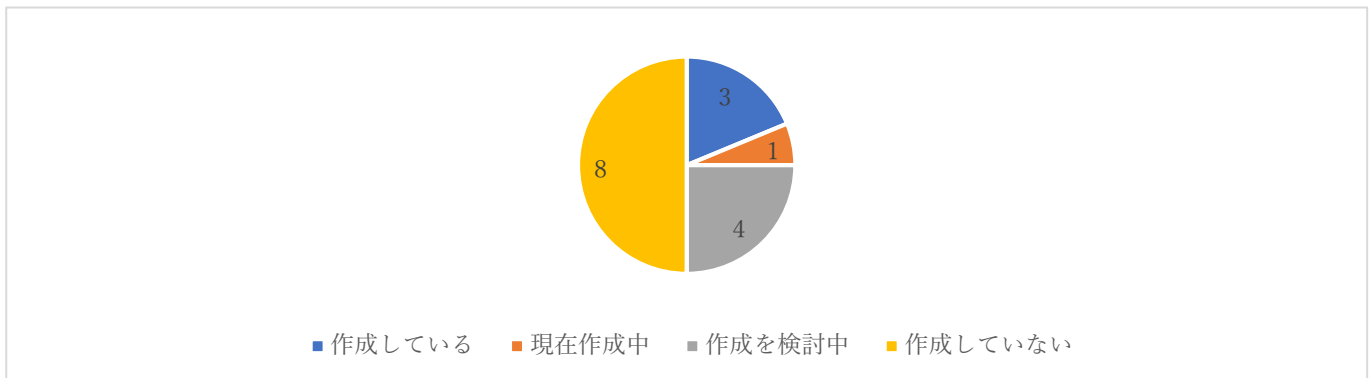


※53 で看取りに「①対応している」と回答した事業所にお伺いします。

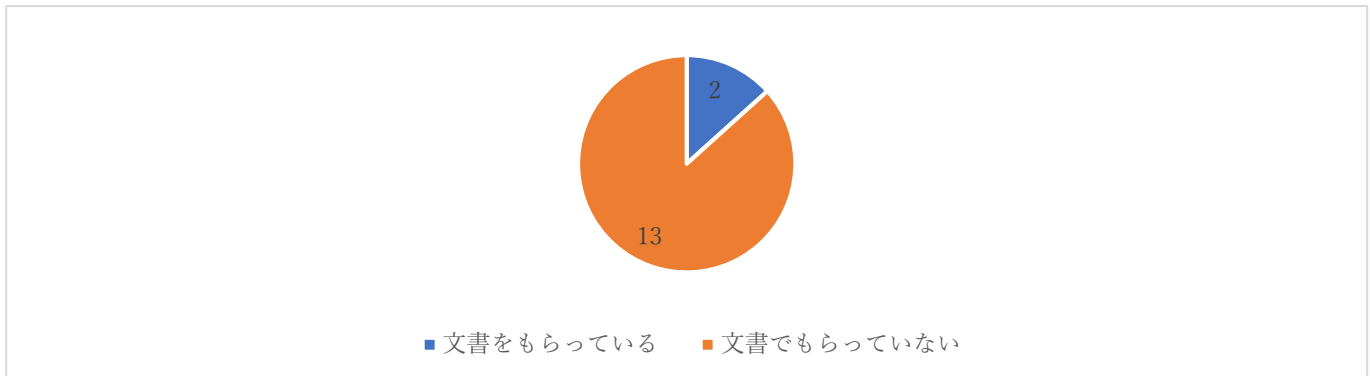
54 令和 4 年度に看取りに対応した件数は何件でしたか。( ) 件



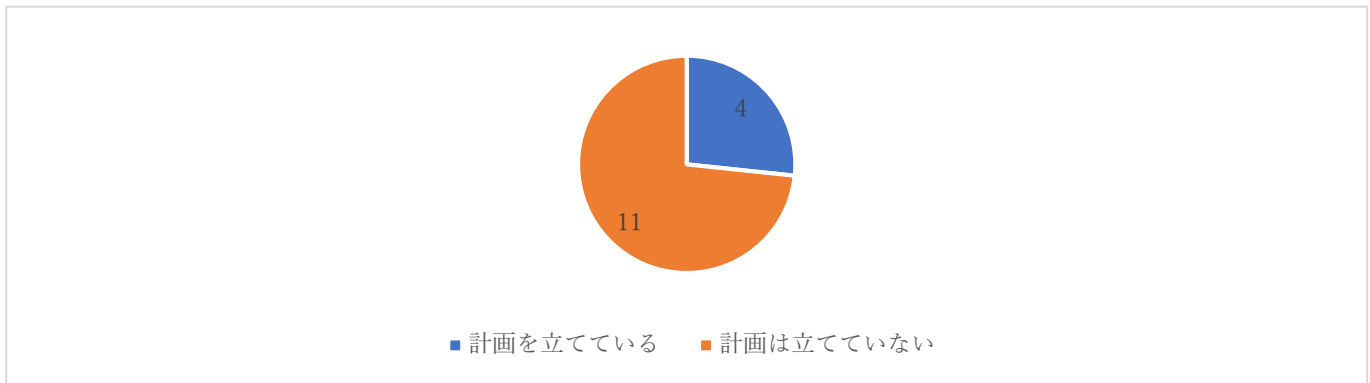
55 看取りに関する指針やマニュアルを作成していますか。



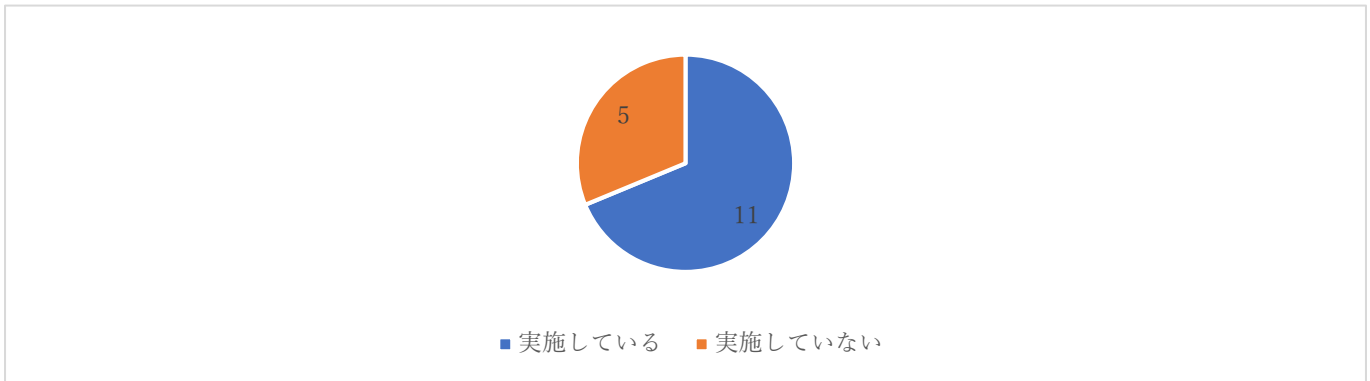
56 看取り希望者に文書による意思確認等を得ていますか。



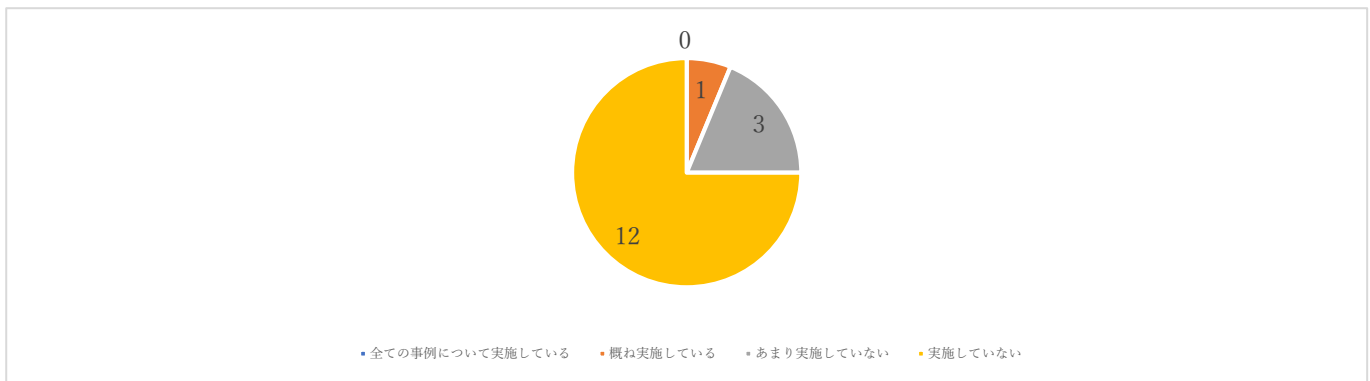
57 看取り期に入った利用者・患者に対し、看取り計画を立てていますか。



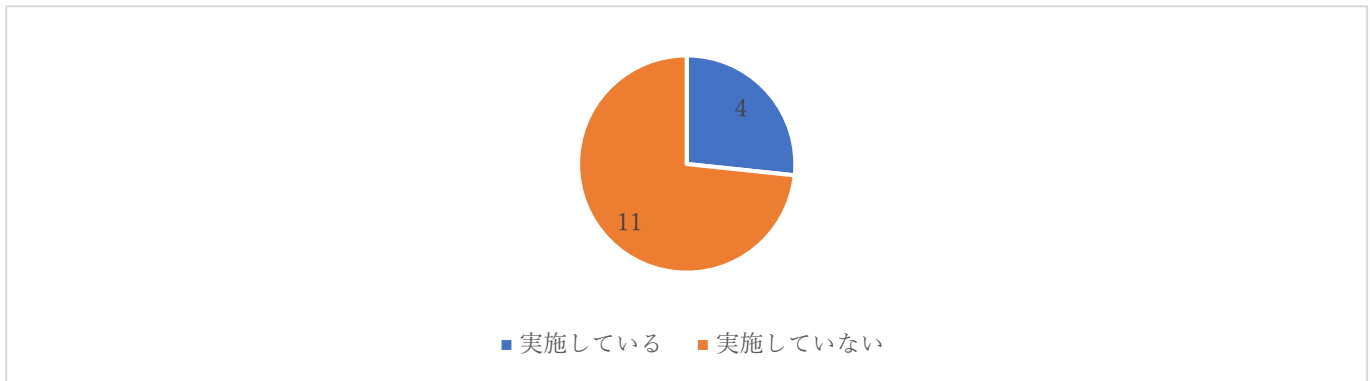
58 看取りに関するカンファレンスを実施していますか。



59 デスカンファレンスを実施していますか。

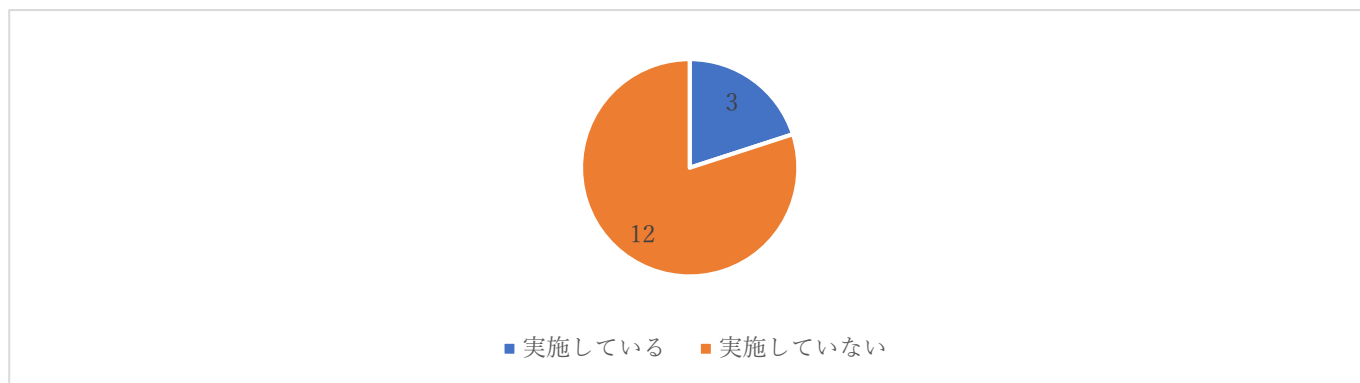


60 家族のグリーフケアを実施していますか。



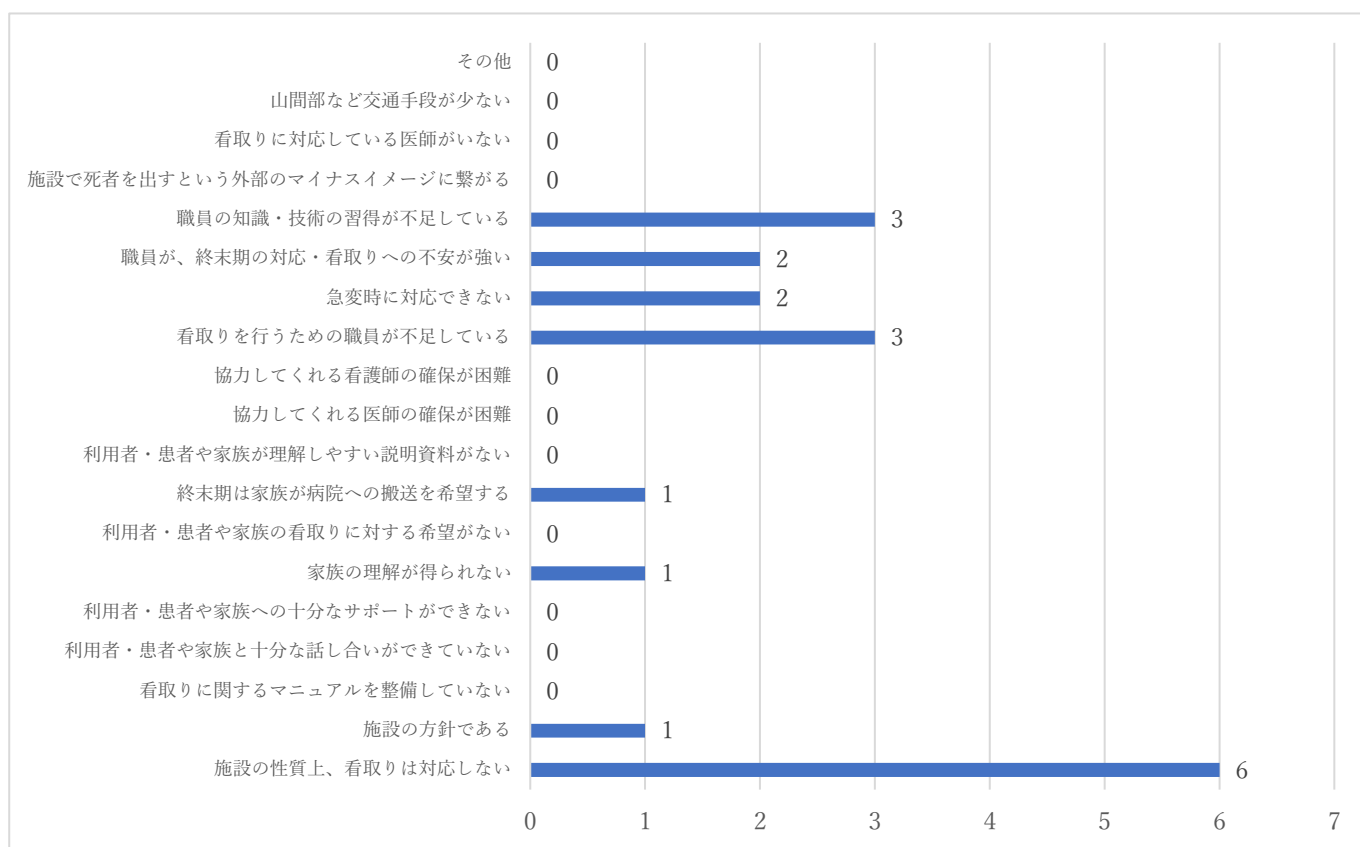


61 職員のグリーフケアを実施していますか。

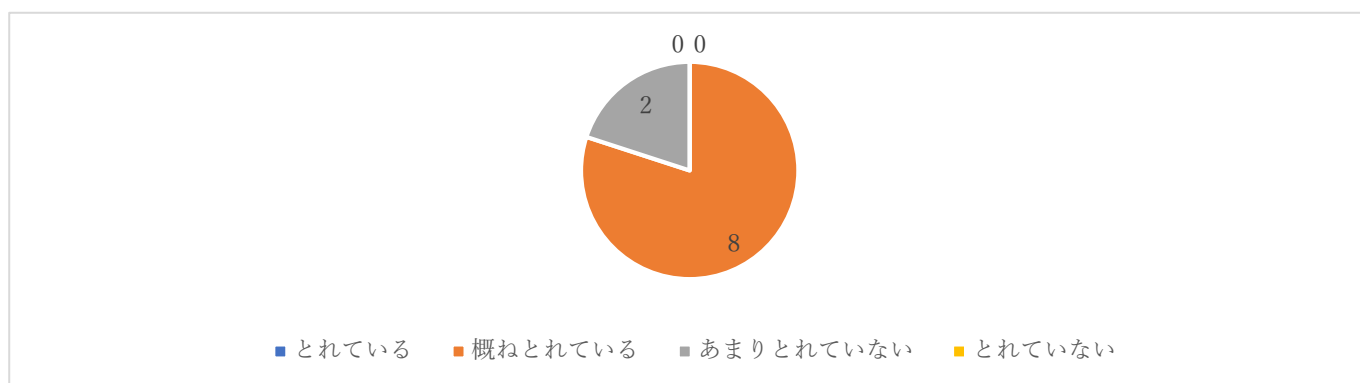


※53 で看取りに「②対応していない」と回答した事業所にお伺いします。

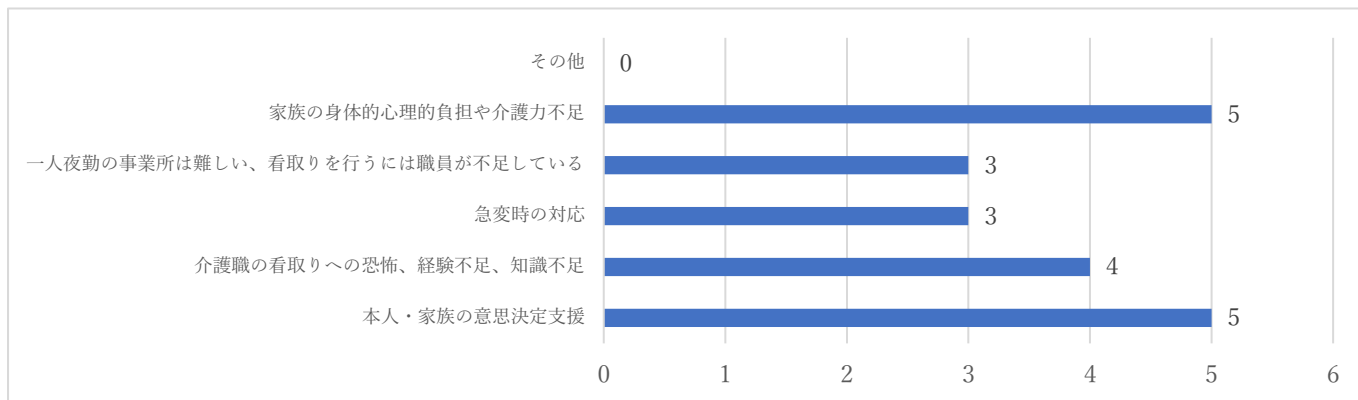
62 看取りに対応していない理由は何ですか。あてはまるもの全てに☑をつけてください。



63 看取りにおいて在宅医療と介護の連携はとれていると感じますか。

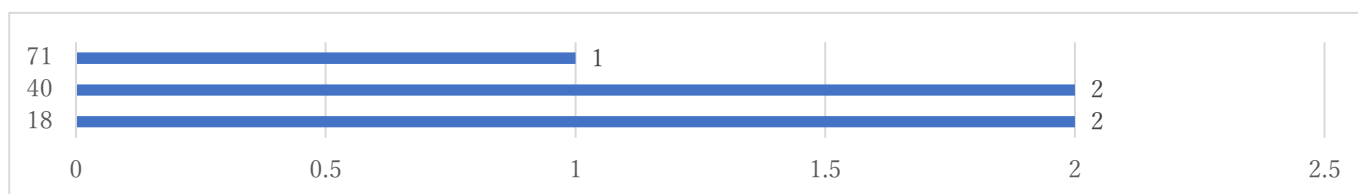


64 看取りを行うにあたっての医療と介護の連携における課題とその解決策や提案事項を具体的に記入してください。

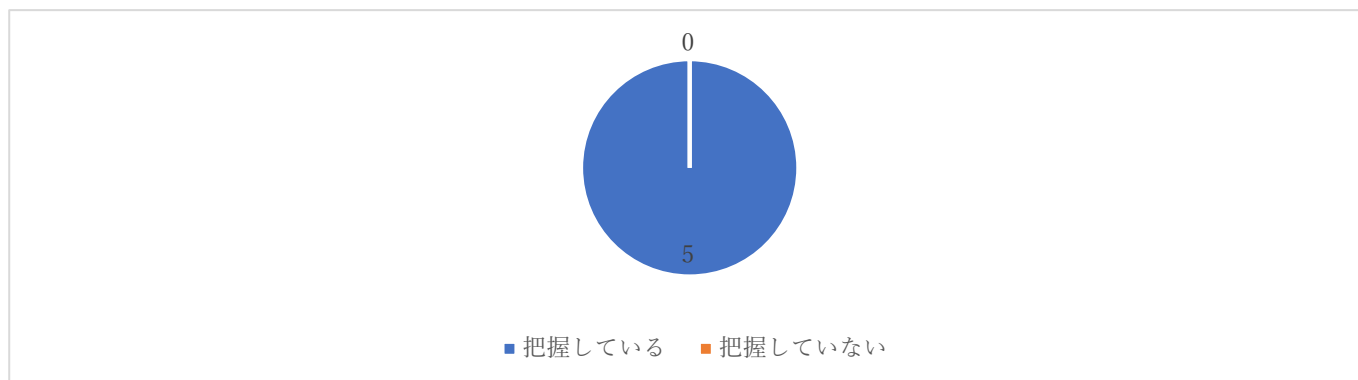


※入所系施設にお伺いします。

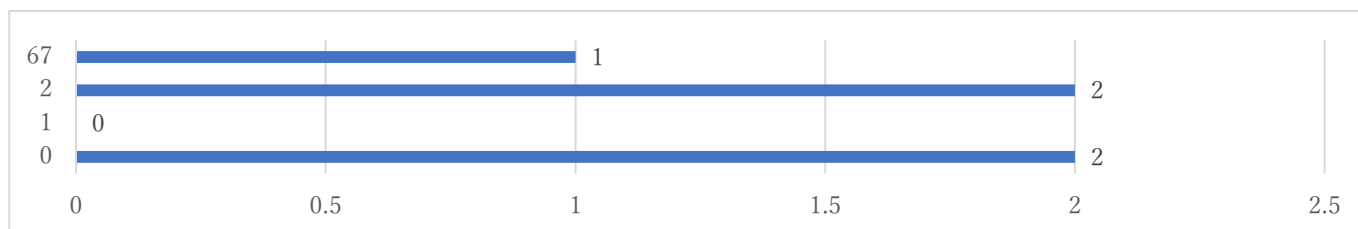
65 令和3年12月末現在の入所（居）者は何人ですか。（ ）人



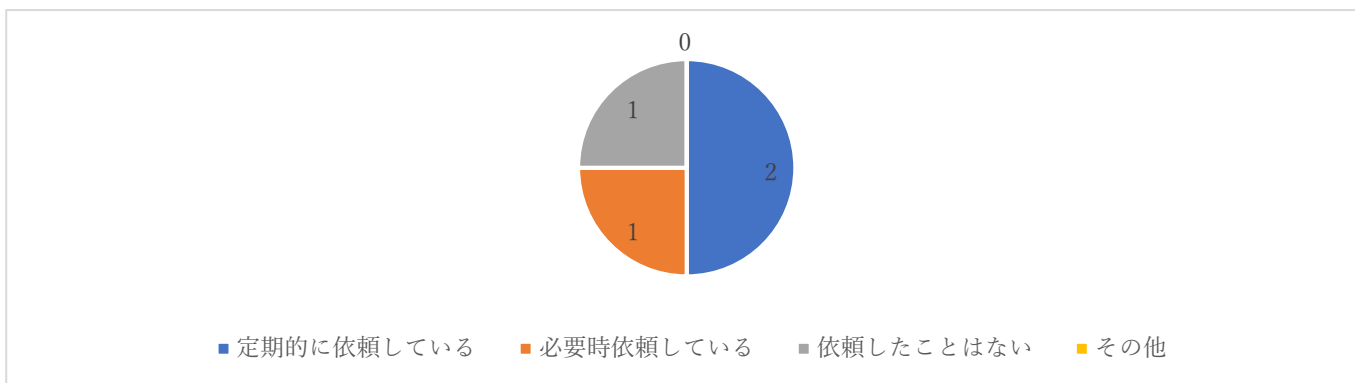
66- (1) 入所（居）者のうち看取りを希望している利用者を把握していますか。



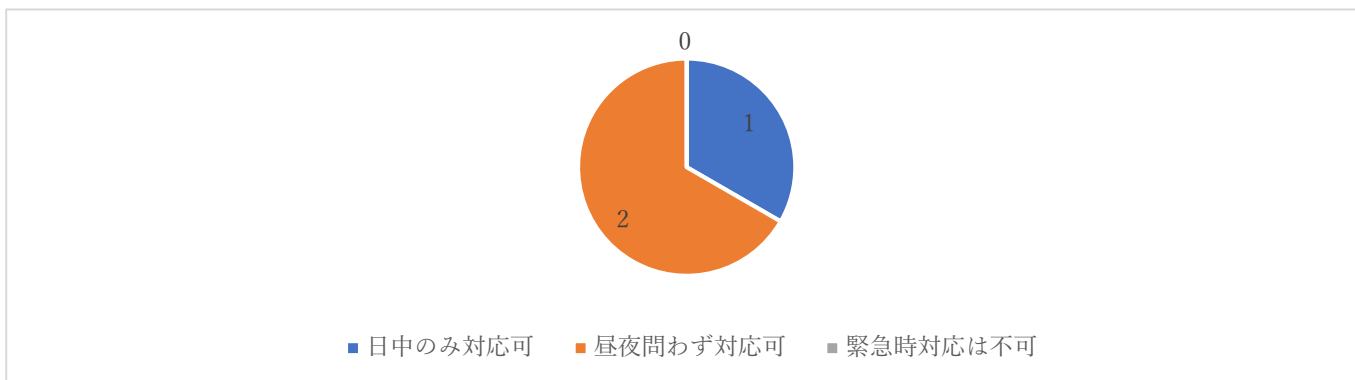
66- (2) 「①把握している」と答えた方、令和5年8月末現在で看取りを希望している入所（居）者は何人いますか。（ ）人



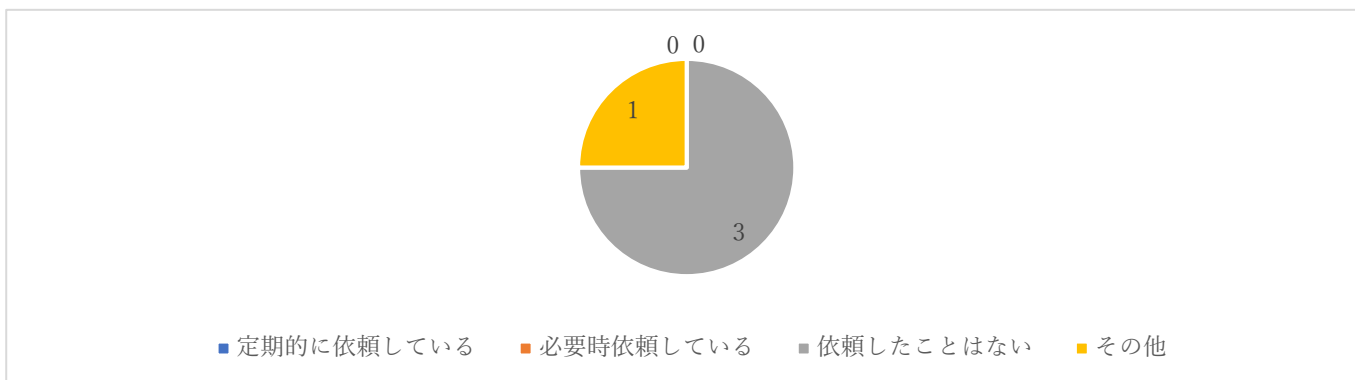
67- (1) 事業所の関連法人の医療機関や協力医療機関への医学的管理の依頼状況はどうなっていますか。



67- (2) 67- (1) で「①定期的に依頼している」、「②必要時依頼している」と答えた方、緊急時の対応状況はどうなっていますか。



68 訪問看護ステーションへの医学的管理の依頼状況はどうなっていますか。



69 R5年8月末現在の職員体制を常勤・非常勤別に数字でご記入ください。

医師常勤数

人数	箇所数
0	1
2	2

医師非常勤数

人数	箇所数
1	2

看護師常勤数

人数	箇所数
1	1
4	3
6	1

看護師非常勤数

人数	箇所数
1	1

介護職員常勤数

人数	箇所数
16	2
25	1

うち医療ケアができる介護職員常勤数

人数	箇所数
0	1

介護職員非常勤

人数	箇所数
3	1

うち医療ケアができる介護職員非常勤数

人数	箇所数
0	1

70 R5年8月末現在の夜勤帯の職員体制を数字でご記入ください。

看護職員

人数	箇所数
0	3

オンコールの看護職員

人数	箇所数
1	3
3	1

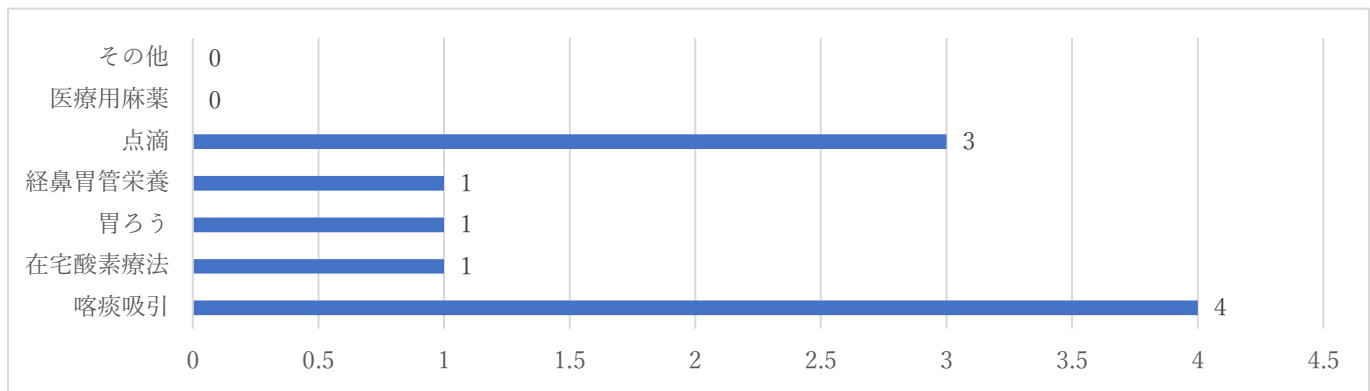
介護職員

人数	箇所数
2	3
3	1

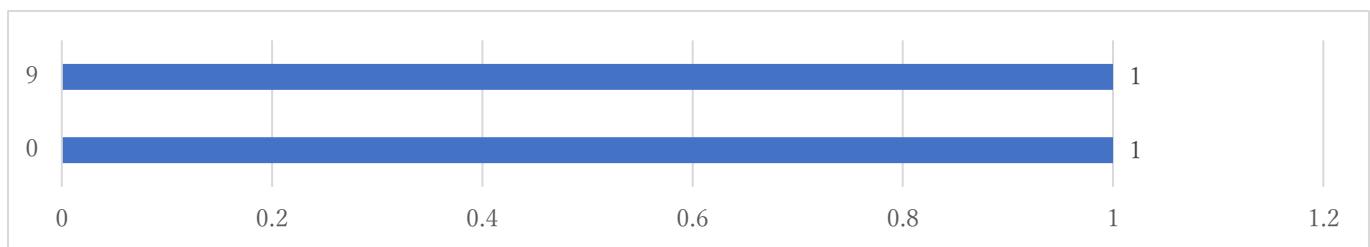
うち医療ケアができる介護職員

人数	箇所数
0	1

71- (1) 対応可能な医療処置は何ですか。



72- (2) R5年8月末現在で医療処置を受けている入所（居）者は何人いますか。( )人



73 R1～R4 年度に貴事業所で看取りを行った人数を年度別に数字でご記入ください。

R	人数	箇所数(延)
R1	0	1
	3	1
R2	0	1
	1	1
R3	0	3
	4	1
R4	0	1
	4	1

74- (1) 令和4年度に、看取り期（回復が望めない状態）において、施設における看取り介護を実施していたにも関わらず病院へ搬送し、そのまま病院で亡くなった入所（居）者は何人いますか。( )人

人数	箇所数
0	2

74- (2) また、そうになったのはどのような理由からですか。(自由回答)

なし